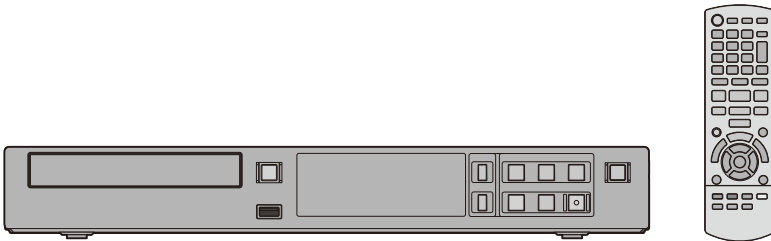


取扱説明書 詳細版 デジタル入力レコーダー

品番 DMR-T5000UR



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（6～9ページ）を必ずお読みください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (→6～9 ページ)

はじめに

本機の特長	5
本書のご案内	10
• ディスクなどのマーク表示について	10
• 本書内の表現について	10
• 当社サポートサイトのご案内	10
付属品 / リモコンの準備	11
• 付属品	11
• リモコンに電池を入れる	11
各部の働き	12
• 本体前面	12
• 本体表示窓	13
• 本体 LED	13
• 本体背面	13
• リモコン	14

接続と設定を行う

接続の前に	15
テレビやモニターに出力する	16
• HDMI 端子で出力する場合	16
• SDI 端子で出力する場合	16
• 音声端子で出力する場合	17
映像出力機器から入力する	18
• HDMI 端子で入力する場合	18
• SDI 端子で入力する場合	18
• HD コミュニケーションシステム (HD コム) から入力する場合	19
電源コードを接続する	20
設定をする	21
• 時刻を合わせる	21
• システム機能の設定をする	21
• 音声設定をする	23
• 出力端子優先モードを設定する	24
• HDMI 端子に合わせて設定する	24
• SDI 端子に合わせて設定する	25

メディア情報・画面説明

記録できるディスクについて	26
再生のみできるディスク / 使えないディスク について	28
• 再生のみできるディスク	28
• 本機で使えないディスク	28
別売の USB-HDD について	29
• 推奨 USB-HDD について	29
• 接続する	29
• フォーマットする	29
• 取り外しについて	29
USB 機器について	30
• 接続できる USB 機器について	30
• USB 機器を接続する	30
• 取り外しについて	30
ホーム画面について	31
• ホーム画面で表示できる機能	31

録画

記録の制限について	32
• 記録の制限について	32
• フレームレートについて	32
録画モードについて	35
4K 画質映像の録画、ダビングについて	36
• 録画について	36
• ダビングについて	36
録画する	37
• 録画中のいろいろな操作	38
• 日時を指定して予約録画する	38
予約内容の確認、取り消し、修正など	40
録画 / 予約録画に関するお知らせ	41
番組を検索する	43

目次 (続き)

再生・編集

録画一覧について	45
録画した番組を再生する	47
• 録画した番組を再生する	47
• 録画しながら追っかけ再生する	47
• 録画時の便利な機能	47
• 再生時の便利な機能	50
• まとめ番組について	50
Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、 DVD ビデオを再生する	51
• Ultra HD ブルーレイを楽しむ	51
• 副映像のあるディスクを楽しむ	52
• インターネットを使って BD-Live 対応 ディスクを楽しむ	52
• 3D 映像を楽しむ	52
再生中のいろいろな操作	53
再生設定をする	56
• 音声や字幕などの設定をする (再生設定)	56
番組を消去する / 編集する	59
• 番組を消去する	59
• 番組を編集する	59
チャプターの作成・再生・編集	63
• チャプターマークを作成する / 削除する	63
• チャプターを再生・編集する	64

ダビング

ダビングについて	65
ダビングする	66
• かんたんダビング	66
• 詳細ダビング	68
• ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする	70
• 再生中番組の保存	71
• ダビング時の動作について	71
他機器からダビングする	73
• お引越しダビング	73

写真・動画・音楽

USB・ディスクから動画を取り込む (AVCHD、MP4)	75
• 撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む	75
• 動画ファイル (MP4) を取り込む	75
動画や写真を再生する	76
• 写真 / 動画一覧のいろいろな機能	76
動画や写真を転送する	77
音楽 CD を再生する	78

便利機能

ホームネットワークを使う	79
• 別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)	79
• 別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)	80
• よくあるご質問	80
外部機器から本機を制御する	81
• LAN ケーブルを使用して外部機器と 接続する	81
• 外部機器からログインする	81
• 本機の情報を外部機器に表示する	82
• 外部機器から番組名を編集する	83
• 外部機器から制御する	84
• シリアル・コマンド体系	84

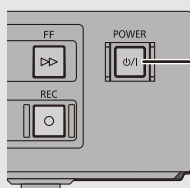
目次 (続き)

必要なとき

本機で記録できるようにする (フォーマット).....	85
ディスク名入力/ディスクプロテクト/ 録画一覧の全番組消去	87
ファイナライズ.....	88
文字入力	89
●文字パネルから文字入力する	89
設定を変える	90
●機器設定	90
●HDD・USB 機器・再生記録設定	92
●映像・音声設定	93
●HDMI・SDI 接続設定	94
●ネットワーク設定	95
●設定リセット	97
●情報表示	97
●リモコンを使うと他機器が同時に動作する のを防ぐ	98
●ネットワーク連携する機器の設定をする	99
ディストレイをロックする (ロックモード).....	101
取り扱いについて	102
ネットワーク接続をする	104
●各機器と直接接続する	104
●ハブまたはブロードバンドルーターを使って 各機器と接続する	105
こんな表示が出たら	107
表示マーカー一覧.....	109
●予約一覧画面	109
●録画一覧・ダビング画面	110

故障かな!?.....	111
●電源	112
●本体	112
●画面表示	112
●ボタン操作	112
●テレビ画面や映像	113
●音声	114
●ディスク	114
●録画	115
●再生	115
●ダビング	115
●ビデオカメラ	116
●ネットワーク	116
●ホームネットワーク	116
●当社サポートサイトのご案内	116
仕様	117
外部制御コマンド一覧	126
●通常コマンド (リモコンでの操作)	126
●表示コマンド	128
●操作コマンド	134
設定一覧 (初期設定)	137
●機器設定	137
●HDD・USB 機器・再生記録設定	140
●映像・音声設定	142
●HDMI・SDI 接続設定	143
●ネットワーク設定	145
●設定リセット	146
●情報表示	146
著作権など	147
保証とアフターサービス (よくお読みください)	149
さくいん	150

本機の操作ができなくなったときは…



[POWER ㏻/I]を
3秒以上押す

- ① 本体の [POWER ㏻/I] を押し、電源を切る
●切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)
 - ② 本体の [POWER ㏻/I] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
- 故障かな!? と思った場合 (→111)

本機の特長

12G-SDI対応／ HDMI入出力端子搭載

 13 ページ

録画しながら録画映像を見ることができます。

BD／DVDダイレクト記録

 35 ページ

ディスクへ直接録画することができます。

HDD+BD同時記録

 22 ページ

HDDとディスクに同じ映像を同時に録画することができます。

ネットワーク／ USB-HDD転送

 77 ページ

ネットワークに接続された機器やUSB機器に動画を転送することができます。

IP外部制御

 81 ページ

LANケーブルで本機と外部機器（パソコンなど）を接続すると、外部機器からの制御が可能になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告



電源プラグ
を抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



戻る

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

- 特にお子様にはご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



可燃性ガスのスプレー等を使用しない

清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

注意



異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜く

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクや USB 機器は、保護のため取り出しておいってください。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



指はさみ注意

ディスプレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

注意



機器の前に物を置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスプレイを開くことができますが、開いたときに、物に当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスプレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人には 3D 映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D 映画などを視聴する場合は 1 作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D 映像の視聴年齢については、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。



3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、3D 関連の設定で効果を設定する場合には特にご注意ください。



スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない

磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

本書のご案内

ディスクなどのマーク表示について

本書では、ディスクなどは以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE*	BD-RE
BD-R*	BD-R
BD ビデオ	BD-V
Ultra HD ブルーレイ	
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW
DVD ビデオ	DVD-V
+R、+R DL、+RW	
CD	CD
USB 機器	USB
USB-HDD	
Network Attached Storage	NAS

※ DL、BDXL も含まれます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどで動作が異なる場合、表示マークに記録方式を付与しています。
 - ・ AVCREC 方式の場合 : 例) **-R AVCREC**
 - ・ VR 方式の場合 : 例) **-R VR** **-RW VR**
 - ・ ビデオ方式の場合 : 例) **-R V** **-RW V**
(ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクの場合は、**AVCHD** と表示
- 特に記載がない場合、本書で「BD ビデオ」と記載している内容は、Ultra HD ブルーレイを含みます。

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを (→○○) で示しています。
- 本書ならびに本機では、録画やダビングした映像・音声のことを「番組」と表現しています。

当社サポートサイトのご案内

機能向上や改善のために当社はソフトウェアの更新を必要に応じて行っています。
サポートサイトでは、最新のソフトウェアのダウンロード情報や更新方法などの情報が掲載されています。

サポートサイトは以下のアドレスからご確認いただけます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/nwav>

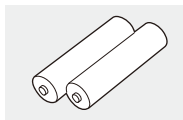


付属品 / リモコンの準備

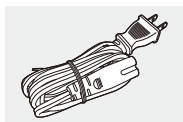
付属品



リモコン (1 個)
N2QAYB001271



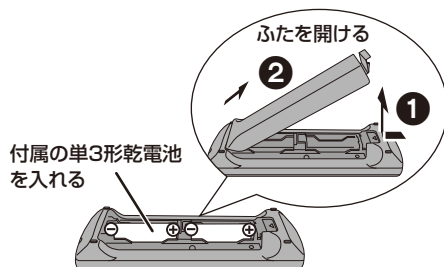
リモコン用乾電池 (2 個)
単 3 形乾電池



電源コード (1 本)
K2CA2YY00402

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2022 年 6 月現在のものです。
変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

リモコンに電池を入れる

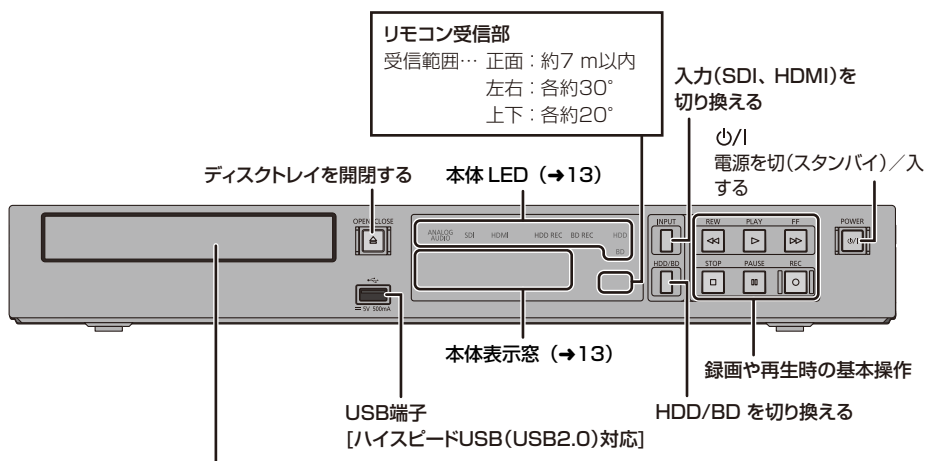


リモコンのふたを閉じるときは、
開けるときの逆の手順**②①**で閉じてください。

- $\oplus \ominus$ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

各部の働き

本体前面



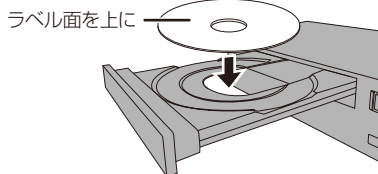
ディスクトレイ

リモコンの  を押してディスクトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。
- 本体の [OPEN/CLOSE] でも操作できます。

●お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい面を下にして入れてください。

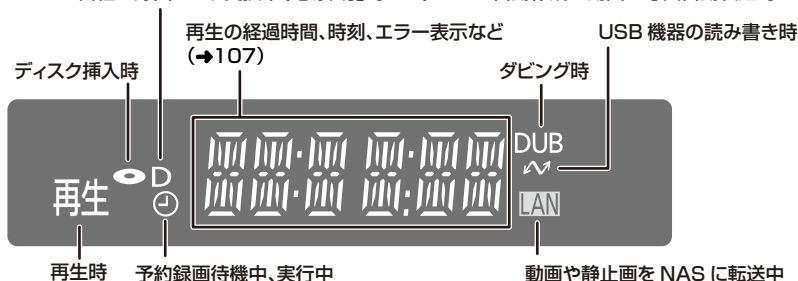


各部の働き (続き)

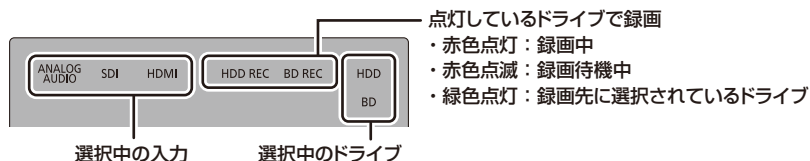
本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

HDD の番組の録画モード変換中(電源「切」時のみ)/MP4 自動作成 / 動画・写真自動転送時



本体 LED

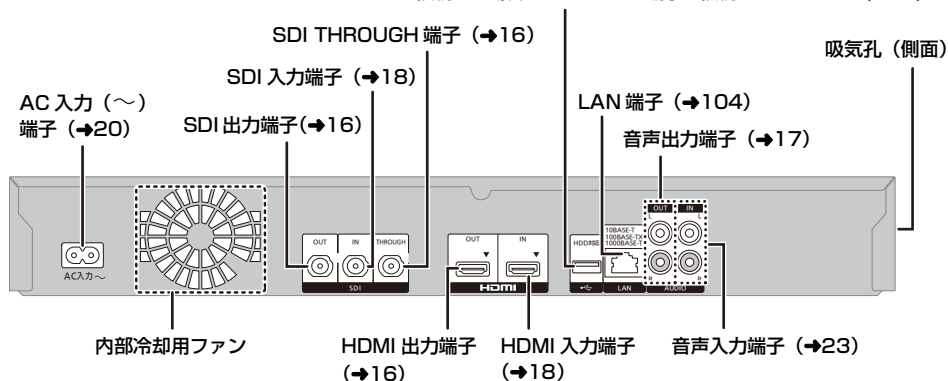


本体背面

USB 端子 (HDD 対応)

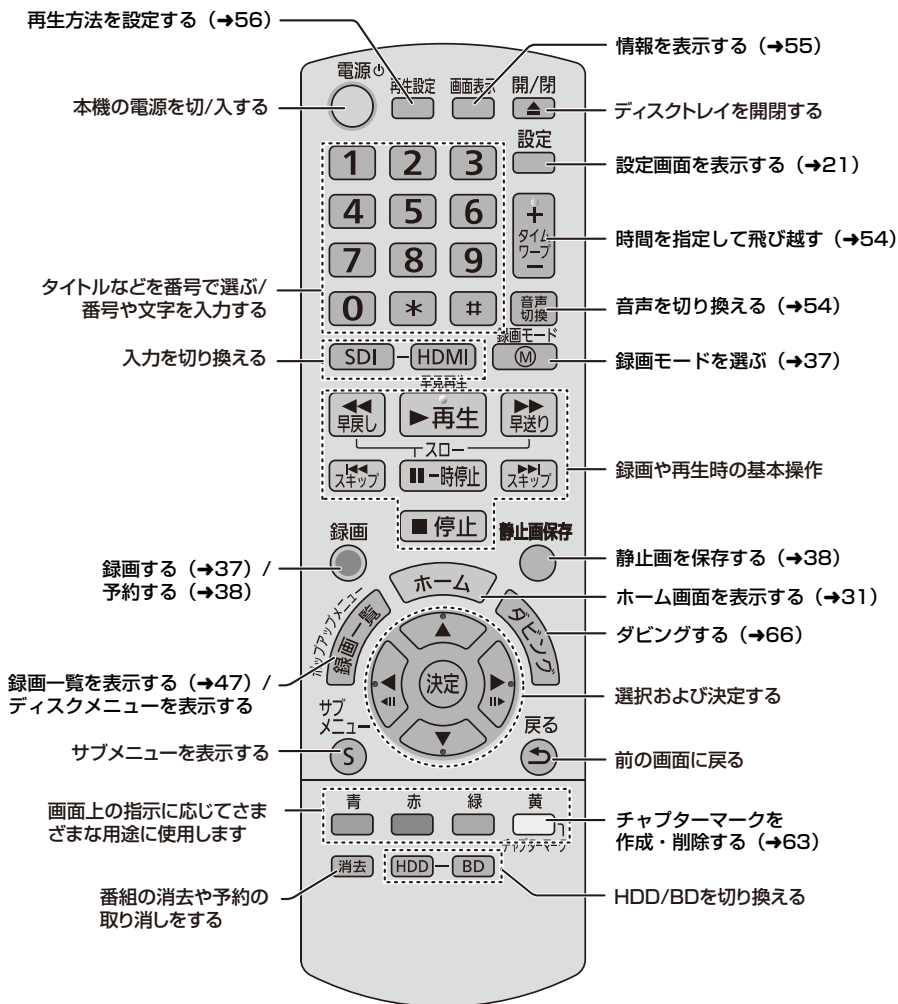
[スーパースピード USB (USB3.0) 対応]

USB-HDD を接続する場合は、この USB 端子に接続してください。(→29)



各部の働き (続き)

リモコン



●お知らせ

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。(→98)
- 本機のリモコン受信部 (→12) にまっすぐ向けて、操作してください。

接続の流れ



本機をネットワークに接続する場合
「ネットワーク接続をする」(→104)

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

本機の設置について

- 熱源となる物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起きにくい場所に設置する。
- 悪意の第三者によって不正に直接本機を操作されない場所に設置する。

タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつき（結露）について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

- Ultra HD ブルーレイを4K/HDR で視聴するために、HDCP2.2、4K/60p (4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格のHDR 信号に対応した機器のHDMI 端子に接続して、テレビの設定を確認してください。(→51)

接続1

HDMI 端子で出力する場合



- 「出力端子優先モードを設定する」(→24)
- 「HDMI 端子に合わせて設定する」(→24)

 お知らせ

- HDMI ケーブルは、「18 Gbps 対応ハイスピード HDMI」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツは映像出力できません。

SDI 端子で出力する場合



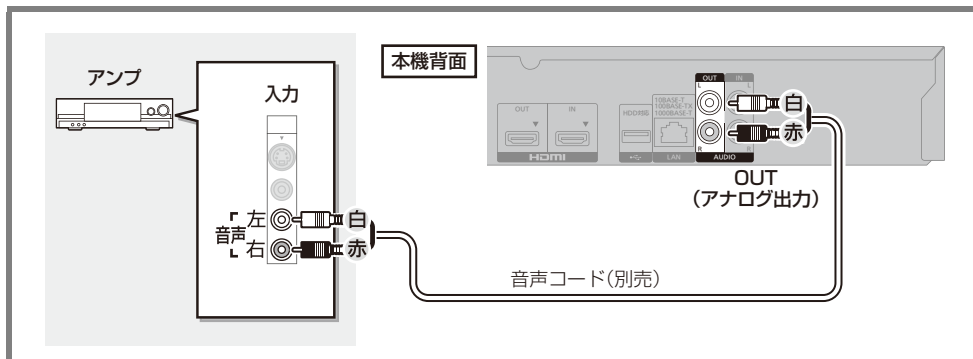
- 「出力端子優先モードを設定する」(→24)
接続する出力端子が SDI 出力端子のみの場合は、「SDI 出力優先」にすることをお勧めします。
- 「SDI 端子に合わせて設定する」(→25)

 お知らせ

- BNC ケーブル（別売）は、12G-SDI 対応の二重シールドのものを请使用ください。
- SDI THROUGH 端子に接続すると、SDI 入力端子から入力された信号のまま出力することができます。出力したい場合、「スルーモード設定」(→25) を「有効」にしてください。（ただし、電源コードを電源コンセントから抜いている場合、出力されません）
- 以下の信号は映像出力できません。
 - ・ HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツ
 - ・ **BD-V** **DVD-V** 著作権のあるコンテンツ
 - ・ コピー制限のある番組
 - ・ **CD**
 - ・ ホームネットワーク機能を使った再生
 - ・ HDMI 入力からの 480p 映像

接続1 テレビやモニターに出力する (続き)

音声端子で出力する場合

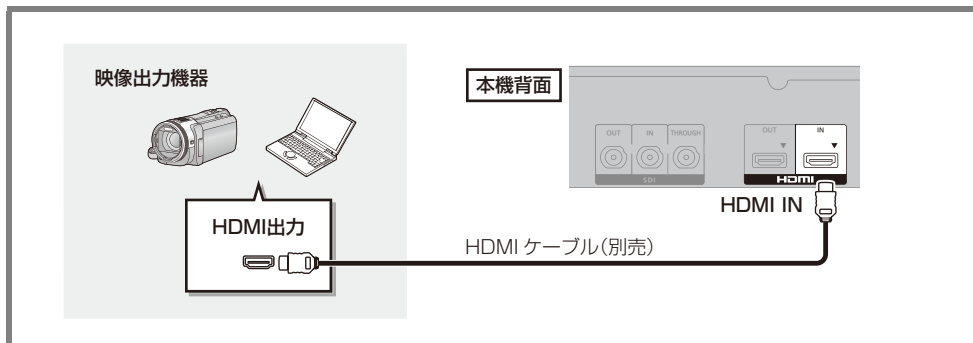


お知らせ

- 以下の信号は出力できません。
 - ・ HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツ

接続2 映像出力機器から入力する

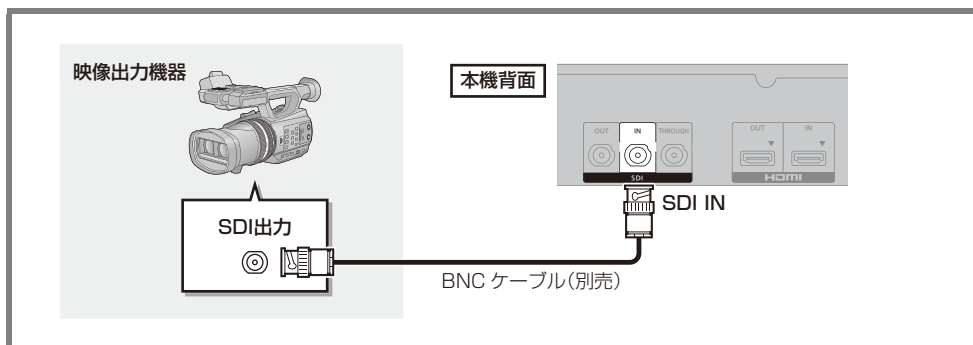
HDMI 端子で入力する場合



●お知らせ

- HDMI ケーブルは、「18 Gbps 対応ハイスピード HDMI」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

SDI 端子で入力する場合



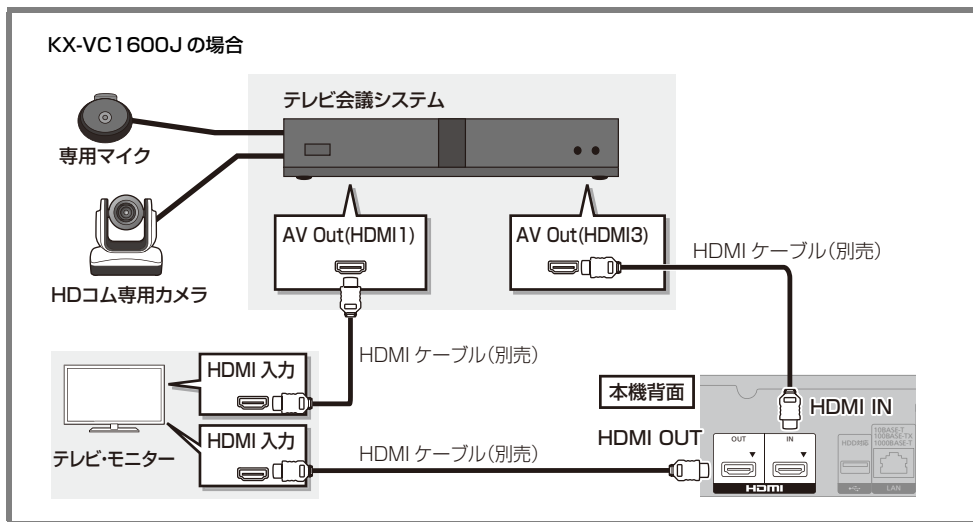
●お知らせ

- BNC ケーブル（別売）は、12G-SDI 対応の二重シールドのものををご使用ください。

接続2 映像出力機器から入力する (続き)

HD コミュニケーションシステム (HD コム) から入力する場合

当社製のテレビ会議システム (HD コム) と接続すると、会議の映像を録画することができます。
HD コムを会議記録が可能なモードに設定する必要があります。詳しくはHD コムをご購入された販売会社にご相談ください。

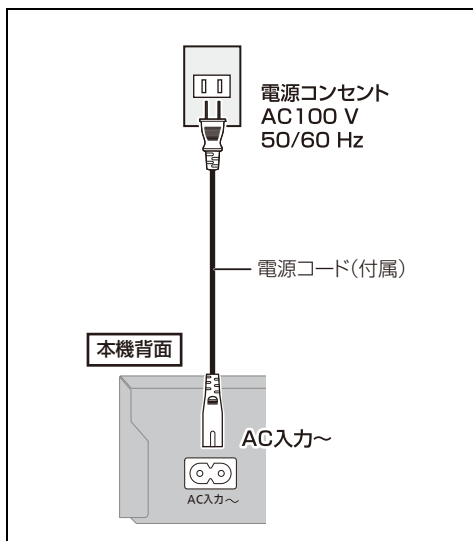


お知らせ

- HDMI ケーブルは、「18 Gbps 対応ハイスピード HDMI」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

接続3 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、
接続してください。



⚡ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

設定をする

時刻を合わせる

本機は時刻を合わせて工場出荷されていますが、正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に時刻を確認し、時刻を合わせてください。

1 を押して、電源を入れる

- 本体の[POWER ㊤/I]を押して、電源を入れることもできます。

2 を押す

3 「機器設定」を選び、を押す

4 「日時設定」を選び、を押す

5 各項目を選び、設定する

- 時刻は 24 時間表示です。

6 を押す

- 時計が動き始めます。

お知らせ

- 時刻に誤差が生じる場合がありますので、ご使用前に時間が合っているか確認してください。

システム機能の設定をする

1 を押す

2 「機器設定」を選び、を押す

3 「システム機能」を選び、を押す

4 設定項目を選び、を押す (→ 下記)

5 設定内容を変更する

自動電源 ON

「入」に設定しておく、電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

自動再生

電源を入れたとき、電源「切」前に選択していたドライブの番組を自動的に続きから再生します。

- ディスクによっては最初から再生される場合があります。
- 電源「切」前に選択していたドライブにメディアが挿入されていない場合、HDD 内の最後に再生した番組を再生します。
- 音楽 CD は自動再生されません。

タイトルリピート

「入」に設定し再生を開始すると、自動的にリピート再生します。

自動チャプター作成

自動チャプターモード

録画時に指定時間ごとに自動的にチャプターを作成します。

チャプター間隔

「自動チャプターモード」が「入」時に、自動的にチャプターを作成する間隔を設定します。
(15 分、30 分、60 分から選べます)

設定をする (続き)

録画一覧再生位置

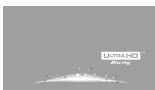
番組一覧で最初に選択される番組を設定します。

- 「通常」: 前回再生した番組を選択
- 「先頭」: いちばん初めの番組を選択
- 「最後」: いちばん後の番組を選択

「先頭」または「最後」に設定して録画を実行した場合、停止状態から [▶ 再生] を押したときに最初に再生される番組は、いちばん新しい番組になります。

スクリーンセーバー

「切」に設定すると、市販のディスク停止時などに表示される右記のスクリーンセーバーを黒い画面に切り換えます。



録画機能設定

録画動作設定

(ディスクは **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **-R V** **-RW V** に記録可能)

通常録画

選択中のドライブ(HDD または BD) に録画します。

HDD/BD 同時録画

録画先が HDD のときに [録画 ●] を押すと、HDD とディスクに同時に録画します。ディスクの空き容量が不足し録画が継続できなくなった場合でも、HDD への録画は継続します。ただし、ディスク書き込みにエラーが発生した場合は、両方の記録を止めて電源「切」となります。本体の [POWER 切/I] を押して電源を入れ、画面の表示を確認してください。また、HDD の容量が無くなったなどで HDD への録画が停止した場合、ディスクへの録画も停止します。

- 予約録画時、HDD/BD 同時録画は実行されません。
- MPEG2 (DVD 画質) では、HDD/BD 同時録画は実行されません。

エンドレス録画

HDD に録画し続けます。

24 時間ごとに約 5 分間のシステムリセットを行います。システムリセットの開始時刻は、「システムリセット時刻設定」で設定できます。

- 録画時間が約 24 時間で 1 番組になります。
- 録画先の記録可能時間が選択中の録画モードで 24 時間より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。
- 消去したくない番組は、「プロテクト設定」(→60) を行ってください。
- 予約録画は実行されなくなります。
- 「自動消去」は「有効」にはできません。
- MPEG2 (DVD 画質) では、エンドレス録画は実行されません。

システムリセット時刻設定

24 時間ごとに約 5 分間のシステムリセットを行う時刻を設定します。

安定運用のためにシステムリセットが確実に実行されるように本機の操作をしていただく必要があります。

- 「録画動作設定」が「通常録画」または「HDD/BD 同時録画」の場合、システムリセット設定時刻の前に本機を電源「切」状態にしてください。システムリセットは電源「切」状態のときに実行され、実行後も電源「切」の状態のままとなります。
- 「録画動作設定」が「エンドレス録画」の場合、いったん録画を止めてシステムリセット動作を実行したあとに電源が「入」になり録画を再開します。
- 再生時、ダビング時、MP4、M2TS、JPEG ファイルの手動転送中はシステムリセットは実行されません。
- システムリセット実行中、本機は自動で電源を「切」にします。システムリセット実行中はリモコンなどの操作や制御コマンドに反応しません。

自動消去

「有効」に設定すると、HDD の記録可能時間が HEVC 1 倍録モードで 24 時間 (約 400 GB) より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。

- 選択中のドライブが HDD で録画停止時に自動消去を実行します。
- 消去したくない番組は、「プロテクト設定」(→60) を行ってください。
- 「エンドレス録画」(→左記) 設定時は無効になります。

タイムスタンプ

「入 (左下)」または「入 (標準)」に設定すると、録画番組の映像信号にタイムスタンプ (年 / 月 / 日 時 : 分 : 秒) を重畳 (重ね合わせる) して記録します。「入 (左下)」は「入 (標準)」よりもさらに画面の左下の隅の位置に重畳します。タイムスタンプは削除できません。

- 録画中の表示画面上には、表示されません。
- [画面表示] を押すと、再生画面上部にタイムスタンプ「」が表示されます。

トレイ制御

ディスクへ録画中にディスク残量がなくなると、自動的にディスクトレイが開きます。

以下の操作中のときは、トレイ制御が実行されません。

- ・ 予約録画中
- ・ ディスクトレイをロックしている (→101)

設定をする (続き)

動画・静止画の設定

MP4 自動作成

「入」に設定すると、録画終了後、電源の「入/切」に関係なく自動的に MP4 を作成します。

以下の番組は変換されません。

- ・「入」に設定する前に録画済みの番組 (録画一覧から MP4 を作成してください)
- ・本機とは別の機器で録画した番組
- ・ディスクに記録した番組

動画・静止画自動転送

自動転送を「入」に設定すると、転送データ (動画、静止画) の選択や、転送先 (NAS、USB) を選ぶことができます。

タイマー機能

指定された時刻に本機の電源を自動で「入」または「切」にします。

電源 ON 設定 / 電源 OFF 設定

電源 ON 設定、電源 OFF 設定を有効または無効にします。

設定時刻

電源を「入」または「切」にする時刻を設定します。

毎週予約設定

電源を「入」または「切」にする曜日を設定します。

会議記録モード

テレビ会議システムを接続している場合に、会議中に出力する音声を設定します。

- 以下のように音声を出力します。

- ・「入 (L 出力)」: 入力音声の L のみ出力
- ・「入 (R 出力)」: 入力音声の R のみ出力
- ・「入 (消音)」: 入力音声を出力しない
- ・「切」: LR 両方の音声を出力

- 会議中は、他拠点の音声が出力されるように設定してください。

例えば、他拠点の音声が入 L チャンネル、自拠点の音声が入 R チャンネルの場合、「入 (L 出力)」に設定してください。

- 録画した映像を再生するときは、設定にかかわらず両拠点の音声が出力されます。

- 録画用の出力を持つ機器と接続する場合は、「入 (消音)」に設定してください。

- 「入 (L 出力)」、「入 (R 出力)」の設定で出力する場合、出力端子の L/R 両方の端子に同じ音声が出力されません。

音声設定をする

1  **設定** を押す

2 「映像・音声設定」を選び、 **決定** を押す

3 「記録音声選択」を選ぶ
または「会議記録モード」を選び、 **決定** を押す

4 設定内容を変更する

記録音声選択

記録する音声を選択します。

- 「アナログ」: 映像を入力している端子にかかわらず、アナログ入力端子から音声を入力 [音声入力端子 (→13) と接続していることを確認してください。]
- 「エンベデッド」: 映像を入力している端子と同じ端子から音声を入力

設定をする (続き)

出力端子優先モードを設定する

(HDMI 出力端子・SDI 出力端子接続時)

HDMI 出力端子または SDI 出力端子に接続する場合、以下の設定を行ってください。

映像出力を HDMI 出力端子からにするか、SDI 出力端子からにするかを選びます。

1  を押す

2 「HDMI・SDI 接続設定」を選び、
 を押す

3 「出力端子優先モード」を選び、 を押す

4 「HDMI 出力優先」または
「SDI 出力優先」を選び、 を押す

- HDMI 出力端子、SDI 出力端子それぞれの端子からは、同じ設定の映像信号が同時に出力されます。(本機に非対応の解像度や著作権など出力に関する制限がない場合)
- 「HDMI 出力優先」に設定すると、「HDMI 接続設定」の「出力解像度」に合わせて信号を出力します。
(→94)
- 「SDI 出力優先」に設定すると、「SDI 接続設定」の「出力解像度」に合わせて信号を出力します。(→25)
- SDI 出力端子に接続した機器が HDMI から出力される解像度に非対応の場合、SDI 出力端子から出力されません。
- 「HDMI 接続設定」の「出力解像度」が「480p」の場合、SDI 出力端子から出力されません。(→94)
- 「出力端子優先モード」が工場出荷時の設定（「HDMI 出力優先」）の状態 で HDMI 接続をしていない場合、SDI 端子からは 1080p (59.94)、YCbCr (4:2:2)、10 bit の信号が出力されます。

HDMI 端子に合わせて設定する

HDMI 出力端子に接続する場合、「出力端子優先モード」(→左記)を設定したあと、「音声出力」の設定を行ってください。

1  を押す

2 「HDMI・SDI 接続設定」を選び、
 を押す

3 「HDMI 接続設定」を選び、 を押す

4 「音声出力」を選び、 を押す

5 「入」または「切」を選び、 を押す

- 「切」に設定すると、HDMI 出力端子から音声は出力されません。

設定をする (続き)

SDI 端子に合わせて設定する

SDI 出力端子に接続する場合、「出力端子優先モード」(→24)を設定したあと、以下の設定を行ってください。

1  を押す

2 「HDMI・SDI 接続設定」を選び、
 を押す

3 「SDI 接続設定」を選び、 を押す

4 設定項目を選び、 を押す (→右記)

5 設定内容を変更する

【 】はお買い上げ時の設定です

入力解像度

【オート】

SDI 入力端子から入力する解像度を設定します。

出力解像度

【1080i】

SDI 出力端子から出力する映像の解像度を設定します。

入力 HDR 設定

【オート】

SDI 入力端子から入力する HDR 方式を設定します。

入力色域設定

【オート】

SDI 入力端子から入力する色域を設定します。

入力音声選択

【1ch/2ch】

SDI 入力端子から記録する音声を設定します。

音声出力

【入】

SDI 出力端子から音声を出力するか設定します。

- 「切」に設定すると、SDI 出力端子から音声は出力されません。
- 「入」に設定すると、SDI 出力端子からの音声はダウンミックス 2ch の PCM 音声になります。

スルーモード設定

【有効】

「有効」に設定すると、SDI 入力端子からの信号を SDI THROUGH 端子から出力できるようになります。

記録できるディスクについて

ディスクの種類	BD-RE	BD-R
	 繰り返し記録	 1 回のみ記録
記録可能なディスク	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/ 片面3層(100 GB)	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/ 片面3層(100 GB)/片面4層(128 GB)
記録方式	—	—
記録できるコンテンツ	HEVC 画質、AVC 画質の番組、写真 / 動画 (MP4・M2TS)	
他の機器で再生するには	BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。 ● 機器により再生できないことがあります。 ● LTH type の BD-R、DL や BDXL は再生機器がそれぞれの再生に対応していないと再生できません。 ● 2006 年春以前に発売された BD 機器では再生できません。 ● BD-RE、BD-R に書き出した動画 (MP4・M2TS) は再生保証していません。	
備考	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0) の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)	

記録できるディスクについて（続き）

ディスクの種類	DVD-R DVD-R DL （片面２層）   1 回のみ記録	DVD-RW  繰り返し記録
記録可能なディスク	片面１層 / 片面２層	Ver.1.1/1.2 に対応した 6 倍速メディアまで
記録方式	●AVCREC 方式 ●VR 方式 （DVD ビデオレコーディング規格） ●ビデオ方式 （DVD ビデオ規格）	●VR 方式 （DVD ビデオレコーディング規格） ●ビデオ方式 （DVD ビデオ規格）
記録できるコンテンツ	番組	番組
他の機器で再生するには	以下の条件に当てはまる機器で再生できます。 ●記録したディスクの再生に対応 ●記録したディスクの記録方式の再生に対応 ・AVCREC 方式の場合： 対応機器には右記のロゴが付いています。 対応機器以外で使用しないでください。 ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。  はファイナライズ（➔88）が必要です。 ・VR 方式の場合： VR 方式の再生に対応している必要があります。 ・ビデオ方式の場合： 記録後にファイナライズ（➔88）が必要です。 AVCREC™	
備考	●ビデオ方式ではコピー制限のない番組のみ記録できます。	

- 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
- DVD の記録方式は、本機でフォーマット（➔85）することで設定されます。
- DVD にビデオ方式で直接録画する場合、二層のディスクへの記録はサポートしていません。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

Ultra HD ブルーレイ 	Ultra HD ブルーレイの再生については (➡51)	
BD ビデオ 	映画や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例)  ●リージョンコードは国により異なります。
DVD ビデオ 	映画や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 - ただし、PAL 方式のディスクは再生できません。	「2」（または「2」を含むもの）、 「ALL」が表示されたもの 例)  ●番号は国により異なります。
CD 	音楽や音声記録された市販ソフト (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) 写真が記録された CD-R や CD-RW (JPEG フォーマット記録ディスク)	
+R +R DL (片面2層) +RW	他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	[RAM] 他機器で番組を記録したディスク (AVCREC 方式または VR 方式の記録方式で記録されたディスク) 他機器でハイビジョン動画 (AVCHD) を記録したディスク ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 写真 (JPEG) を記録したディスク	

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- カートリッジから取り出せない DVD-RAM (TYPE 1)
- BD-RE (Ver.1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R (ビデオ方式)、DVD-R DL (ビデオ方式)、DVD-RW (ビデオ方式)
- HD DVD
- ビデオ CD
- SACD
- SVCD
- DVD オーディオ
- BD オーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト
- M-DISC など

別売の USB-HDD について

本機は、USB-HDD を接続し、MP4 ファイルや M2TS ファイルを USB-HDD に書き出すことができます。本機では USB-HDD は、USB 機器と表示されます。

- USB-HDD の説明書もよくお読みください。
- 本機は USB-HDD への録画、ダビングはできません。
- 本機で USB-HDD を使用する場合、USB-HDD のフォーマットを行う必要があります。(→ 右記)
- 本機では 容量160 GB以上、4 TB以下の USB-HDD をご使用になれます。

推奨 USB-HDD について

推奨 USB-HDD をご使用ください。

推奨 USB-HDD の最新情報については、サポートサイトでご確認ください。(→10)

- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

USB 接続ケーブル

USB-HDD に付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。

本機背面

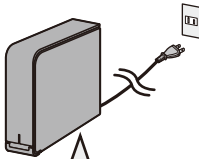


バスパワー方式



電源コード
接続不要

電源供給方式



電源供給方式の USB-HDD の場合、
本機で使用中は電源を切ったり、
電源コードを抜いたりしないでください。

- USB ハブを使用して接続しないでください。

フォーマットする

USB-HDD を使用する場合は、本機で USB-HDD のフォーマットをする必要があります。

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機でフォーマットする場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。

[設定] ボタン → 「HDD・USB 機器・再生記録設定」
→ 「USB 機器設定」 → 「USB 機器管理」 → 「USB 機器のフォーマット」で登録を行う

お知らせ

- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の操作を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。

[ホーム] ボタン → 「メディアを使う」 → 「USB 機器」
→ 「USB 機器の取り外し」で取り外す

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のビデオカメラやデジタルカメラなどと接続することができます。

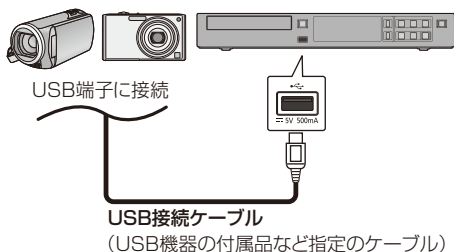
- USB電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USBリーダー&ライターとの接続やUSBハブおよびUSB延長ケーブルを使用した接続、USB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使うUSB接続ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画（AVCHD、MP4）の取り込み（→75）
- 写真、MP4の再生（→76）

USB 機器を接続する



背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

動画の取り込み・書き込み中や、本体表示窓の“”（→13）点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

USB 機器を取り外す前に、以下の操作を行ってください。

[ホーム] ボタン→「メディアを使う」→「USB 機器」→「USB 機器の取り外し」で取り外す

ホーム画面について

ホーム画面から本機の主な機能进行操作することができます。

1 ホームを押す

2 項目を選び、決定を押す

例)



🔍 ホーム画面に表示されていない機能を選びたいときは

「全機能から選ぶ」を選び、[決定]を押す

🔍 ホーム画面に表示する機能を変更するには
「お好み設定」以外の機能表示が変更できます。

- ① 変更したい機能を選び、[サブメニュー]を押す
- ② 「機能を登録する」を選び、[決定]を押す
- ③ メニューを選び、[決定]を押す
- ④ 表示したい機能(➡右記)を選び、[決定]を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定]を押す

🔍お知らせ

- 本書では、ホーム画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

ホーム画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。

機能名	参照ページ
見る	
録画一覧から転送 (NAS/USB/BD)	77
静止画/MP4を見る	76
検索する	43
予約する	
予約確認する	40
残す	
ダビングする	65
ネットワーク機能を使う	
ホームネットワーク	79
お引越しダビング	73
設定する・その他の機能	
設定 本機の設定（機器設定／HDMI・SDI接続設定／ネットワーク設定／情報表示）を変更や確認することができます。	90
お好み設定リセット ホーム画面の表示をお買い上げ時の設定に戻します。	—
メディアを使う	
ディスク、USB 機器内のデータを表示します。	—

記録の制限について

記録の制限について

コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD やブルーレイディスクの場合は **1D** を表示します。DVDの場合は **XD** を表示し、ダビングや移動はできません。(録画禁止信号のある番組は録画できません)

1D の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- **BD-R** 番組が消去されてもディスク残量は増えません。



- 「プロテクト設定」(→60) されている **1D** の番組はダビングできません。

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(→92)に従って記録します。**-R V** **-RW V** へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

8 時間以上録画した番組の制限

- ダビング*や番組結合、録画モードの変換はできません。(あらかじめ8時間以下になるように番組を分割しておくと、操作できるようになります)

※ **HDD** → **BD-R** **BD-RE** への高速ダビングは可能です。

フレームレートについて

- AVC や MPEG2 の録画モードで録画された番組のフレームレートは 59.94i になります。録画モードを AVC や MPEG2 に変換した場合も同様です。(720pの映像をAVCの録画モードで録画した場合は59.94pになります)
- HEVC で録画した番組を、HEVC の他の倍率に録画モード変換すると、59.94p に変換されます。

記録の制限について (続き)

入力信号と出力される解像度について

入力		出力	HDMI 出力優先		SDI 出力優先	
			HDMI	SDI	HDMI	SDI
HDMI	720 × 480p/59.94 Hz	「HDMI 接続設定」の「出力解像度」(→94) で設定した解像度※1※2※3		出力なし		出力なし
	1280 × 720p/59.94 Hz					
	1920 × 1080i/59.94 Hz					
	1920 × 1080p/23.97 Hz					
	1920 × 1080p/24.00 Hz					
	1920 × 1080p/29.97 Hz					
	1920 × 1080p/59.94 Hz					
	3840 × 2160p/23.97 Hz					
	3840 × 2160p/24.00 Hz					
	3840 × 2160p/29.97 Hz					
	3840 × 2160p/59.94 Hz※6					
	4096 × 2160p/23.97 Hz					
	4096 × 2160p/24.00 Hz					
	4096 × 2160p/29.97 Hz					
	4096 × 2160p/59.94 Hz※6					
SDI	1280 × 720p/59.94 Hz	「SDI 接続設定」の「出力解像度」(→25) で設定した解像度※2※5	「HDMI 接続設定」の「出力解像度」(→94) で設定した解像度※1※2※3※4	「SDI 接続設定」の「出力解像度」(→25) で設定した解像度※2※5		「SDI 接続設定」の「出力解像度」(→25) で設定した解像度※2※5
	1920 × 1080i/59.94 Hz					
	1920 × 1080p/23.97 Hz					
	1920 × 1080p/24.00 Hz					
	1920 × 1080p/29.97 Hz					
	1920 × 1080p/59.94 Hz					
	3840 × 2160p/23.97 Hz					
	3840 × 2160p/24.00 Hz					
	3840 × 2160p/29.97 Hz					
	3840 × 2160p/59.94 Hz※6					
	4096 × 2160p/23.97 Hz					
	4096 × 2160p/24.00 Hz					
	4096 × 2160p/29.97 Hz					
	4096 × 2160p/59.94 Hz※6					
	4096 × 2160p/59.94 Hz※6					

※ 1 「オート」の場合は HDMI 接続機器の能力に依存します。

※ 2 フレームレートは入力フレームレートを維持します。

※ 3 1920 × 1080p/29.97 Hz、または接続した HDMI 機器に非対応の解像度フレームレートの組み合わせの場合は、フレームレート 59.94 Hz に変換します。

※ 4 SDI の規格外となるカースペース設定の場合、出力されません。

※ 5 1920 × 1080p/29.97 Hz、または SDI 規格外の解像度フレームレートの組み合わせの場合は、フレームレート 59.94 Hz に変換します。

※ 6 録画時には出力されません。



戻る

次のページに続く ➡

記録の制限について (続き)

多重音声の記録について

主音声と副音声を含んだ二重音声の番組などを録画するとき、設定により記録される音声異なります。

例えば、日本語と英語の2か国語番組を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
HDMI 入力 / SDI 入力 からの録画	二重音声*	HDD BD-RE BD-R -R AVCREC	以下の設定に従って記録 「外部入力などの記録設定」(→92)の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする
		-R VR -RW VR	両方の音声を記録 「外部入力などの記録設定」(→92)の「外部入力音声設定」を「二重音声」にする
		-R V -RW V	以下の設定に従って記録 「DVD-Video 記録の設定」(→92)の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする
	ステレオ	記録先にかかわらず	ステレオ音声を記録

※ 外部機器側で「主音声 (L)」と「副音声 (R)」の両方を出力してください。

録画モードについて

本機は録画する番組によって選択できる録画モードが異なります。(➡125)

4K/2K 画質の番組を録画するための録画モード

録画モード	HEVC1倍録から HEVC8倍録 HEVC (高圧縮)	AVC1倍録から 15倍録 AVC (ハイビジョン画質)
画質	HEVC画質 入力データを圧縮 ^{*1} して、HEVC (高圧縮) で長時間記録	AVC画質 入力データを圧縮 ^{*2} して、AVC (ハイビジョン画質) で長時間記録
	高画質 長時間	高画質 長時間
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R -R AVCREC (AVC 1倍録を除く)
二重音声 (➡34)	両方の音声を記録	

- 録画モードと記録時間の目安 (➡120)
- 録画モードを変更するには
 - ・録画時(➡37) ・予約時(➡38) ・かんたんダビング時(➡67「画質変更」) ・詳細ダビング時(➡68)

※ 1 映像圧縮方式：HEVC/H.265

※ 2 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

ハイビジョン画質の番組を録画するための録画モード

録画モード	AVC1倍録から 15 倍録	XP・SP・LP	FR
画質	AVC画質 入力データを圧縮 ^{*3} して、AVC (ハイビジョン画質) で長時間記録	MPEG2画質 DVD と同様の画質で記録	MPEG2画質 ディスクの残量に合わせて XP～LP の中で画質を自動調整して記録 ^{*4}
	高画質 長時間	高画質 長時間	—
	記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R -R AVCREC (AVC 1 倍録を除く)	HDD -R VR^{*5} -RW VR^{*5} -R V -RW V
二重音声 (→34) ^{*6}	両方の音声を記録		

- 録画モードと記録時間の目安 (➡120)
- 録画モードを変更するには
 - ・録画時(➡37) ・予約時(➡38) ・かんたんダビング時(➡67「画質変更」) ・詳細ダビング時(➡68)

※ 3 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※ 4 番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。

※ 5 ディスクへの記録は予約録画やダビング時のみ可能です。

※ 6 **-R V** **-RW V** に記録する場合、音声は設定に従って記録(「DVD-Video 記録の設定」(➡92)の「二重音声記録時の音声選択」を設定する)

4K 画質映像の録画、ダビングについて

録画について

4K 画質の映像を録画する場合、HEVC（高圧縮）や AVC（ハイビジョン画質）の録画モードが設定できます。

入力映像	録画モード	録画できるメディア	録画一覧での表示
 4K 画質の映像	HEVC（高圧縮）モード	  	 録画一覧に 4K が表示されます。
	AVC（ハイビジョン画質）モード	    *	 録画一覧に AVC の録画モードが表示されます。

※ AVCREC 方式の DVD-R に録画できます。

ダビングについて

HEVC 画質の番組をディスクにダビングする場合、ディスクによって選択できる録画モードは異なります。

	ダビングできるメディア	選択できる録画モード
 HEVC 画質の映像	 BD-RE BD-R	● HEVC（高圧縮）モード ダビング時の録画モードで高速を選ばと、画質を変えずにダビングすることができます。 ● AVC（ハイビジョン画質）モード
	 DVD	● AVC（ハイビジョン画質）モード ● MPEG2（DVD 画質）モード

お知らせ

- HEVC（高圧縮）の番組を記録した BD-RE、BD-R は、他の機器では正しく再生・編集・消去ができない場合があります。

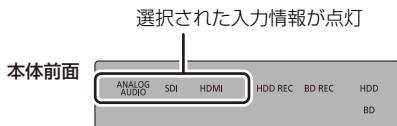
録画する

HDD BD-RE BD-R R-AVCREC R-V RW-V

新品のディスクに録画するときなど、ディスクのフォーマットが必要な場合があります。(→85)

1 SDI HDMI を押して、入力を選ぶ

- 本体の [INPUT] を押して、入力を選ぶこともできます。



2 HDD BD を押して、録画先を選ぶ

- 本体の [HDD/BD] を押して、録画先を選ぶこともできます。



3 録画モード (M) を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。[決定] を押すと、選ばれた録画モードに切り換わります。



- [サブメニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→42)

4 録画 を押す

- 本体の [REC] を押して、録画を開始することもできます。



録画を止めるには

- [停止] を押す
(本体の [STOP] でも停止できます)

録画学習を実行するには

- 録画前に [一時停止] と [停止] を5秒以上押す (本体の [PAUSE] と [STOP] を5秒以上押しても実行できます)
- ディスクに録画する場合、先頭の数秒間が録画されないことがあります。録画前に記録学習を実行すると、ディスクに記録するための準備が行われ先頭から録画できるようになります。
- 記録学習中は、画面上に「録画の準備中です。しばらくお待ちください。」、本体表示窓に「PREP」が表示されます。
- 1枚のディスクに、繰り返し記録学習をすると、数十回で記録できなくなる場合があります。

録画番組のタイトル名について

録画番組のタイトル名は、「録画開始時刻」になります。

例) 2022年6月1日8時48分15秒に録画開始した場合

20220601-084815

タイトル名を変更するには

- 番組名編集で好みの名前に変更することができます。(→59)

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→120)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→42)
- 録画中は予約録画が実行されません。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 「録画動作設定」が「エンドレス録画」(→22) のときは、ディスクに直接録画できません。

録画する(続き)

録画中のいろいろな操作

一時停止する

■一時停止 を押す

- 本体の [PAUSE] でも一時停止します。
- もう一度押す、または [録画 ●] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。
- [HDD/BD 同時録画](→22)でHDDとディスクに同時録画中は、一時停止できません。

録画中にチャプターマークを作成する

黄 を押す

- 本体の [REC] でもチャプターマークを作成できます。
- [DVD-V] チャプターマークの作成はできません。

静止画を保存する

HDD

録画しながら視聴しているとき、静止画を保存できます。

静止画保存 を押す

- 録画中の静止画保存は、録画終了後に行われます。
- 本機で録画した番組を一時停止して静止画を作成することもできます。(→54)

お知らせ

- 静止画の作成中は、録画や再生、視聴ができません。
- 録画中は、静止画を100枚まで保存できます。
- 「タイムスタンプ」(→22)を「入」に設定すると、静止画に時刻が表示されます。
- 録画中に静止画を保存する場合、静止画のタイミングにわずかなずれ(最大2秒程度)を生じることがあります。
- 静止画の作成は、本機で録画したHDDの番組から行われます。

日時を指定して予約録画する

HDD BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR -R V
-RW V

「録画動作設定」で、「エンドレス録画」(→22)を選択している場合、予約録画できません。

新品のディスクに録画するときなど、ディスクのフォーマットが必要な場合があります。(→85)

HEVC 画質の番組の予約録画について (→42)

1

ホーム を押す

2

「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3

「予約する」を選び、決定 を押す

4

「予約確認する」を選び、決定 を押す

5

録画 を押す

6

予約内容を設定する

(→39「時間指定予約」へ)

時間指定予約	
録画日	6月1日(水)
毎週予約設定	しない
外部入力選択	HDMI
開始時刻	6月 1日 20:00
終了時刻	—
録画先	HDD
録画モード	HEVC 1倍録
番組名入力	
マイラベル設定	しない
予約を登録する	
設定変更 戻る	

7

「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

予約一覧	
予約日時	6月1日(水) HDMI HDD 20:00-21:00 HEVC 1倍録
予約日時	6月2日(木) HDMI HDD 20:00-20:00 HEVC 1倍録

「①」が表示されたときは、[決定] を押して、予約内容を確認してください。

録画を止めるには

■ 停止 を押す

(本体の [STOP] でも停止できます)

録画する (続き)

 お知らせ

- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。(→90「日時設定」)
- 電源の入/切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1 番組として数えます)
- HDDとディスクに同時予約録画することはできません。

予約内容の設定

時間指定予約

- ① 項目を選び、設定する (→ 下記)
- ② 設定が終了したら、
→38「日時を指定して予約録画する」手順 7 へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎週予約を設定します。 ● 「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ● 曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
外部入力選択	録画する入力を設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● [◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モードを設定します。(→35)
番組名入力	● 文字入力について (→89) ● 入力しなくても、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。設定すると、録画一覧 (→45) で番組を探すのに便利です。設定は録画後に変更することもできます。(→61) ラベルを選び、[決定]を押す ● 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ● マイラベル名は変更することができます。(→49「分類ラベル設定」)

DVD に予約録画できる記録方式



AVC (ハイビジョン画質) で記録できます。
(AVC1 ~ 15 倍録モードで記録)
● [RW] ではできません。



MPEG2 (DVD 画質) で記録します。
(XP, SP, LP, FR モードで記録)



予約内容の確認、取り消し、修正など

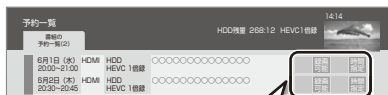
1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、 を押す

3 「予約する」を選び、 を押す

4 「予約確認する」を選び、 を押す

5 番組を選び、以下の操作を行う



予約状況がマークで表示されます。

- 「」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約で HDD の残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
- 表示マークについては (→109)

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → 右記)

予約の取り消し

または を押す

予約内容の修正

- 1 を押す
- 2 「修正」を選び、 を押す (→39「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

- 1 を押す
 - 2 「毎週一覧」を選び、 を押す
- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(→41)

予約の実行を止める（一時解除）

- 1 サブメニュー を押す
 - 2 「予約実行切」を選び、 を押す
- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
 - [サブメニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、機状態に戻ります。

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

- 1 サブメニュー を押す
 - 2 「履歴一覧表示」を選び、 を押す
- 履歴を選択して削除することができます。(→下記)

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

- 1 サブメニュー を押す
 - 2 「履歴削除」を選び、 を押す
 - 3 「はい」を選び、 を押す
- 予約一覧で消去された場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることができます。(録画に影響はありません)

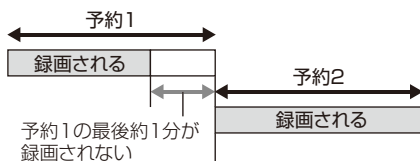
静止画作成中の予約録画について

本機が静止画を作成しているときは、予約録画は実行されません。静止画の作成後に録画を開始します。(➡38)

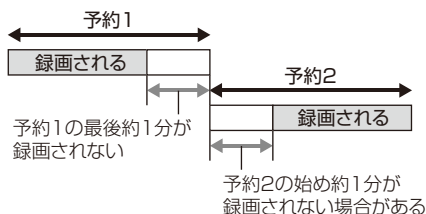
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

以下の場合、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。

- 複数の番組を録画できない状態のとき



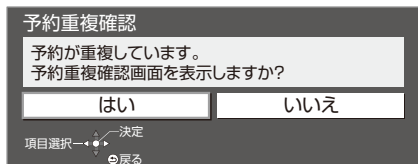
- 次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始め約 1 分も録画されない場合があります。



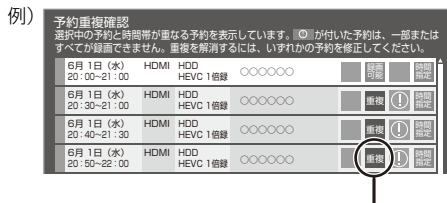
- 前の予約の録画終了時刻に近づく、視聴中の入力が次の予約の入力に切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき (38 ページ手順 7 のあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



「はい」を選ぶと予約重複確認画面が表示されます。



「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

録画 / 予約録画に関するお知らせ (続き)

画質と記録時間について

HEVC (高圧縮) の場合

長時間の録画モードで録画する場合、映像によってはブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、HEVC 1 倍録モードや HEVC 1.5 倍録モードなど高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

AVC (ハイビジョン画質) の場合

長時間の録画モードで録画する場合、映像によってはブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、AVC1 倍録モードや AVC1.5 倍録モード など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

ディスクの残量不足などに対応 (代替録画)

残量不足や未挿入、未接続などの理由でディスクに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

お知らせ

- HDD の残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

動画の自動作成 / 転送について

録画した番組の MP4 を自動で作成したり、動画を転送することもできます。
(M2TS は録画時に自動作成するので、設定はありません)

- MP4 は録画時間が 8 時間を超える場合は、8 時間ずつ分割して作成します。
- 動画・静止画の設定で、作成や転送設定が「入」のときに実行されます。(→23)

録画モードと記録時間の倍率について

例)

録画モード変更		記録可能時間
HDD 残量	3710GB	360時間00分
BD 容量	25GB 換算	9時間00分
1 倍録	33.0Mbps	
1.5 倍録	22.0Mbps	
2 倍録	16.5Mbps	
2.5 倍録	13.2Mbps	
3 倍録	11.0Mbps	

記録時間の倍率 情報量(ビットレート) ※

※ 数値が大きいくほど画質は良くなります。

AVC (ハイビジョン画質) の倍率や情報量は、AVC 1 倍録モード (24 Mbps) で録画した場合との比較を表しています。

HEVC (高圧縮) の倍率や情報量は、HEVC 1 倍録モード (33 Mbps) で録画した場合との比較を表しています。

- 2K の入力を HEVC 1 倍録で録画する場合は、HEVC 1.5 倍録相当で録画されます。

🔍 録画モードと記録時間の目安 (→120)

番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせて、録画番組の中から番組を検索し、再生・編集をすることができます。

1 ホームを押す

2 「検索する」を選び、決定を押す

3 検索条件を設定する (→ 右記)



- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
([赤]を押して「指定しない」にすることもできます)

設定した検索条件をリセットするには [青]を押す

4 すべての設定が終了したら、決定を押す



お知らせ

- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

再生する

検索結果が表示されたあと (→ 左記)、

番組を選び、決定を押す

編集する

検索結果が表示されたあと (→ 左記)、

番組を選び、緑を押す

(→59「番組を編集する」手順 3)

チャプターを編集するには
[サブメニュー]を押して「チャプター一覧へ」を選び、[決定]を押す (→64 手順 4)

消去する

検索結果が表示されたあと (→ 左記)、

1 番組を選び、黄を押す

2 「消去」を選び、決定を押す

検索条件について

検索対象	再生・編集したい番組を検索します。
録画先	録画番組のある録画先 ● 「家じゅう」は、ホームネットワークで接続された機器の中から番組を検索することができます。
フリーワード	登録したワード ● フリーワードの登録について (→44) ● 録画一覧の番組名や番組内容にある文字情報から検索します。
期間	番組を録画した日時

検索条件によって表示される項目は異なります。

番組を検索する（続き）

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

❶ 「新規登録」を選び、**決定**を押す

❷ 項目を選び、設定する

🔍 文字入力 (→89)

フリーワード：

入力文字の関連番組を検索します。

除外ワード：

入力文字の関連番組を検索対象から除外します。

検索方法：

検索時の組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか 1 つでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。

❸ 設定が完了したら、「決定」を選び、**決定**を押す

🔍 登録したフリーワードを変更するには

- ① 変更したいフリーワードを選び、**緑**を押す
- ② 項目を選び、設定する

🔍 文字入力 (→89)

🔍 登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、**黄**を押す

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

例)

4K 画質の番組を HEVC で録画した番組には **4K** が表示されます。

ラベル

- **[◀] [▶]** を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

- 表示を変えるには (→49)

選択中のメディア

残量 / 録画モード

- 変更するには (→37)

表示するラベルを変更するには
(→49「分類ラベル設定」)

録画番組の録画モード

- 「→HEVC○○倍録」、「→AVC○○倍録」が表示中は、録画モード 変換が終了していません。(→62)

選択中の番組

ページ数

- **[◀◀] [▶▶]** を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押したままにすると、素早く切り換わります。

表示マークについては
(→110)

(ダビング →66)

(番組編集 →59)

(番組消去 →59)

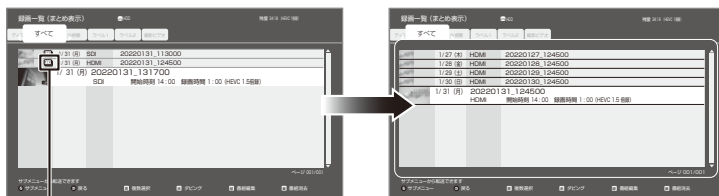
HDD 録画後すぐは「録画済」と表示
(画像は電源「切」時に作成されます)

- 表示される画像を変更するには (→61「サムネイル変更」)
- 「家じゅう」「ディスク」の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約で録画した番組は、**まとめ** 番組として表示することができます。

- ① **[サブメニュー]** を押す
- ② 「その他」を選び、**[決定]** を押す
- ③ 「まとめ表示へ」を選び、**[決定]** を押す



まとめ 番組を選び、**決定** を押すと、**まとめ** 番組内の番組を一覧表示します。

●お知らせ

- 録画一覧に表示される残量は、AVC1 倍録モードではハイビジョン画質映像を 24 Mbps で録画したものととして、HEVC1 倍録モードでは 4 K / 2 K 画質映像を 33 Mbps で録画したものととして計算されています。(→42)
- 録画一覧は、録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

録画一覧について（続き）

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう		「ホームネットワーク」で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 (→80) ●「家じゅうラベルの表示」を「入」にすると、表示されます。(→96) ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のレコーダーの番組を再生した場合、接続機器側の「通信／映像品質の設定」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、ホーム画面の「ホームネットワーク」から再生してください。
ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● BD-V DVD-V では表示されません。
HDD	すべて	すべての番組
	未視聴*	録画してまだ見ていない番組 ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「未視聴」から除外されます。
	マイラベル*	「マイラベル設定」で設定した番組のみを表示します。(→61) ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(→49「分類ラベル設定」)
	撮影ビデオ	●ディスクや USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD、MP4）(→75)

※分類ラベル設定 (→49) で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

録画した番組を再生する

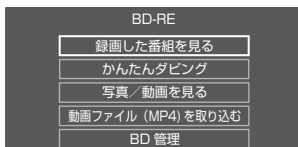
録画した番組を再生する

HDD [BD-RE] [BD-R] [RAM] [R] [RW]

ディスクを再生する場合

- ① ディスクを入れる
- ② [ホーム]を押す
- ③ 「メディアを使う」を選び、[決定]を押す

例) [BD-RE]



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 録画一覧を押す

2 番組を選び、[決定]を押す



●（まとめ表示のとき）

毎日・毎週予約した番組は、[まとめ]番組内に録画されます。

[まとめ]番組を選んで、[決定]を押すと、[まとめ]番組内の番組を表示できます。

録画しながら追っかけ再生する

録画中は、追っかけ再生のみ可能です。（入力解像度、録画モードの組み合わせによっては再生できません）
 (→125)

1 録画一覧を押す

2 録画中の番組を選び、[決定]を押す

●お知らせ

- 録画終了後に静止画を作成している場合は、追っかけ再生はできません。
- 録画中の番組以外は再生できません。

録画時の便利な機能

■ 通常録画 (→22)

選択中のドライブ(HDD または BD) への録画が可能です。

■ HDD/BD 同時録画 (→22)

HDD とディスクに同時に録画することができます。

■ エンドレス録画 (→22)

HDD に録画し続けることができます。

■ 自動消去 (→22)

HDD の記録可能時間が少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。

■ トレイ制御 (→22)

ディスクへ録画中にディスク残量がなくなると、自動的にディスクトレイが開きます。

●お知らせ

- 表示マークについては (→110)
- 他の機器で作成したプレイリストのディスクの再生
 - ① [ホーム]を押す
 - ② 「メディアを使う」を選び、[決定]を押す
 - ③ 「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、[決定]を押す
 - ④ 「プレイリストを見る」を選び、[決定]を押す
- 3D 映像を楽しむには (→52)
- [録画一覧]を押すと[BD-V]や[DVD-V]の再生が始まる場合、[HDD]を押してドライブを HDD に切り換えてください。

録画した番組を再生する (続き)

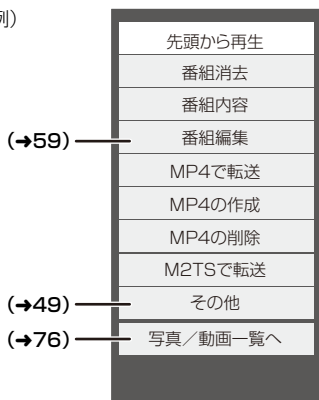
録画一覧上での便利な機能

① 番組を選び、 を押す

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから [サブメニュー] を押して [その他] を選んでください。

② 項目を選び、 を押す (→ 下記)

例)



先頭から再生	番組を最初から再生します。 HDD
番組消去	消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。 「消去」を選び、[決定]を押す
番組内容	番組の内容が確認できます。
MP4で転送	(→77) • MP4 が作成されていない場合は、変換して転送します。
MP4の作成	(→23) • MP4の作成では、いったん作成待ち状態になったあと、自動的に作成されます。
MP4の削除	作成した MP4 を削除します。
M2TSで転送	(→77)
一覧を更新 更新を中止	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。 • 「家じゅう」ラベル選択時のみ

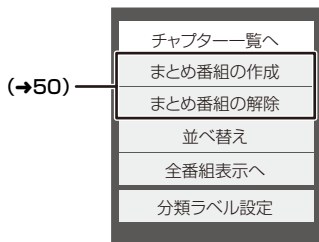
 お知らせ

- MP4 の作成や転送は、本機で録画した HDD の番組からのみ可能です。

録画した番組を再生する (続き)

その他の表示について

例) 「まとめ表示」時



チャプター一覧へ	チャプターを再生、編集します。 (→64)
並べ替え HDD	録画一覧に表示する番組の並び順の設定を行います。 ▶ 録画日時の古い順 ▶ 録画日時の新しい順 ▶ 番組名順 ▶ 番組名逆順
全番組表示へ まとめ表示へ HDD	表示を切り換えます。
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを追加、削除、移動します。 表示させたいラベルを選び、 [決定]を押す ●追加できるラベルは最大8個です。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、[決定]を押す ② 「名称変更」を選び、[決定]を押す (ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください) ③ ラベル名を入力する(→89)

録画した番組を再生する (続き)

再生時の便利な機能

■ 自動電源 ON (→21)

電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

■ 自動再生 (→21)

電源を入れたとき、電源「切」前に選択していたドライブを自動的に続きから再生します。

■ タイトルリピート (→21)

再生を開始すると、自動的にリピート再生します。

■ 録画一覧再生位置 (→22)

番組一覧を開いたときに、最初を選択される番組を設定することができます。

■ 操作表示を非表示にする (→90)

「画面表示動作 [オート]」を「切」に設定すると、「読み込み中です。」などの本機の状態や操作の表示を非表示にできます。

■ 静止画を保存する (→54)

再生中に一時停止して、静止画を作成することができます。

まとめ番組について

HDD

毎日・毎週予約で録画した番組は、録画一覧画面で **まとめ** 番組として表示することができます。(→45)

- **まとめ** 番組は、**まとめ** 番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示します。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する (まとめ再生)

まとめ 番組を選び、**▶再生** を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、**まとめ** 番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

- **まとめ** 番組名を変更 (→59) しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

- ① 番組を選び、**青** を押す
 - ☒ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。
- ② すべて選んだあと、**サブメニュー** **S** を押す
- ③ 「その他」を選び、**決定** を押す
- ④ 項目を選び、**決定** を押す (→下記)

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。
まとめ番組から除外	選んだ番組を、 まとめ 番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき)

Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合

項目を選び、**決定** を押す



☞ **メニュー画面を表示させるには**

BD-V 再生中：[サブメニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中：[録画一覧] を押す

DVD-V [録画一覧] を押す
([サブメニュー] を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

☞ **ポップアップメニューを表示させるには**

BD-V 再生中：[録画一覧] を押す

- 停止中に[1]～[9]を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

DVD-V : 2 桁入力 **BD-V** : 3 桁入力

お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[■ 停止] を押して停止させてください。
- [録画一覧] を押すと録画一覧が表示される場合、[BD] を押してドライブを BD に切り換えてください。
- Dolby Atmos® や DTS:X®、AURO-3D® に対応した BD ビデオを楽しむには (→93)

Ultra HD ブルーレイを楽しむ

本機は Ultra HD ブルーレイの再生に対応しています。

著作権保護のために、ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。(→95、104)

Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために

4K/HDR で視聴するためには、HDCP2.2^{*1}、4K/60p/4:4:4、Ultra HD ブルーレイ規格の HDR 信号に対応する機器（ディスプレイ）や端子に接続してください。

- HDCP2.2に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換^{*2}して出力します。また、ディスクによっては正しく再生できない場合があります。
- 4K/60p/4:4:4:2:0 までの機器や端子に接続した場合、60p 素材の再生は HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。
- 4K/60pに対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で出力します。
- HDRに対応していない機器や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。また、ディスクによっては 2K 解像度での出力、または正しく再生できない場合があります。

※ 1 HDCP とは不正コピー防止技術の 1 つです。2.2 はバージョンを表します。

※ 2 ダイナミックレンジ変換とは、HDR 映像信号を、HDR 入力に対応していないテレビに適した映像信号に変換する機能です。

お知らせ

- 4K/60p/4:4:4 に対応するためには 18 Gbps 対応の HDMI ケーブルが必要です。
- Ultra HD ブルーレイの再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・早見再生はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する (続き)

副映像のあるディスクを楽しむ

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」(→93)を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。(→56)

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live は、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに USB 機器（USB メモリー）を利用します。

- ① ネットワーク接続と設定をする (→95、104)
- ② 「BD-Live インターネット接続」(→92)を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する
- ③ 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する
- ④ ディスクを入れる

- USB 機器に記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。

[ホーム] ボタン→「メディアを使う」→
「USB 機器」→「BD ビデオデータ消去」で消去を行う

お知らせ

- アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

3D 映像を楽しむ

(3D 対応テレビと接続時のみ)

- テレビ側で3Dの設定など必要な準備を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

- 「3D番組の出力方法」、「3D再生時の注意表示」(→94)
- 「3D ディスクの再生方法」(→92)

再生中の番組の 3D 設定をする

- 「3D 番組の出力方法」(→94)

再生中のいろいろな操作

停止

■ 停止 を押す

(本体の [STOP] を押す)

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

(ホームネットワークで再生した場合も含む)

- **[HDD]** : 番組ごとに止めた位置を記憶
- **ディスク** : 前回止めた位置のみを記憶
 - ・記憶した位置は、ディストレイを開けると解除されます。(**[BD-V]** の場合、前回止めた位置を記憶しているディスクもあります)
 - ・ **[BD-V]** **[DVD-V]** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

■ 一時停止 を押す

(本体の [PAUSE] を押す)

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

◀ 早戻し または ▶ 早送り を押す

(本体の [REW] または [FF] を押す)

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。
以下の場合は音声は出ません。
 - ・ 4K 画質の番組の再生中
 - ・ Ultra HD ブルーレイや MP4 動画の再生中
 - ・ 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・ 「1080/60p」の表示がある番組の再生中

スキップ

再生中または一時停止中に

◀ スキップ または ▶ スキップ を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク (→63) がある場合は、その場面に飛びます。
- **[HDD]** まとめ再生中は、前後の番組も含めて飛び越します。
- **[MP4]** スキップはできません。

早見再生

再生中に **[▶ 再生]** を押して、再生速度を選ぶ

(本体の [PLAY] を約 1 秒以上押す)

- 操作を繰り返すと 2 段階で再生速度が変わります。
- 以下の場合はできません。
 - ・ Ultra HD ブルーレイ
 - ・ 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・ 「1080/60p」の表示がある番組
 - ・ **[-RW]** (ファイナライズ後も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- 同時動作や再生番組によっては早見再生ができない場合があります。(→125)

スロー再生

一時停止中に

◀ 早戻し または ▶ 早送り を押す

(本体の [REW] または [FF] を押す)

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ働きます。
- 音声は出ません。

再生中のいろいろな操作 (続き)

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に



(左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り (戻し) します。

- 押したままにすると、連続してコマ送り (戻し) します。
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または [BD-V]、[AVCHD] では、コマ戻しはできません。
- Ultra HD ブルーレイでは、働かない場合があります。

音声や字幕の切り換え

① サブメニュー (S) を押す

② 「音声」または「字幕」を選び、決定 (決定) を押す

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。(→56)

- 音声はリモコンの[音声切換]でも切り換えることができます。
- [BD-V] [DVD-V] ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

時間を指定して飛び越す (タイムワープ)

① (+ または -) を押す

- 押すごとに 1 分ずつ送り [+], 戻し [-] します。

飛び越し時間表示

約5秒間表示



② 決定 (決定) を押す

- [BD-V] [DVD-V] [AVCHD] [MP4] できません。

静止画を保存する

[HDD]

本機で録画した番組を全画面で再生しながら一時停止すると、その画面の静止画を作成することができます。

再生の一時停止中に

静止画保存

(決定) を押す

お知らせ

- 静止画の保存は、本機で録画したHDDの番組からのみ可能です。
- 「タイムスタンプ」(→22) を「入」に設定すると、静止画に時刻が表示されます。

再生中のいろいろな操作 (続き)

操作状態の表示

画面表示

を押す

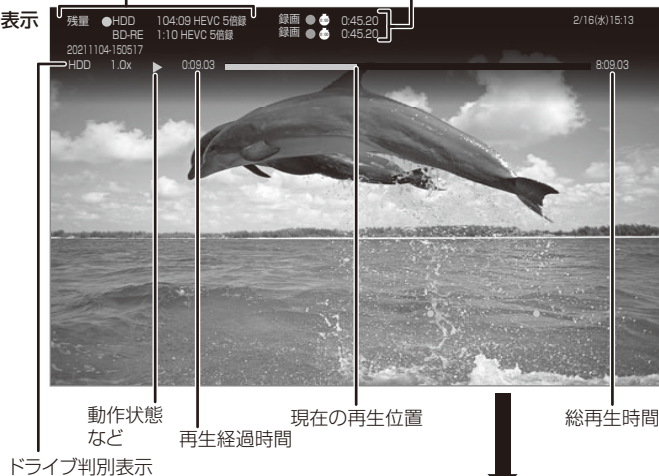
押すごとに切り換わります。

例) HDD

残量の目安と
現在の録画モード

タイムスタンプが
「入」時に表示

簡易OSD表示



詳細OSD表示



出力情報 (HDMI/SDI)

入力情報 (HDMI/SDI)

🔧 操作の状態を消すときは

操作の状態を表示中に、[画面表示] を押す

🔔 お知らせ

- 簡易 OSD 表示は、約 20 秒後に自動的に消えます。
- ディスクや再生状態（停止中など）によって表示が変わります。



戻る

再生設定をする

音声や字幕などの設定をする（再生設定）

1 再生中に
再生設定
を押す

2 メニューを選び、決定を押す

例) BD-V



3 設定項目を選び、決定を押す

- 再生する番組やディスクにより設定項目は異なります。

4 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

録画した番組の再生時の音声などを切り換えます。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕
- ▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ 字幕設定：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ▶ 字幕スタイル
- ▶ 字幕位置
- ▶ 字幕輝度

アングル

アングルを選びます。

リピート

（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶ 番組
- ▶ タイトル
- ▶ チャプター
- ▶ プレイリスト
- ▶ 全曲
- ▶ 1 曲

シャッフル（音楽再生時のみ）

- 「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 AVCHD

情報の表示のみ

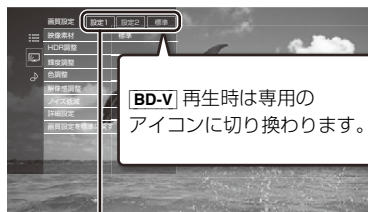
主映像情報 BD-V

副映像設定 BD-V

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

再生設定をする (続き)

画質設定



◀▶で「設定 1」/「設定 2」/「標準」を切り換えます。

- 「設定 1」 / 「設定 2」は、お好みの設定が登録できます。登録内容は BD ビデオ、Ultra HD ブルーレイ再生時、それ以外の場合で別々に記憶されます。
(お買い上げ時は「標準」と同じ設定です)
- 「標準」の設定は変更できません。

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ

HDR 調整

▶ ダイナミックレンジ調整*

(入力が HDR 映像の出力、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを HDR 信号で再生時のみ)

▶ ダイナミックレンジ変換調整*

(入力が HDR 映像の出力、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを通常の映像信号に変換して再生時のみ)

HDR (ハイダイナミックレンジ) 入力に対応していないテレビと接続した場合に、HDR 映像の明暗比 (ダイナミックレンジ) を変換して出力します。

- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調
- ▶ HDR ディスプレイタイプ

※ 設定値を大きくすると、全体的に明るくなります。設定値を小さくすると、HDR 映像の明暗比がより忠実に再現されます。

輝度調整

映像の明るさ、黒レベル、白 / 黒階調を調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

色調整

色の濃さ、色あいを調整します。

- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きいほうが、より鮮明になります。

- ▶ 解像感 (輝度高域)
- ▶ 解像感 (輝度中域)
- ▶ 解像感 (色)
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きいほうが、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減

詳細設定

- ▶ 輝度垂直帯域制限
- ▶ 輝度水平帯域制限
- ▶ 色垂直帯域制限
- ▶ 色水平帯域制限
- ▶ プログレッシブ処理

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。
 - ▶ Auto
 - ▶ Video

画質設定を標準に戻す

選択している「設定 1」 / 「設定 2」の画質設定をお買い上げ時の設定に戻します。

再生設定をする (続き)

音質設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

▶ 切

▶ ナイトサラウンド*

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ ハイレゾリマスター (弱 / 中 / 強)*

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

(サンプリング周波数が96 kHz以下で記録された音声に有効)

- 音声が入り込む場合、「切」にしてください。
- ハイレゾリマスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

DSD-PCM 変換周波数設定

(音楽再生時のみ)

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

▶ 176.4 kHz

▶ 88.2 kHz

▶ 44.1 kHz

DSD LPF 設定

(音楽再生時のみ)

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

自動音量調整*

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声が入り込む場合、「切」にしてください。

シネマボイス*

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ 「HDMI 出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(→142)
(音声は2チャンネルになります)

番組を消去する / 編集する

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。(消去する番組から作成されたMP4 や静止画も消去されます)

1  を押す

2 番組を選び、 を押す



- **まとめ** 番組内の番組を消去する場合、**[黄]** を押す前に、**[決定]** を押して、**まとめ** 番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで **[青]** を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には **[青]** が表示されます。
もう一度 **[青]** を押すと選択を取り消します)

3 「消去」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- **まとめ** 番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、**まとめ** 番組は解除されます。
- **HDD** の番組消去について
 - ・消去が完了しても、HDD の残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
 - ・ **HDD** **BD-RE** **-RW VR** 消去すると、消去した分、残量が増えます。
 - ・ **-RW V** 最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
 - ・ **BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組を編集する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

(ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません)

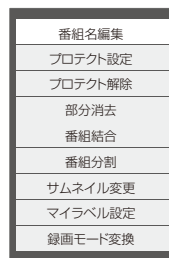
1  を押す

2 番組を選び、 を押す

3 「番組編集」を選び、**[決定]** を押す

4 項目を選び、**[決定]** を押す (→下記)

例) **HDD**



お知らせ

- 番組編集を行うと、作成済みのMP4や静止画が消去されることがありますが、MP4 は自動的に再作成される場合があります。
- 編集量が多い場合、ディスクヘダビングできないことがあります。
- 録画中は編集できません。

番組名編集

番組名を編集できます。

 文字入力 (→89)

お知らせ

- **まとめ** 番組の番組名を変更しても、**まとめ** 番組内の各番組の名前は変わりません。
- 番組名は最大約 40 文字 (全角) まで入力できます。

番組を消去する / 編集する (続き)

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

●**[R V]** **[RW V]** できません。

「番組を編集する」(➔59) 手順 1～3 のあと
「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、
[決定] を押す

●プロテクト設定すると「」が表示されます。

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

●**[R V]** **[RW V]** できません。



「番組を編集する」(➔59) 手順 1～4 のあと

- ① **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
 - ② 「開始点」を選び、消去する部分の開始点*で
[決定] を押す
 - ③ **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
 - ④ 「終了点」を選び、消去する部分の終了点*で
[決定] を押す
 - 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す (➔手順 ② へ)
 - ・20区間まで設定できます。
 - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。
 - ⑤ 「消去開始」を選び、[決定] を押す
 - ⑥ 「実行」を選び、[決定] を押す
- 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- 「シームレス再生」(➔93) を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (➔53) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[⏏ 一時停止]** を押し、
[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組結合

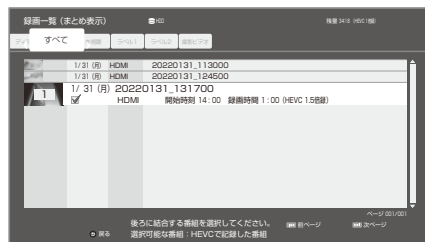
HDD

同じ録画モードや素材の2つの番組同士を、1つの番組に結合することができます。

- AVC1～15倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。
- HEVC1～8倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

「番組を編集する」(➔59) 手順 1～4 のあと

- ① 結合したい番組を選び、[決定] を押す



- ② 「結合」を選び、[決定] を押す

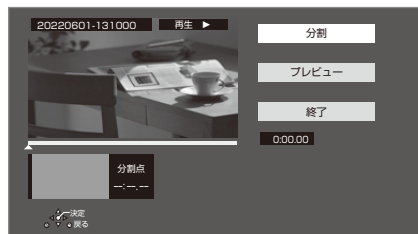
お知らせ

- 結合した番組は以下になります。
 - ・録画モード：画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）
 - ・番組名：最初に選択した番組名
 - ・チャプターマーク：結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が最大チャプターマーク数 (➔124) を超える場合、超えた分は削除されます）
 - ・番組の結合部分：映像や音声が入り切ることがあります。
- 以下の番組は結合できません。
 - ・HEVC1～8倍録モードの番組とそれ以外の番組
 - ・AVC1～15倍録モードの番組とそれ以外の番組
 - ・録画時間の合計が8時間を超える場合
 - ・撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士
 - ・24p/23.976pの番組とそれ以外の番組
 - ・MPEG2 (DVD 画質) の番組とそれ以外の番組

番組を消去する / 編集する (続き)

番組分割

- **[R V]** **[RW V]** できません。



「番組を編集する」(→59) 手順 1～4 のあと

- 1 「分割」を選び、分割する場面*で **[決定]** を押す
 - 「プレビュー」を選び、**[決定]** を押すと、分割する場面を確認することができます。

☞ 場面を選び直すには

- ① 「分割」を選び、**[▶再生]** を押して再生を始める

- ② 分割する場面で、**[決定]** を押す

- 2 「終了」を選び、**[決定]** を押す

- 3 「分割」を選び、**[決定]** を押す

- 分割した番組は、**[まとめ]** 番組になります。
- 分割すると、分割点の直前部分が一時再生されなくなります。
- **[BD-RE]** **[BD-R]** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

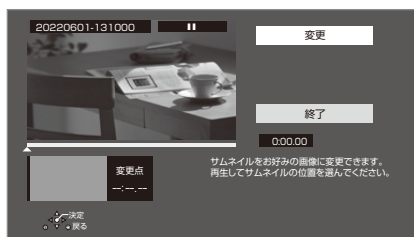
- ① 早送りやスロー再生など (→53) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[⏏一時停止]** を押し、**[◀▶]** を押して場面を調整する

サムネイル変更

[HDD] **[R V]** **[RW V]**

録画一覧やトップメニューで表示される画像 (サムネイル) を変更します。

- **[R V]** **[RW V]** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



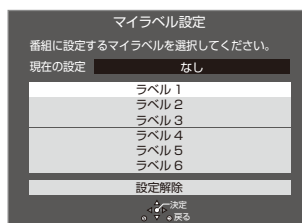
「番組を編集する」(→59) 手順 1～4 のあと

- 1 **[▶再生]** を押して、再生を始める
- 2 「変更」を選び、お好みの場面*で **[決定]** を押す
 - ☞ 場面を選び直すには
 - ① 「変更」を選び、**[▶再生]** を押して再生を始める
 - ② お好みの場面で、**[決定]** を押す
- 3 「終了」を選び、**[決定]** を押す

マイラベル設定

[HDD]

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。



「番組を編集する」(→59) 手順 1～4 のあと

- 1 ラベルを選び、**[決定]** を押す
- 2 「マイラベル設定」を選び、**[決定]** を押す
 - 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
 - マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**[決定]** を押してください。
 - マイラベル名は変更することができます。(→49「分類ラベル設定」)

番組を消去する / 編集する (続き)

録画モード変換

HDD

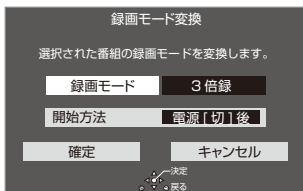
録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- HEVC (高圧縮) の番組
HEVC、AVC、MPEG2 の画質に変更できます。
- AVC (ハイビジョン画質) の番組
AVC、MPEG2 の画質に変更できます。
- MPEG2 (DVD 画質) の番組
MPEG2 の画質に変更できます。

「番組を編集する」(→59) 手順 1～4 のあと

- 1 HEVC (高圧縮) の番組を変換する場合、「HEVC (高圧縮)」、「AVC (ハイビジョン画質)」または「MPEG2 (DVD 画質)」を選び、「決定」を押す
- 2 画面上で「録画モード」を選び、「決定」を押す



- 3 倍率を選び、「決定」を押す
- 4 「開始方法」を選び、開始方法を設定する

● すぐに：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は視聴や再生はできません。

● 電源 [切] 後：

電源「切」後、変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

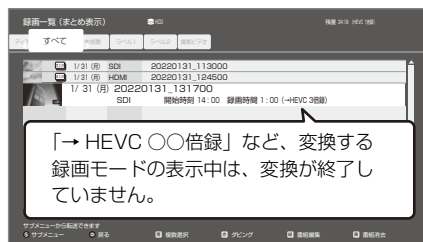
- 5 「確定」を選び、「決定」を押す
- 6 「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、「決定」を押す
☞ 変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：
[決定] を押す

☞ 変換の設定内容を変更・取り消しするには

- ① 59 ページ「番組を編集する」手順 4 で「録画モード変換」を選ぶ
- ② 「設定変更」または「設定取消」を選び、「決定」を押す

☞ 変換が終了しているか確認するには



お知らせ

- LP、FRモードの番組やHDDに取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 他社製機器で録画された番組は、HEVC1～8倍録モードの録画モードに変換できません。
- フレームレートについて (→32)

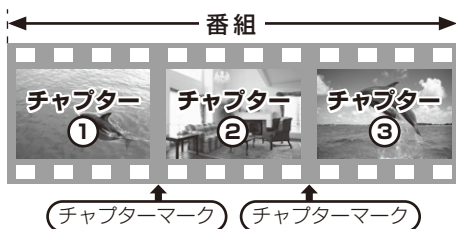
チャプターの作成・再生・編集

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。スキップ (→53) すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプターモード」(→21) を「入」にすると、録画時に自動的にチャプターマークを作成します。
- チャプターを作成する間隔は、「チャプター間隔」(→21) で設定できます。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- **HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能 (→53) や「サムネイル変更」(→61) ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄
ボタン
を押す
チャプターマーク



削除

一時停止中に

① **スキップ** または **スキャン** を押して、削除したい場面に飛ぶ

② 黄
ボタン
を押す
チャプターマーク

③ 「はい」を選び、**決定** を押す



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

- ① **[録画一覧]** を押す
- ② 番組を選び、**[サブメニュー]** を押す
- ③ **[チャプター一覧へ]** を選び、**[決定]** を押す
- ④ **[緑]** を押す



⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

チャプターの作成・再生・編集 (続き)

チャプターを再生・編集する

1  を押す

2 番組を選び、 を押す
 番組を検索するには (→43)

3 「その他」を選び、 を押す

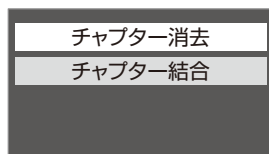
4 「チャプター一覧へ」を選び、 を押す

5 再生する：
チャプターを選び、 を押す

編集する：
チャプターを選び、 を押す



6 編集する項目を選び、 を押す



チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。
 (元に戻すことはできません)



番組が部分消去されます。

「消去」を選び、[決定] を押す

- チャプターを消去すると、MP4に変換した番組も消去されます。
- チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。(MP4に変換した番組や、保存した静止画も消去されます)
- チャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつながります。



「チャプターマーク」削除すると



前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、[決定] を押す

ダビングについて

本機では、HDD やディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング元とダビング先のメディアによって、ダビング方法やダビング速度などが異なります。

ダビング方向	ダビング方法
	- かんたんダビング - 詳細ダビング - 再生中番組の保存
 他機器での再生については (→26)	

ダビング方向	ダビング方法
	詳細ダビング
高速ダビングができない条件(1倍速ダビングになる) DVD ビデオ (ファイナライズ後のディスク) をダビングする場合	
お知らせ コピー制限のある番組のダビングについて (ムーブバック) - DVD からはダビングできません。 - BD からは移動になります。(ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R のディスク残量は増えません)	
	
BD-RE BD-R 以下の番組は移動できません。 - ディスク内で番組分割した番組 - 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組 BD-R ファイナライズしたディスク - 録画時間が 8 時間を超える番組	

ダビング方向	ダビング方法
	詳細ダビング
番組を複製して同じ番組を 2 つにします。	

お知らせ

- お使いのテレビによっては、ダビング画面で表示解像度が低くなるため文字などがぼやけて表示される場合があります。ダビング終了後に元に戻ります。
- 録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR方式またはビデオ方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。

ダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

HDDにある番組をディスクにダビングします。

- 操作の前に記録可能なディスクを入れてください。
- HEVC（高圧縮）でダビングする場合は、**BD-RE** **BD-R** を使用してください。

1  を押す

2 「かんたんダビング」を選び、**決定** を押す

- [-R]** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
- 画質を選び、**決定** を押してください。

3 番組を選び、**決定** を押す

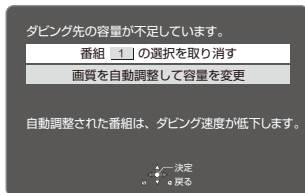
- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで**青**を押す操作を繰り返してください。
- (選んだ番組には ☒ が表示されます。
もう一度 **青**を押すと選択を取り消します)



☞ かんたんダビングの画面について (➡67)

☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。

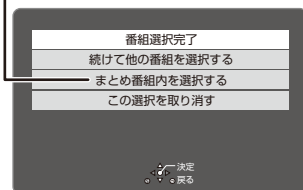
例)



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、**決定** を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示



- 他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(➡手順3へ)

5 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

- オプション設定について (➡67)

6 「はい」を選び、**決定** を押す



- 新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットしたあと、ダビングを始めます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作について (➡71)

☞ ダビングの進行状況を表示するには

ホーム画面の「ダビングする」を選ぶと進行状況を確認できます。

お知らせ

- ダビング中は予約録画ができません。(高速ダビングは除く)
- 「[MPEG2 (DVD 画質)]」で未フォーマットの **[-R]** **[-RW]** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ・**1D** (➡32) の番組が含まれている場合：VR 方式
 - ・**1D** の番組が含まれていない場合：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。
- 「プロテクト設定」(➡60) されている **1D** の番組はダビングできません。
- まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**サブメニュー** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- ダビング中に電源を切ることはできません。
- HEVC（高圧縮）の番組とそれ以外の番組を同じディスクにダビングすることはできません。

ダビングする (続き)

かんたんダビングの画面の見方



- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→66 手順 3) で

- 番組を選び、**サブメニュー** を押す
- 項目を選び、**決定** を押す (→ 下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
画質変更	☒ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ● 選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ● ダビング終了後自動電源 [切] ● ダビング終了後自動ファイナライズ ([-R] [-RW] のみ)
並べ替え*	表示順を変更します。
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※ 番組に ☒ が付いているときは機能の実行はできません。

お知らせ

- [**-R**] [**-RW**] 「オプション設定」 (→ 左記) の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→88) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。
- [**-R** **AVCREC**] AVC1 倍録で記録した番組を選べると、AVC1.5 倍録モードに変換します。

ダビングする (続き)

詳細ダビング

ダビング方向：

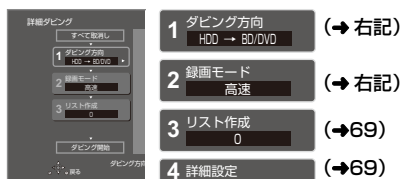
- **[HDD]** ➡ **[HDD]** **[BD-RE]** **[BD-R]** **[-R]** **[-RW]**
- **[BD-RE]** **[BD-R]** **[RAM]** **[-R AVCREC]** **[-R VR]** **[-RW VR]** ➡ **[HDD]**
- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➡85)

1  を押す

2 「詳細ダビング」を選び、**[決定]** を押す

3 項目を選び、**[▶]** (リモコンの右ボタン) を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



4 「ダビング開始」を選び、**[決定]** を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、**[決定]** を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

- **[戻る]** を 3 秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作について (➡71)

🔔 **お知らせ**

- ダビング中に録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。



- 録画モードを「HEVC 5倍録」から「HEVC 8倍録」に設定して **[BD-RE]** **[BD-R]** に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」(➡62)で録画モードを変えたあと、高速ダビングしてください

ダビング方向

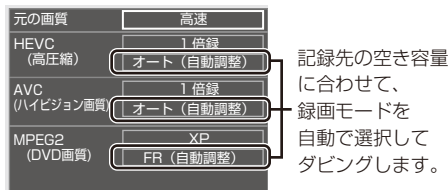
- 1 「ダビング元」を選び、**[決定]** を押す
- 2 ダビング元を選び、**[決定]** を押す
- 3 「ダビング先」を選び、**[決定]** を押す
- 4 ダビング先を選び、**[決定]** を押す

🔔 **お知らせ**

- **[HDD]** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は「まとめ」番組になります)
- **[1D]** 表示のある番組の複製はできません。

録画モード

- 1 「録画モード」を選び、**[決定]** を押す
- 2 録画するモードを選び、**[決定]** を押す



- **[サブメニュー]** を押して、録画モードの倍率を変更することができます。(➡42)

🔔 **お知らせ**

- 録画モードと記録時間の目安 (➡120)
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- 録画モードを「高速」以外に設定すると、ダビング中の予約録画は実行されません。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- 録画番組の内容によっては、「オート (自動調整)」を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。
- **[-R AVCREC]** AVC1 倍録モードを選んでも、AVC1.5 倍録モードでダビングします。

ダビングする (続き)

リスト作成 (番組を選択する)

- 1 「新規登録」を選び、**[決定]**を押す
- 2 番組を選び、**[青]**を押す
 - ☒ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。
 - ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

[F] 選択を取り消すには
番組を選び、**[青]**を押す

- 3 選び終わったあと、**[決定]**を押す

お知らせ

- ダビングリスト容量について (ダビング先に記録される容量)
 - ・ 管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

(**[R]** **[RW]** へダビングするときのみ)

- 1 「ファイナライズ」を選び、**[決定]**を押す
- 2 「入」または「切」を選び、**[決定]**を押す

(**[BD-RE]** **[BD-R]** **[R AVCREC]** へ AVC1 ~ 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ)

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

- 1 「音声・字幕の記録」を選び、**[決定]**を押す
- 2 「モード 1」または「モード 2」を選び、**[決定]**を押す
 - モード 1 : 再生時に音声や字幕の切り換えができます。
 - モード 2 : 再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」で記録する内容を設定してください。(→56)

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→88) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。
- HEVC (高圧縮) の番組は「音声・字幕の記録」の設定が無効です。複数の音声や字幕のある番組をダビングする場合は 72 ページをご覧ください。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面 (→ 左記「リスト作成」手順 ① のあと) で

リスト作成 番組一覧(まとめ表示)

緑ボタンを押すとプレビューを表示します

記録日	チャネル	番組名	番組別
6/1	HDMI	20220601-131500	3
6/1	HDMI	20220601-134500	1
6/1	HDMI	20220601-141500	1

- 2 番組を選び、**[サブメニュー]**を押す

- 3 項目を選び、**[決定]**を押す (→ 下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
並べ替え HDD	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	表示を切り換えます。

番組に ☒ が付いているときは機能の実行はできません。

リスト作成画面 (→ 左記「リスト作成」) で

詳細ダビング

すべて削除

1 ダビング方向
HDD → BD/DVD

2 録画モード
高速

3 リスト作成
2

ダビング先空き容量 23315 MB
ダビングリスト容量 9350 MB (40%)

No.	容量	番組
01 0:20 (5%)		20220601-131500
02 1:00 (95%)		20220601-134500
新規登録 (登録数=2)		

- 登録されたリストや設定を取り消す : 「すべて取消し」を選び、**[決定]**を押す
- リスト項目を入れ替える : 番組を選び、**[決定]**を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの全消去や追加、消去、移動をする : **[サブメニュー]**を押したあと、項目を選ぶ

ダビングする (続き)

ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

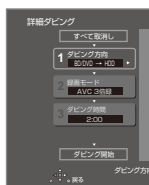
DVD-V (ファイナライズ後の -R V、-RW V、+R、+R DL、+RW) ➡ HDD

1  を押す

2 「詳細ダビング」を選び、 を押す

3 項目を選び、**[▶]** (リモコンの右ボタン) を押す

- 操作方法是「詳細ダビング」(➡68)をご覧ください。



- 1 ダビング方向
BD/DVD ➡ HDD
- 2 録画モード
AVC 3倍録
- 3 ダビング時間
2:00

以下のように設定してください。

- ・「ダビング方向」：「ダビング元」➡「BD/DVD」
- ・「録画モード」：「録画モード」を選ぶ
(AVC1.5 ~ 15 倍録のみ選べます)
- ・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する
(➡右記)

4 「ダビング開始」を選び、 を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源
[切]」を選び、 を押す

- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

6 ダビングしたい番組の再生を始める

 トップメニューが表示された場合は
番組を選び、**[決定]**を押す

 好みの番組を再生するには

- ① **[録画一覧]**を押す
- ② 番組を選び、**[決定]**を押す

 ディスクの再生が始まらない場合は

- ① **[▶ 再生]**を押す
- ② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、**[決定]**を押す

 ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[戻る]を3秒以上、もしくは**[■ 停止]**を押す

お知らせ

- 市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ (➡53) で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「DVD-Video 記録の設定」(➡92) の「記録アスペクト設定」を変更して再度ダビングしてください。

ダビング時間

- ① 「時間設定」を選び、 を押す
- ② 「入」または「切」を選び、 を押す
 - 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。
- ③ 「録画時間」を選び、 を押す
- ④ 「時間」または「分」を選び **[▲]****[▼]** で設定し、 を押す

ダビングする (続き)

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にディスクへダビングすることができます。(1番組のみダビング)

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向: **HDD** ➡ **BD-RE** **BD-R** **R** **RW**

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➡85)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合:

- **[R VR]** **[RW VR]** **[音声]** または **[字幕]** を押し、表示された再生設定画面(➡56)で、記録したい音声や字幕を設定する

2 を押す

3 「保存開始」を選び、 を押す

 **ダビングを実行中に中止するには**

- [戻る]** を3秒以上押す
- 中止時の動作について (➡右記)

お知らせ

- **[R VR]** **[RW VR]** 複数の音声を含んだ番組を2番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。
- ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
 - ・ **[音声]** または **[字幕]** を押し、表示された再生設定画面(➡56)で、記録したい音声や字幕を設定する
- ② かんたんダビング(➡66)、もしくは詳細ダビング(➡68)を実行する

字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) 番組A・B・Cの順にダビングして番組Cの途中で中止した場合



番組A・Bのみダビングされます。番組Cはダビングされず、ダビング元に残ります。ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

[BD-R] **[R]** 番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組Cがダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

[R V] **[RW V]** に画質変更ダビングするときの動作

- HDDの残量が少ないときは、ダビングできません。HDDの不要な番組を消去(➡59)してからダビングしてください。
- フレームレートについて(➡32)

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(➡124)を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **[BD-RE]** **[BD-R]** の残量が少ない
- **[BD-RE]** **[BD-R]** 以外のディスクへのダビング

ダビングする (続き)

複数の音声 (マルチ音声) や字幕情報を含んだ番組、サラウンド音声の番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下になります。

4K 画質の番組をダビングする場合

- **[BD-RE] [BD-R]** (高速でダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[BD-RE] [BD-R]** (HEVC (高圧縮) で画質変換ダビング時)
 - ・複数の音声は2つまで記録できます。
 - ・字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[BD-RE] [BD-R]** (AVC1 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - ・再生中に「信号切換」(→56) で選んだあと、ダビングを行ってください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。
- **[-R AVCREC]** (AVC1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - ・再生中番組の保存 (→71) でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

AVC1 ~ 15 倍録モードの番組をダビングする場合

- **[BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC]** (高速、AVC1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[-R VR] [-RW VR]** (HDD からダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - ・再生中番組の保存 (→71) でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
[BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] 詳細ダビングの詳細設定 (→69) で、「音声・字幕の記録」を「モード2」にしてディスクに画質変換ダビングすると、「信号切換」(→56) で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります)

3D 対応の番組のダビングについて

- **[3D]** 表示のある番組を **[-R VR] [-RW VR]** や **[-R V] [-RW V]** に XP、SP、LP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変換ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
 - ・**[BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下になります。

- **[BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]** 両方の音声を記録
- **[-R V] [-RW V]** 以下の設定に従って記録：「DVD-Video 記録の設定」の「二重音声記録時の音声選択」(→92) を記録したい音声にする

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(→92) から従って記録します。**[-R V] [-RW V]** へ記録するときには有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

HEVC 5倍録モードからHEVC 8倍録モードのダビング

録画モードを「HEVC 5倍録モード」から「HEVC 8倍録モード」に設定して **[BD-RE] [BD-R]** に画質変換ダビングはできません。
 いったん録画モード変換 (→62) で「HEVC 5倍録モード」から「HEVC 8倍録モード」に変換したあと、高速ダビングしてください。

他機器からダビングする

お引越しダビング

ブルーレイディスクレコーダー



お引越しダビングに対応したレコーダーや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組をダビングすることができます。他のレコーダーや他社製レコーダーなどから本機にまとめて移動するときに便利です。

- 対応機器については、当社サポートサイト（→10）をご覧ください。
- 本機はHEVC1～8倍録モードの番組のお引越しダビングに対応しています。HEVC1～8倍録モードの番組のお引越しダビングは、ダビング元とダビング先の両方の機器が対応している必要があります。
- お引越しダビング非対応のレコーダーの場合、お引越しダビングは利用できません。その場合は、BD-REなどのディスクにダビングしたうえで本機にダビングしてください。
- ネットワーク接続と設定をする（→95、104）
- ホームネットワークの設定を変更する場合（→99）

ダビング元



ダビング先



ダビング先で操作する

番組ダビングの設定をする

1 ホーム を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定を押す

3 「ネットワーク機能を使う」を選び、決定を押す

4 「お引越しダビング」を選び、決定を押す

5 接続する機器を選び、決定を押す

6 ダビング元を選択する画面が表示された場合：
ダビング元を選び、決定を押す

7 番組を選び、決定を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで【青】を押す操作を繰り返してください。
（選んだ番組には が表示されます。
もう一度【青】を押すと選択を取り消します）
- 他社製機器の場合、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。

例)

番組お引越しダビング 番組一覧(全番組表示)					
ダビングしたい番組を選択し、決定ボタンを押してください。 ページ 001/0013					
☒	現代ビジネス	8:28 (日)	地上D 101	番組開始 22:00	番組終了 1:00
☐	エレンジャー入門	8:59 (日)	地上D 101	番組開始 8:07	番組終了 9:28
☐	タワニース	9:00 (日)	地上D 101	番組開始 17:03	番組終了 1:00

☞ **まとめ** 番組を選んだ場合は

まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。

☞ **すべての番組をダビングしたい場合は**
「一括ダビング」(→下記) してください。

8 接続機器がレコーダーの場合：
「ダビング元機器の番組」を
「残す」または「残さない」に設定する

接続機器が他社製レコーダーの場合：手順 9へ

9 「設定する」を選び、決定を押す
(→74「ダビングを実行する」へ)

■ 番組ダビング時の便利な機能

番組お引越しダビング画面（上記手順 7）で

① 番組を選び、サブメニューを押す

② 項目を選び、決定を押す（→下記）

番組内容	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	すべての番組をダビングします。 （[[はい]]を選んで【決定】を押したあと → 上記手順 8 へ）
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※ 番組に が付いているときは機能の実行はできません。

他機器からダビングする (続き)

お知らせ

- 1 回に複数選択できる番組は 99 個までです。
- **まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー]を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - ・「プロテクト設定」(➡60) されている ①②の表示がある番組
 - ・ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
 - ・XP、SP、LP、FR モードの番組
- ①②の表示がある番組は以下ようになります。
 - ・73 ページ手順 8 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- ダビング元の番組のデータ容量や通信速度によっては、ダビング完了までに数日かかる場合があります。

ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。



ダビングの状況を確認するには

- ① [ホーム]を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定]を押す
- ③ 「ネットワーク機能を使う」を選び、[決定]を押す
- ④ 「お引越しダビング」を選び、[決定]を押す

ダビングを中止するには

上記手順 ④ のあとに、[黄]を押す

USB・ディスクから動画を取り込む (AVCHD、MP4)

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラ

AVCHD MP4



USB機器やディスクから当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」^{*1}や「AVCHD 3D」の表示がある番組は **[HDD]** **[BD-RE]** **[BD-R]** に取り込むことができます。
- MP4は変換して本機に取り込まれます。

取り込む動画

再生方法

AVCHD
MP4録画一覧^{*2}
(→47、76)

※1 1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組

※2 録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- AVCHD (1080/60p) : 「AVCHD PRO」

お知らせ

- DVDに取り込んだAVCHD動画を他のAVCREC非対応機器で再生したい場合
一度HDDに取り込んだあと、MPEG2 (DVD画質) (XP、SP、LP、FRモード) でディスクにダビングしてください。

撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む

取り込み方向：

- [USB]** → **[HDD]** **[BD-RE]** **[BD-R]** **[R AVCREC]**
- AVCHDを記録したディスク → **[HDD]**

1 **[ホーム]** を押す2 「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、**[決定]** を押す

[USB] から取り込む場合：
「USB機器」を選び、**[決定]** を押す

4 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、**[決定]** を押す
(→68「詳細ダビング」手順3～5へ)

お知らせ

- 1つのタイトルに99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

動画ファイル (MP4) を取り込む

取り込み方向：

[BD-RE] **[BD-R]** **[USB]** → **[HDD]**

本機では、動画 (MP4) の取り込みをすることができます。

1 **[ホーム]** を押す2 「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、**[決定]** を押す

[USB] から取り込む場合：
「USB機器」を選び、**[決定]** を押す

4 「動画ファイル (MP4) を取り込む」を選び、**[決定]** を押す5 取り込むファイルを選び、**[青]** を押す

- ☒ が表示されます。操作を繰り返します。
- ☞ 選択を取り消すには
タイトルを選び、**[青]** を押す

6 選び終わったあと、**[赤]** を押す7 「取り込み開始」を選び、**[決定]** を押す

- MP4は、「MP4取り込み画質」の設定に合わせて取り込まれます。(→92)

動画や写真を再生する

本機では、動画や写真の再生をすることができます。

動画（AVCHD、MP4）について

デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- ビデオカメラなどからHDDに取り込んだ動画(→75)
- ディスクに記録された AVCHD

写真について

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **USB**

+R、+R DL、+RW

- CD** **USB** 写真を記録したCD-R、CD-RW や当社製デジタルカメラなどの USB 機器が再生できます。

🔍 動画再生中の操作については (→53)

🔍 再生中の写真を回転させるには

- ① 再生中に [サブメニュー] を押す
- ② 「右 90° 回転」または「左 90° 回転」を選び、[決定] を押す

🔍 再生を止めるには

- 写真 / 動画一覧に戻るには、[■ 停止] を押す
- [⏏ 一時停止] を押すと、再生は一時的に止まります。

🔍 動画や写真を消去するには

消去したい動画や写真を選んで、[黄] を押す

1 を押す

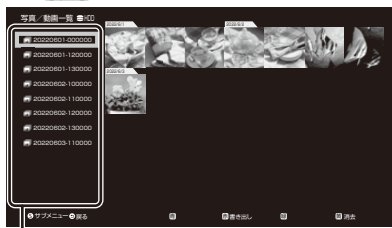
2 **HDD** :
「静止画 / MP4 を見る」を選び、 を押す
(→手順 6 へ)

ディスク・**USB** :
「メディアを使う」を選び、 を押す

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」または
「USB 機器」を選び、 を押す

4 「写真 / 動画を見る」または「撮影ビデオを見る」を選び、 を押す

5 再生する動画または写真を選び、 を押す
例) **HDD**



: アルバム名

- メディアから画面を表示させた場合は、フォルダ表示の画面になります。
- AVCHD** トップメニューもしくは撮影ビデオ (AVCHD) 一覧が表示されます。

写真 / 動画一覧のいろいろな機能

写真 / 動画一覧表示中に操作します。

1 を押す

2 項目を選び、 を押す

内容確認	動画や写真の情報を表示します。
書き出し	動画や写真を NAS、USB 機器やブルーレイディスクなどに書き出すことができます。
消去	動画や写真を消去します。
写真 / 動画 切換	「写真と動画を表示」「写真のみ表示」「動画のみ表示」に切り換えることができます。
撮影時刻の 表示設定	撮影時刻を表示するかどうかを設定します。

🔍 お知らせ

- MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- ビットレートが100 Mbpsを超えるMP4動画は正しく再生できない場合があります。
- 本機では3D写真は2Dで表示します。
- 本機では写真の編集はできません。

動画や写真を転送する

転送方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **USB** **NAS**

本機では、HDD に録画した番組や静止画保存した写真をブルーレイディスクや USB 機器、ネットワーク (LAN) に接続された NAS (Network Attached Storage) に MP4 や M2TS、JPEG ファイルとして転送できます。

- 自動で転送を行いたい場合は、「自動転送」(→91) を「入」に設定してください。(「自動転送」では、転送先に「BD」を選択できません)

1 を押す

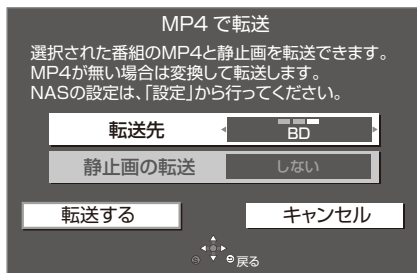
2 転送する番組を選び、 を押す



3 「MP4 で転送」、または「M2TS で転送」を選び、 を押す

4 「転送先」、「静止画の転送」を設定する

例)



5 「転送する」を選び、 を押す

- 🔌 実行中の転送を中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

お知らせ

- ファイル転送中は、録画や再生はできません。また、予約録画も実行されません。
- ファイル転送しても、HDD から番組は消去されません。
- MPEG2 画質の番組を「M2TS で転送」すると、M2PS ファイルが作成されます。
- 転送先に同じ名称のファイルが存在する場合は、ファイル名を変更して転送します。
- 1 番組あたり最大 3000 の静止画や MP4 の保存が可能です。
- 録画時間が 8 時間を超える場合、MP4 ファイルは 8 時間ごとに分割されます。
- 部分消去、番組結合を行った番組から MP4 や M2TS を転送すると、ファイルは複数に分かれます。(→60)
- 転送先に NAS を選んだ場合は FTP で転送し、パッシブモードで接続します。本機と NAS 機器間で通信する NAS 機器の設定情報 (ID / パスワード、アドレスなどのデータ) は暗号化されていません。セキュリティを確保したローカルネットワークに接続し、無線 LAN を使用する場合は通信の暗号化の設定をして接続してください。(ネットワーク、PC の環境によっては、FTP 転送の全ての動作を保証するものではありません)
- 転送中に、電源が切れたりネットワークが切断された場合の動作は保証できません。必要に応じて転送途中のファイルを削除したり再送を行ってください。

音楽 CD を再生する

CD

1 音楽 CD を入れる

2 再生したい曲を選び、**決定**を押す

表示マークについて (→ 右記)



別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、**決定**を押す

音楽を停止するには
■ 停止を押す

シャッフルの設定をするには
[赤]を押す

リピートの設定をするには
[緑]を押す

ハイレゾリマスターの設定をするには
[黄]を押す

お知らせ

- 再生可能なファイル形式 (→119)
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に 1 時間以上操作を行わない場合は、自動的に本機の電源が切れます。

音楽再生のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の「再生設定」を行うことができます。
音楽一覧表示中に、**[サブメニュー]**を押して、**「再生設定」**を選び、**[決定]**を押す
・「基本設定」(→56) の「リピート」「シャッフル」
・「音質設定」(→58) の「音質効果」「自動音量調整」

表示マークについて

	シャッフル [切]
	シャッフル [入]
	リピート [切]
	リピート [1 曲]
	リピート [全曲]
	音質効果 [切]
	ハイレゾリマスター [弱]
	ハイレゾリマスター [中]
	ハイレゾリマスター [強]

※ 1 ハイレゾ対応機器接続時にハイレゾ音源を出力した場合に表示

※ 2 ハイレゾ対応機器からの音声出力時に表示

ホームネットワークを使う

ホームネットワーク機能

ネットワークに接続した機器のコンテンツを、ネットワーク経由で別の機器から再生する機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツや再生できる操作などは異なります。

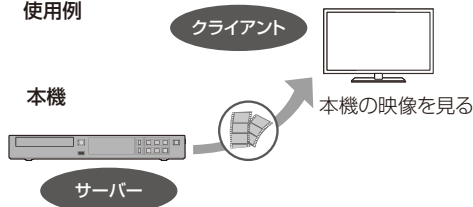
別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

- ネットワーク接続と設定をする (➡95、104)
- ホームネットワークの設定を変更する場合 (➡99)

HDD

ネットワーク再生に対応した機器から、本機のHDDに録画した番組や写真の再生ができます。

使用例



録画番組・AVCHD・動画や写真を再生する

テレビなどのクライアント機器側で操作する

🔔お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは1台までです。

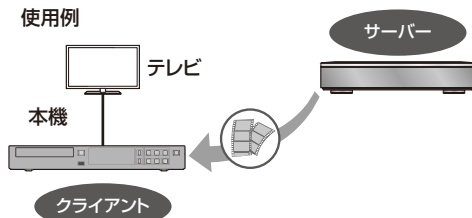
映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「通信／映像品質の設定」(➡96)を「オート」または「モード2」～「モード5(通信優先)」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
 - ・早送り・早戻しができない
 - ・XP、SP、LP、FRモードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 電源「入」時、または録画中は、画質調整した番組の配信はできません。
- 本機でBD-Liveなどを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

ホームネットワークを使う (続き)

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からホームネットワーク対応レコーダーなどのHDDにある番組などを再生することができます。(本機の録画中は、再生できません)



- ネットワーク接続と設定をする (→95、104)
- 接続した機器側で、本機を登録する (当社製機器の場合は「ホームネットワーク」で登録する)
(本機の実作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の実作を行ってください)

1 ホームを押す

2 「ホームネットワーク」を選び、決定を押す

3 接続する機器を選び、決定を押す



- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の実作をしてください。

お知らせ

- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- サーバーによっては、早送りなど再生中の実作が正しく働かない場合があります。
- ホームネットワーク対応レコーダーの番組を再生する場合、「音声切換」や「字幕切換」を行うことができます。(→54)
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、サーバーで接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(→46)

よくあるご質問

ホームネットワークがつかない

- ホームネットワークを使うためにはネットワーク接続が必要です。ネットワーク設定を行い、画面の案内に従って実作してください。(→99)

パソコンや他社機器とホームネットワークはできますか

- ネットワーク機能に対応した他社のテレビやレコーダーは番組の再生が可能です。ただし、接続する機器やコンテンツによって再生できない場合があります。

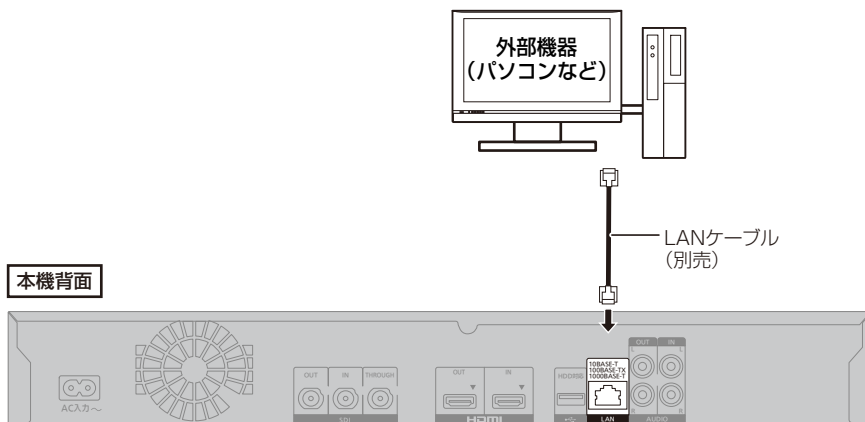
録画中でもホームネットワークはできますか

- 本機で録画中に、ホームネットワークを使って別のレコーダーの番組などを再生することはできません。

外部機器から本機を制御する

LAN ケーブルを使用して外部機器と接続する

本機の背面にある LAN 端子と外部機器（パソコンなど）を接続すると、外部機器（パソコンなど）から本機の情報を確認したり、操作することができます。



お知らせ

- その他の接続は、接続のページをご覧ください。(→15～20)

外部機器からログインする

1 設定 を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す

3 「PC からのアクセス設定」を選び、決定 を押す

4 「PC からのブラウザアクセス」を選び、決定 を押す

5 「PC からのブラウザアクセス機能」を選び、決定 を押す

6 「入」を選び、決定 を押す

- ユーザー ID、パスワード、アクセス用 URL が表示されます。(パスワードは、忘れないように控えておくことをお勧めします)
- ユーザー ID、パスワードを変更したい場合は、「ユーザー ID 変更」、「パスワード変更」で変更できます。(→96)

7 決定 を押す

8 外部機器（パソコンなど）のブラウザで、アクセス用 URL を入力し、接続する

- ポート番号「60025」までを含めた URL を入力してください。

9 ユーザー ID とパスワードを入力し「ログイン」を押す

外部機器からの制御については (→82、126)

本機と外部機器（パソコンなど）間で通信するコマンドや本機の状態などのデータは暗号化されていません。セキュリティを確保したローカルネットワークに接続し、無線 LAN を使用する場合は通信の暗号化の設定をして接続してください。

外部機器から本機を制御する（続き）

本機の情報を外部機器に表示する

「外部機器からログインする」（➡81）手順 1 ～ 9 のあと

「状態表示」タブをクリックする

例)

タブ(選んで切り換える)

録画一覧

状態表示

ログアウト

			状態
装置状態	内蔵HDD	残量	125時間34分 HEVC 5倍録
		状態	記録再生中
	光ドライブ	残量	25.0GB
		メディア状態	BD-RE
		記録再生中	
		記録学習	未実施
	USB記憶装置	トレイ状態	トレイクローズ
		残量	500.0GB
ネットワーク状態	IPアドレス		192.168.10.11
		ポート	192.168.10.13
	ポート		
ネットワーク接続	NTPサーバー		ntp.nict.jp 同期時刻:2022/04/27 15:17:30
	NAS設定		example.com ログインID:aaaa
システム状態	ソフトウェアバージョン		1.21
	機器ID		2445-9990-xxxx-xxxx
	メンテナンス状態	前動作	OK
		前動作時間(時)	13425
		HDD動作時間(時)	12000
		レーザー使用時間(時)	BD再生:8934 BD録画:17 DVD再生:1 DVD録画:0 CD再生:0

			状態
入出力状態	HDMI入力	解像度	4096x2160p
		フレームレート	59.94
		ダイナミックレンジ/色域	HDR10Q/BT.2020
		カラースペース/Bit数	YCbCr4:4:4/12bit
	SDI入力	オーディオ	PCM 2ch 48kHz 24bit
		解像度	--
		フレームレート	--
		ダイナミックレンジ/色域	--
		カラースペース/Bit数	--
	記録音声選択	オーディオ	--
		エンベデッド入力設定	番号検出有り
		出力端子優先モード	HDMI出力優先
HDMI出力/SDI出力	HDMI出力	解像度	3840x2160p
		フレームレート	60
		ダイナミックレンジ/色域	HDR10Q/BT.2020
		カラースペース/Bit数	YCbCr4:4:4/12bit
	SDI出力	オーディオ	MPEG2-AAC
		HDCP状態	有効(2.2/2.3)

表示更新

外部機器から本機を制御する（続き）

外部機器から番組名を編集する

「外部機器からログインする」(→81) 手順 1 ～ 9 のあと

- 1 「録画一覧」タブをクリックする
- 2 変更したい番組の「番組名変更」を選ぶ
- 3 登録したい番組名を入力後、「実行」をクリックする

例)

ログアウト

録画一覧

状態表示

番組を消去する場合は、消去する番組を選択の上、消去ボタンを押してください。

選択	No.		録画日	チャンネル	番組名
☒	1	MP4 静止画	11/4(木)	HDMI	○○○○○ 番組名変更
☐	2		11/4(木)	HDMI	○○○○○ 番組名変更
☐	3	MP4	11/4(木)	SDI	○○○○○ 番組名変更
☐	4	静止画	11/5(金)	HDMI	○○○○○ 番組名変更
☐	5		11/8(月)	HDMI	○○○○○ 番組名変更
☐	6		11/10(水)	SDI	○○○ 番組名変更
☐	7		11/16(火)	HDMI	○○○ 番組名変更
☐	8	MP4 静止画	11/20(土)	HDMI	○○○○○○○○○○ 番組名変更
☐	9		11/21(日)	HDMI	○○○○○○○○○○ 番組名変更
☐	10		11/22(月)	SDI	○○○○○○○○○○ 番組名変更
☐	11		11/22(月)	地上D 061	○○○○○○○○○○ 番組名変更
☐	12		11/22(月)	BS 151	○○○○○○○○○○ 番組名変更

消去

表示更新

最初

< 前へ

1

2

3

4

5

次へ >

最後

3 / 10 ページ

消去ボタン

お知らせ

- 「プロテクト設定」(→60) している場合は番組名を編集できません。

外部機器から本機を制御する (続き)

外部機器から制御する

「外部機器からログインする」(→81)手順 1～3 のあと

- ① 「PC からのコマンド制御」を選び、[決定]を押す
- ② 「PCからのコマンド制御機能」を選び、[決定]を押す
- ③ 「入」を選び、[決定]を押す
 - パスフレーズ、IP アドレス、ポート番号 (62200) が表示されます。
- ④ [決定]を押す
- ⑤ 制御機器の制御用ソフトウェアを使い、IP アドレスやポート番号を指定して TCP で接続する
- ⑥ 接続後、パスフレーズを入力する
 - パスフレーズ要求「Please enter the passphrase:」が出力されます。
 - パスフレーズが不一致の場合は接続が切断されます。
 - 5 分間アクセスが無かった場合、接続が切断されます。継続して制御する場合は再度接続しパスフレーズを入力してください。
- ⑦ コマンドを入力して操作する (→126)

コマンド入力について

コマンド制御では、「:」(コロン) はコマンドの区切り文字として使用するため、文字列として使用できません。

例)「NAS:DEV」(NASを接続機器として設定→136) このコマンドを送信する際は、「:」(コロン) をユーザ ID やパスワードの文字列に含めて入力することができません。文字列入力を必要とするコマンドを使用する場合は、「:」(コロン) を使わないでください。

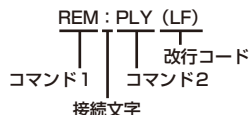
お知らせ

- コマンドを送信する場合、コマンドごとに 100 msec 以上の間隔をあけてください。状態取得コマンドについては 500 msec 以上の間隔をあけてください。
- コマンドを送信する場合、各コマンドに対する ACK や表示コマンドのレスポンスを受信するまでは、次のコマンドを発行しないでください。
- 各コマンドに対する ACK の待ち時間の目安は以下の通りです。(ネットワーク環境が良好な場合)
 - ・ ACK : 約 50 msec
 - ・ 表示コマンドのレスポンス : 約 50 msec
 ただし、以下の表示コマンドに対するレスポンスは取得するデータ量に依存するため時間がかかります。(約 20 秒)
 - ・ [QST:TLT:*:*] 指定したドライブの番組リストの取得
 - ・ [QST:RSV:*] 予約一覧の番組情報を取得
- 機器の状態やネットワーク環境によって応答時間は変わります。
- システムリセット時は接続が切断されます。またシステムリセット中はコマンドにตอบสนองしません。
- システムリセット時刻設定 (→22) で設定している時刻にシステムリセットが実行できるように制御してください。

シリアル・コマンド体系

例 1) 再生させるとき

入力コマンド

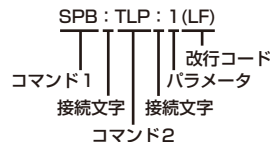


応答シリアル



例 2) タイトルリピートさせるとき

入力コマンド



応答シリアル



お知らせ

- 複数のコマンドを送信する場合、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、「:」(コロン) は必要ありません。
- 誤ったコマンドを送信した場合や本機が応答できない状態の場合、本機から「ACK:ERR:」がパソコン側に送信されます。
- 本機の内部負荷が高いなどの理由で一定時間内に内部処理が完了しない場合、「ACK:TMO」がパソコン側に送信されます。
- 情報取得のためのコマンドを送信すると、ACK 応答と取得情報の 2 つがパソコン側に送信されます。
例) ディスクトレイに CD が入っているときに「QST:MDA」を送る (→128)
「ACK:QST:MDA:」と「QST:MDA:01:」がパソコン側に送信されます。
- 「ACK:OK」は、コマンドを正常に受け取ったことを示し、機器状態によってはコマンドが実行されない場合があります。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

BD-RE BD-R R RW

新品または他の
機器で使っていた
ディスク



そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容は
すべて消去され元に戻すことができま
せん。（パソコンデータなども含む）
すべて消去してよいか確認してから
行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクト
を設定していても消去されます）

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→26）

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
	—	HEVC画質 AVC画質	HEVC1～8倍録 AVC1 倍録 AVC 1.5 ～ 15 倍録	必要	記録方式の設定は ありません。
	AVCREC 方式	AVC画質	AVC 1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	必要	
	ビデオ方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	不要	コピー制限のある 番組は記録できま せん。
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	必要	
	ビデオ方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	必要	コピー制限のある 番組は記録できま せん。

本機で記録できるようにする（フォーマット）（続き）

1  を押す

2 「メディアを使う」を選び、 を押す

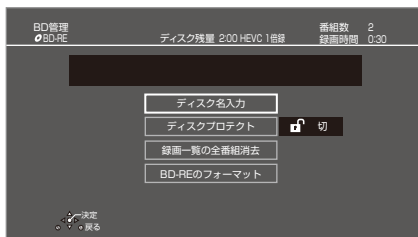
3 「ブルーレイ（BD）／DVD」を選び、 を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、
 を押す

- 未使用の **[R]** を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順 6 へ）

5 フォーマットの項目を選んで、 を押す

例) **[BD-RE]**



お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

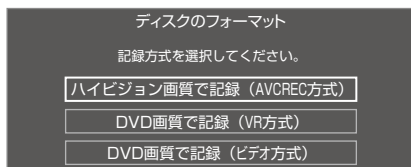
お知らせ

- **[R]** 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(→87) を行うと記録方式を変更できません。
- **[RW]** 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- **[HDD]** フォーマットは「HDD のフォーマット」で行ってください。(→92)
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVDの場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) **[R]**



ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R -RW

(ファイナライズしたディスクではできません)

1



を押す

2

「メディアを使う」を選び、決定を押す

3

「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、決定を押す

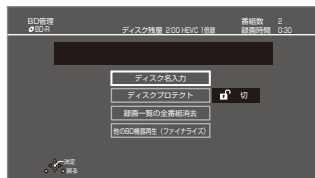
4

「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定を押す

5

操作したい項目を選んで、決定を押す
(→ 下記)

例) BD-R

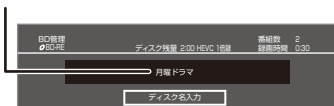


ディスク名入力

BD-RE BD-R -R -RW

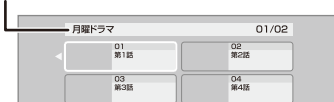
文字入力 (→89)

入力したディスク名は、BD 管理画面や DVD 管理画面に表示されます。



-R V -RW V

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



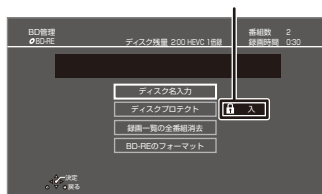
ディスクプロテクト

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

⑥ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると「入」が表示

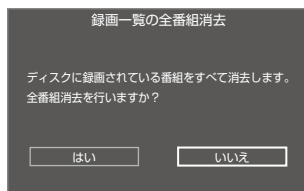


録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

全番組消去を行うと、元に戻すことはできません。
よく確認してから操作を行ってください。

例) BD-RE



⑥ 「はい」を選び、決定を押す

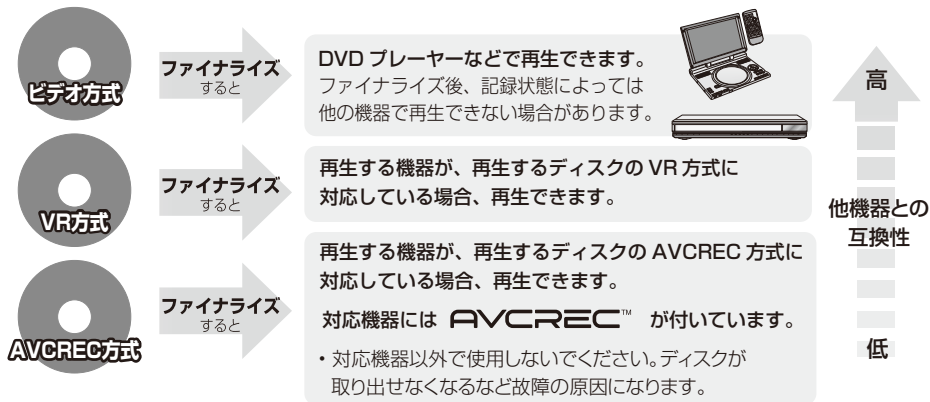
⑦ 「実行」を選び、決定を押す

お知らせ

- BD-RE BD-R 写真は消去されません。
- BD-R -R AVCREC -R VR 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

BD-RE ファイナライズは不要です。



87 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R V -RW V

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

- 6 お好みの背景を選び、**決定** を押す



- ・トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（➡61「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

-R V -RW V

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。

- 6 「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、**決定** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ） 他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R -RW BD-R

- 6 「はい」を選び、**決定** を押す
7 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- ・本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ・ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- ・**-RW V** フォーマット（➡85）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- ・**-RW VR** 「ファイナライズ解除」（➡ 下記）を行うと、記録や編集ができます。
- ・**BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW VR

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

- 6 「はい」を選び、**決定** を押す
7 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

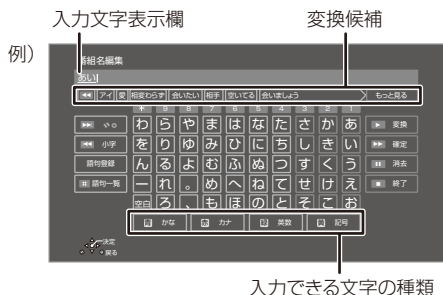
- ・本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

文字パネルから文字入力する

(番組名、ディスク名、まとめ番組名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)



入力できる文字の種類

1 青 赤 緑 黄 で文字の種類を選ぶ

- 漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、**決定**を押す

- この手順を繰り返し、文字を入力します。
- ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→右記)
- 文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで**決定**を押すと、その文字が入力されます。
- コマンド制御では、「:」(コロン)はコマンドの区切り文字として使用するため、文字列として使用できません。(→126)

3 入力が終わったら、**停止**を押す

4 「はい」を選び、**決定**を押す

数字ボタン[1]～[9]、[*]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① **[3]**を押す
 - 「さ」行に移動します。
- ② **[3]**を2回押し、**決定**を押す
 - 「す」が入力文字表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶]を押す

ひらがなを漢字変換する

- [▶再生]**を押したあと、変換候補を選び、**決定**を押す
- [戻る]**を押すと、入力画面に戻ります。
 - JIS第1水準、JIS第2水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[||一時停止]を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、**決定**を押す
- ② 「登録」を選び、**決定**を押す

語句を呼び出す

- ① 「語句一覧」を選び、**決定**を押す
- ② 語句を選び、**決定**を押す

語句の消去

- ① 「語句一覧」を選び、**決定**を押す
- ② 語句を選び、**黄**を押す
- ③ 「消去」を選び、**決定**を押す

設定を変える

1 設定 を押す

2 変更したい項目を選び、 を押す



3 設定項目を選び、 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 設定内容を変更する

 設定画面を終えるには
[設定] を押す

機器設定

[] はお買い上げ時の設定です

自動電源オフ

[切]

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。
時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード (→98)

[リモコン 1]

リモコンモードの設定を行います。

日時設定

本機は時刻を合わせて工場出荷されていますが、正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に時刻を確認し、時刻を合わせてください。

画面表示動作 [オート]

[入]

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

[切]

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。

本体表示窓の明るさ

[常時 明]

本体表示窓の明るさを調節します。

設定を変える (続き)

システム機能 (→21)

自動電源 ON 【切】

自動再生 【切】

タイトルリピート 【切】

自動チャプター作成

自動チャプターモード 【切】

チャプター間隔 【15 分】

録画一覧再生位置 【最後】

スクリーンセーバー 【入】

録画機能設定

録画動作設定 【通常録画】

システムリセット時刻設定

自動消去 【無効】

タイムスタンプ 【切】

トレイ制御 【入】

動画・静止画の設定

MP4 自動作成 【切】

番組を MP4 フォーマットで作成します。

- 録画時間が 8 時間を超える場合は、8 時間ごとに分割します。

動画・静止画自動転送

自動転送 【切】

動画 【切】

静止画 【切】

転送先 【USB】

タイマー機能

電源 ON 設定 【切】

設定時刻

毎週予約設定 (ON)

毎週予約 【しない】

月 【しない】

火 【しない】

水 【しない】

木 【しない】

金 【しない】

土 【しない】

日 【しない】

電源 OFF 設定 【切】

設定時刻

毎週予約設定 (OFF)

毎週予約 【しない】

月 【しない】

火 【しない】

水 【しない】

木 【しない】

金 【しない】

土 【しない】

日 【しない】

診断コード (→111)

設定を変える (続き)

HDD・USB 機器・再生記録設定

[] はお買い上げ時の設定です

再生設定

DVD-Video の視聴制限^{*1} [8 すべて視聴可]
DVD ビデオの視聴制限のレベルを設定できます。
この設定したレベルによって制限対象となる DVD ビデオ (成人向けや暴力シーンを含むもの) が視聴不可になります。
設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Video の視聴可能年齢^{*1} [無制限]
年齢制限がある BD ビデオ (Ultra HD ブルーレイも含む) の視聴可能な年齢を設定できます。
この設定した年齢によって制限対象となる BD ビデオ (成人向けや暴力シーンを含むもの) が視聴不可になります。
●「年齢入力」を選んで [決定] を押すと、[1] ~ [9] で年齢を入力できます。
設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Live インターネット接続^{*1} [有効 (制限付き)]
BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 [3D 再生]
3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語^{*2} [日本語]
再生時の音声を選びます。
●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{*2} [オート]
再生時の字幕言語を選びます。
●「オート」は、「音声言語」の言語で音声で再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{*2} [日本語]
テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード [切]
[BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [R AVCREC]
AVC (ハイビジョン画質) の番組とハイビジョン動画 (AVCHD) が混在したディスクで再生する動画を設定します。
●「入」はハイビジョン動画 (AVCHD) を、「切」は AVC (ハイビジョン画質) の番組を再生します。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ~ [9] で暗証番号を入力してください。
暗証番号は忘れないでください。

※ 2 「その他 * * * *」の場合、* には [1] ~ [9] で言語番号 (→ 100) を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

記録・ダビング設定

外部入力などの記録設定

外部入力音声設定 [ステレオ]

二重音声記録時の音声選択 [主音声 (L / R)]
二重音声 (ニカ国語) 番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

DVD-Video 記録の設定 [R V] [RW V]

外部入力音声設定 [ステレオ]

二重音声記録時の音声選択 [主音声 (L / R)]
二重音声 (ニカ国語) 番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 [オート]
記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度 [最高速モード]

高速モードでのダビング速度を設定します。
(高速記録対応ディスクの場合など)

ムーブバックエラー制御 [中断]
ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

MP4 取り込み画質 [高画質モード]
動画の取り込み (→ 75) を行うときの画質を設定します。

HDD 設定

HDD 管理

録画一覧の全番組消去
録画した番組をすべて消去します。

HDD のフォーマット
HDD の初期化を行います。

以下の手順で HDD のフォーマットを実行することもできます。

- ① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に "00 RET" が表示されます。
- ② 本体表示窓に "16 NO1" が表示されるまで [▶] (リモコンの右ボタン) を数回押す
- ③ [■ 停止] を 3 秒以上押す
- ④ 本体表示窓に "17 FMT" が表示されたら、[決定] を 3 秒以上押す
・フォーマットが完了すると "END" が表示されます。

設定を変える (続き)

USB 機器設定

USB 機器の取り外し (→29)

別売の USB 機器を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB 機器を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB 機器管理

別売の USB 機器の初期化を行います。

映像・音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

音声は Dolby Audio™ (Dolby® Digital, Dolby Digital Plus™, Dolby® TrueHD) のときに有効です。

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

HDMI 出力

Dolby Audio

【オート】

DTS/DTS-HD

【オート】

AAC

【オート】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→124) をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む **[BD-V]**)

【自動切換】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

- Dolby Atmos®や DTS:X®, AURO-3D®に 対応した BD ビデオを楽しむには

上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。

- ・Dolby Audio : 「オート (Bitstream)」
- ・DTS/DTS-HD : 「オート (Bitstream)」
- ・BD ビデオ副音声・操作音 : 「切」

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「HDMI 出力」(→上記) が「オート」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合には、「ノーマル」で出力されます。
 - ・ **[AVCHD]** 再生時
 - ・ **[BD-V]** 副音声や操作音を含んだ再生時

記録音声選択

【エンベデッド】

記録する音声を選択します。(→23)

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

会議記録モード

【切】

テレビ会議システムを接続している場合に、会議中に出力する音声を設定します。(→23)

設定を変える (続き)

HDMI・SDI 接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

出力端子優先モード

【HDMI 出力優先】

映像出力を HDMI 出力端子からにするか、SDI 出力端子からにするかを選びます。(→24)

HDMI 接続設定

入力解像度

【オート】

HDMI 入力端子から入力する解像度を設定します。

出力解像度

【オート (※)】

接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 4K 対応テレビと接続する場合、通常は「オート」を選択してください。

※ 最高解像度を表示します。

HDMI 4K/60p 伝送モード

【出力なし】

4K/60p 対応テレビに接続し、「出力解像度」(→上記)を「オート」に設定したときに、自動で 4K/60p 出力します。

接続するテレビに合わせて設定します。

- 「高速 (18Gbps)」:

4K/60p (4:4:4/8 bit) または 4K/60p (4:2:2/12 bit) 対応テレビと接続時

・HDMI ケーブルが 18 Gbps に対応していない場合は、映像が正常に出力されません。

- 「通常 (10.2Gbps)」:

4K/60p (4:2:0/8 bit) 対応テレビと接続時

24p 出力 **BD-V** **AVCHD**

【オート】

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合

「出力解像度」(→上記)を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。

- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合

「出力解像度」(→上記)を「オート」または「1080i 固定」、「1080p 固定」に設定時に 1080/24p で出力されます。

HDR10 +

【入】

シーンごとにテレビ側で最適なトーンマッピングを自動的に調整します。

音声出力

【入】

「切」に設定すると、HDMI 出力端子から音声は出力されません。

HDMI 詳細設定

Deep Color 出力

【オート (12bit 優先)】

Deep Color 対応テレビと接続時に設定します。

HDCP 出力設定

【オート】

アンプ (スピーカー) 経由で HDCP2.2 非対応のテレビと接続すると、一部の映像が黒画面になる場合があります。その場合は、「HDCP1.4 制限出力」に設定してください。

強制 HDCP 出力

【切】

HDCP (不正コピー防止技術) 対応機器との接続時に「入」に設定してください。

HDCP 非対応機器に著作権フリーの番組を出力する場合は、「切」に設定してください。(著作権のあるコンテンツは設定にかかわらず、HDCP で出力されるため HDCP 非対応機器に映像は映りません)

HDCP 非対応機器に接続して使用中、誤って強制 HDCP 出力を「入」に変更した場合、映像が乱れるなど正常に出力されなくなります。その場合は、以下の操作をしてください。

- ① **【決定】**と**【青】**と**【黄】**を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
- ② 本体表示窓に“11 FHA”が表示されるまで**【▶】**(リモコンの右ボタン)を数回押す
- ③ **【決定】**を押す
・「切」に設定されます。

7.1ch 音声リマッピング **BD-V**

【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ

【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

3D 番組の出力方法

【3D】

3D 番組を 2D 再生することができます。

3D 再生時の注意事項

【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

設定を変える (続き)

SDI 接続設定 (→25)

HDMI・SDI 共通設定

カラースペース	【YCbCr (オート)】
HDR / 色域出力	【HDR/BT.2020 (オート)】
HLG / PQ 変換設定	【オート】
HDR ディスプレイタイプ	【再生映像に応じて設定】
4K コンバートモード	【ダウンコンバート】

ネットワーク設定

【 】はお買い上げ時の設定です

IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IPアドレス自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP *サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→上記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、インターネットサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

【0】

接続テスト

NTP 設定

本機とネットワーク接続した NTP サーバーを使用して、時刻を自動で合わせることができます。

標準に戻す

NTP 機能

【切】

NTP サーバー設定

接続テスト

設定を変える (続き)

宅内リモート接続設定 (→99)

- 宅内リモート接続機能 【切】
- 「入」にすると、「ホームネットワーク機能」(→下記)は自動的に「入」になります。
 - 「切」にすると、「PC からのブラウザアクセス機能」および「PC からのコマンド制御機能」(→右記)は自動的に「切」になります。

ホームネットワーク設定 (→99)

- ホームネットワーク機能 【切】
- 「切」にすると、「宅内リモート接続機能」(→上記)、「PC からのブラウザアクセス機能」および「PC からのコマンド制御機能」(→右記)は自動的に「切」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

通信／映像品質の設定 【オート】

詳細設定

- 画質を優先する場合は「モード 1 (画質優先)」を、通信安定性を優先する場合は「モード 5 (通信優先)」を選んでください。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

- 家じゅうラベルの表示 【切】
- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。(HDD の容量が不足している場合、「入」にはできません)

- 自動更新 【入】
- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
(更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

PC からのアクセス設定

PC からのブラウザアクセス

- PC からのブラウザアクセス機能 【切】
- 「入」にすると、「宅内リモート接続設定」(→左記)および「ホームネットワーク設定」(→左記)は自動的に「入」になります。

アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示

ユーザー ID 変更

パスワード変更

PC からのコマンド制御

PC からのコマンド制御機能 【切】

パスフレーズの確認

パスフレーズの更新

NAS 設定

NAS 機能 【切】

接続するデバイス

ホスト名 (アドレス)
ポート番号 【21】
ホスト側フォルダ
ホスト側文字コード 【UTF-8】
ユーザー ID
パスワード
接続する

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

設定を変える (続き)

設定リセット

すべての設定リセット

日時設定以外の設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!？」(➡111)に記載された対応以外には、実行しないでください。

以下の手順ですべての設定リセットを実行することもできます。

- ① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
・ 本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
- ② 本体表示窓に “18 NO2” が表示されるまで **[▶]** (リモコンの右ボタン) を数回押す
- ③ **[■ 停止]** を 3 秒以上押す
- ④ 本体表示窓に “19 PIR” が表示されたら、**[決定]** を 3 秒以上押す
・ リセットが完了すると “END” が表示されます。

すべての設定リセットをすると本機のリモコンモードもリセットされます。リモコンモードを変更していた場合は、以下の方法でリモコン側のリモコンモードを変更してください。

- リモコンの **[決定]** と **[1]** を同時に 3 秒以上押す

お知らせ

- HDD の番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDD のフォーマット」(➡92) を行ってください。

部分リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- ・ 日時
- ・ DVD-Video の視聴制限
- ・ BD-Video の視聴可能年齢
- ・ HDD 番組の視聴制限
- ・ HDMI 4K/60p 伝送モード
- ・ IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定
- ・ ホームネットワークの本機の名称
- ・ 家じゅう録画一覧設定の接続する機器一覧
- 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定 (リモコン 1) に戻ります。リモコンが働かなくなった場合 (本体表示窓に “U30” と表示)、リモコンモードを変更してください。(➡108)

お知らせ

- HDD の番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDD のフォーマット」(➡92) を行ってください。

情報表示

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- **[青]** : 本機のソフト情報を表示
- **[赤]** : ルート証明書情報を表示

設定を変える (続き)

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器に影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

- 1  を押す
- 2 「機器設定」を選び、 を押す
- 3 「リモコンモード」を選び、 を押す
- 4 「リモコン 1」～「リモコン 9」のいずれかを選び、 を押す

リモコン側のモードを設定する

- 5  ～  のいずれかを押しながら、
 を 3 秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。

1. リモコンの決定ボタンと数字ボタン  を同時に3秒以上押してください。
リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを3秒以上押してください。

- 6 リモコンを本体に向けて、 を3秒以上押す
 - 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。
- 7  を押す
 - リモコンモードの設定を終了します。

設定を変える (続き)

ネットワーク連携する機器の設定をする

ネットワークに接続した他の機器と接続する

ホームネットワーク設定

- 1  を押す
- 2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す
- 3 「ホームネットワーク設定」を選び、 を押す
- 4 「ホームネットワーク機能」を選び、 を押す
- 5 「入」を選び、 を押す
- 6 「アクセス許可方法」を選び、 を押す
- 7 「手動」または「自動」を選び、 を押す
 - 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
 - 「手動」の場合 (→ 手順 8 へ)
- 8 「機器一覧」を選び、 を押す
- 9 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 を押す
- 10 「アクセス許可」を選び、 を押す
 - 最大 16 台まで登録できます。

- ☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには
(「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)
 - ① 手順 9 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
 - ② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す
- ☞ 「通信／映像品質の設定」を変更するには
映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「モード 2」～「モード 5 (通信優先)」に設定してください。
 - ① 手順 3 のあと「通信／映像品質の設定」を選び、[決定] を押す
 - ② 項目を選び、[決定] を押す
- ☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには
 - ① 手順 3 のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
 - ② 項目を選び、[決定] を押す
 - 一覧から選んで変更
 - 文字入力して変更 (→ 89)
- ☞ ホームネットワーク機能を使用しないときは
手順 5 で「切」を選ぶ

お知らせ

- 機器側の設定は、各機器の説明書をご覧ください。

宅内リモート接続設定

本機と接続した外部機器 (パソコンなど) から遠隔操作ができます。

- 1  を押す
- 2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す
- 3 「宅内リモート接続設定」を選び、 を押す
- 4 「宅内リモート接続機能」を選び、 を押す
- 5 「入」を選び、 を押す

設定を変える (続き)

言語番号一覧

「再生設定」の言語選択時に使用します。(→92)

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	韓国(朝鮮)語:	7579	タイ:	8472	フェロー:	7079
アイマラ:	6589	カナダ:	7578	タガログ:	8476	フランス:	7082
アイルランド:	7165	カンボジア:	7577	タジク:	8471	フリジア:	7089
アゼルバイジャン:	6590	キルギス:	7589	タタール:	8484	ブータン:	6890
アッサム:	6583	ギリシャ:	6976	タミル:	8465	ブルガリア:	6671
アフガル:	6565	クルド:	7585	チェコ:	6783	ブルターニュ:	6682
アフリカーンス:	6570	クロアチア:	7282	チベット:	6679	ヘブライ:	7387
アブハジア:	6566	グアラニー:	7178	中国語:	9072	ベトナム:	8673
アムハラ:	6577	グジャラト:	7185	ティグリニア:	8473	ペロルシア(白ロシア):	6669
アラビア:	6582	グリーンランド:	7576	テルグ:	8469	ベンガル(バングラ):	6678
アルバニア:	8381	グルジア:	7565	デンマーク:	6865	ペルシャ:	7065
アルメニア:	7289	ケチュア:	8185	トウイ:	8487	ポーランド:	8076
イタリア:	7384	ゲール(スコットランド):	7168	トルクメン:	8475	ポルトガル:	8084
イディッシュ:	7473	コーサ:	8872	トルコ:	8482	マオリ:	7773
インターリングア:	7365	コルシカ:	6779	トンガ:	8479	マケドニア:	7775
インドネシア:	7378	サモア:	8377	ドイツ:	6869	マダガスカル:	7771
ウェールズ:	6789	サンスクリット:	8365	ナウル:	7865	マライ(マレー):	7783
ウォロフ:	8779	ショナ:	8378	日本語:	7465	馬拉タ:	7782
ウクライナ:	8575	シンド:	8368	ネパール:	7869	マラヤーラム:	7776
ウズベク:	8590	シンハラ:	8373	ノルウェー:	7879	マルタ:	7784
ウルドゥー:	8582	ジャワ:	7487	ハウサ:	7265	モルダビア:	7779
ヴォラピュック:	8679	スウェーデン:	8386	ハンガリー:	7285	モンゴル:	7778
英語:	6978	スペイン:	6983	バシキール:	6665	ヨルバ:	8979
エストニア:	6984	スロバキア:	8375	バスク:	6985	ラオ:	7679
エスペラント:	6979	スロベニア:	8376	バシュト:	8083	ラテン:	7665
オーリヤ:	7982	スワヒリ:	8387	パンジャブ:	8065	ラトビア(レット):	7686
オランダ:	7876	スندا:	8385	ヒンディー:	7273	リトアニア:	7684
カザフ:	7575	ズールー:	9085	ビハール:	6672	リンガラ:	7678
カシミール:	7583	セルビア:	8382	ビルマ:	7789	ルーマニア:	8279
カタロニア:	6765	セルボクロアチア:	8372	フィジー:	7074	レトロマンス:	8277
ガリチア:	7176	ソマリ:	8379	フィンランド:	7073	ロシア:	8285

ディスプレイをロックする（ロックモード）

下記の設定を行うと、本体のディスプレイの開閉を無効にできます。

- 1  と  と  を同時に 5 秒以上押す
 - 本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
- 2 本体表示窓に “04 PRG” が表示されるまで （リモコンの右ボタン）を数回押す
- 3  を 3 秒以上押す
 - 本体表示窓に “10 OCL” が表示されます。
- 4  を押す

- ロックモードを解除するには、上記と同じ操作を行ってください。

お知らせ

- ロックモードは本機にディスクが入っているときのみ設定することができます。
- ロックモード中は、外部制御を使用してもディスプレイを開くことはできません。(→126)
- 電源コードを抜いても、設定は保持されます。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待つてから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

- 本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
 - 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（当社販売/RP-CL720Aは販売店でお求めいただけます）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。当社販売以外のレンズクリーナーをご使用になる場合は、本機で使用可能かを事前に各レンズクリーナーの販売メーカーにご確認ください。

- 当社販売のレンズクリーナーでのクリーニング中に音が出ることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機の通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

機器の情報について

- 本機にはお客様が保存した写真や動画、ネットワーク機能で使用するIDやパスワードなどの情報が記録されます。
- 本機に記録される機器の情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはネットワーク設定などの情報や、お客様が保存した写真や動画などが記録されている場合があります。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「HDDのフォーマット」(→92)を実行したうえ、「すべての設定リセット」(→97)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

取り扱いについて (続き)

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です
設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

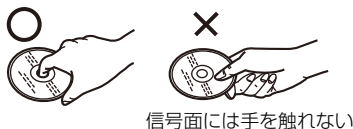
異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音が生じたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDDやUSB-HDDが故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

ディスク

持ち方



汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



- ディスククリーナーなどをご使用ください。
- ディスクが汚れている場合や傷が付いている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。(ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ (大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご使用のネットワーク環境に合わせて、接続（➡ 右記、105）とネットワーク設定（➡95）を行ってください。本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

宅内ネットワーク機能

同じフロアやビル内など、限られた範囲のネットワーク環境下で使うことができます。

- ホームネットワーク（➡79）
- PC からのブラウザアクセス（➡81）
- PC からのコマンド制御（➡96）

インターネット機能

- Ultra HD ブルーレイを楽しむ（➡51）
- BD-Live を楽しむ（➡52）
- NTP 設定を使用した時刻合わせ（➡95）

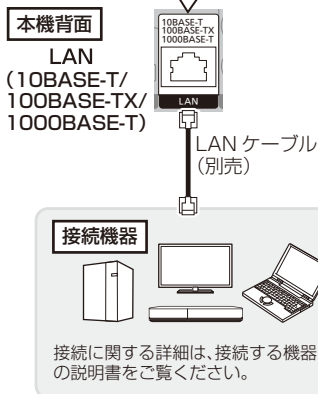
お知らせ

- CAT5e 以上の規格に適合した STP（シールドツイストペア）の LAN ケーブルをご使用ください。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

各機器と直接接続する

有線

LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。

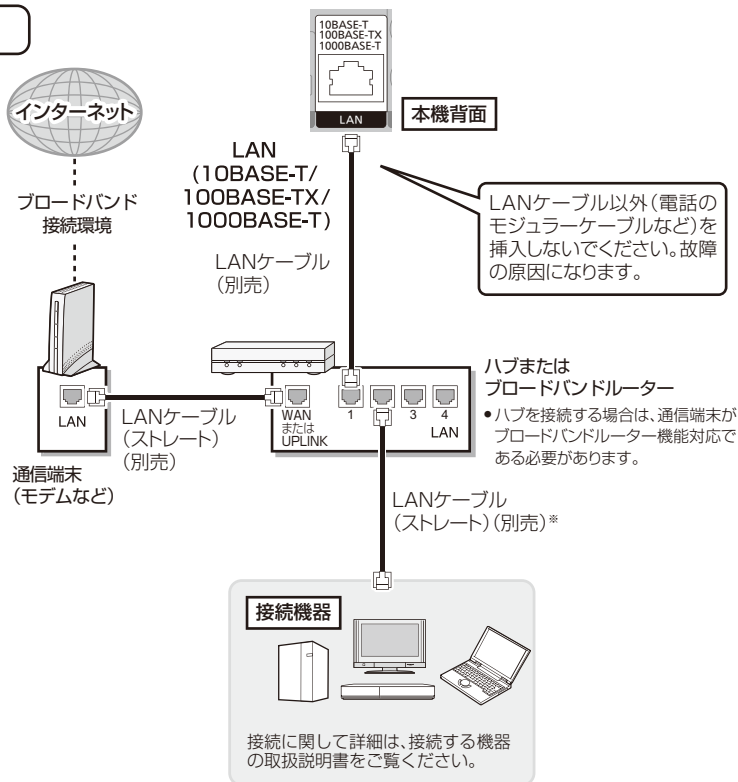


- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

ネットワーク接続をする (続き)

ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する

有線



※ 接続機器とルーターは、LAN ケーブルで接続してください。

ネットワーク接続をする (続き)

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 100BASE-TX/1000BASE-T 対応の機器をお使いください。
- ルーターのセキュリティ設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

ネットワーク機能を快適に利用するために

不正利用を防ぐために

- 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、「すべての設定リセット」(➡97) を実行してください。(「PC からのアクセス設定」(➡96) で使用する ID やパスワードなどが変更されます)
- 当社では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- 第三者が不正にネットワークに入れないように、本機を接続するローカルネットワークにはセキュリティ設定をしてください。

対応サービスについて

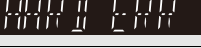
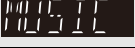
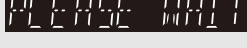
サービスは対応サービス提供者が提供します。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器 (モデム、ルーターやハブなど) や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

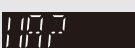
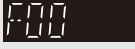
- 本機で使用するパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元のない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

こんな表示が出たら

表示文字	調べるところ・原因・対策
	● 停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。時刻を合わせてください。
	● ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。左の表示が回転します。(例：61 パーセント)
	● 録画モード変換の開始時と終了時に表示します。(電源「入」時のみ)
	● かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
	● 電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	● HDMI 入力選ばれています。
	● SDI 入力選ばれています。
	● ホーム画面などを表示中です。
	● 音楽一覧画面を表示中です。
	● ネットワーク機能が動作中です。
	● HDD の録画中などに、本体の [OPEN/CLOSE] を押したとき、未ファイナライズの [BD-R] [R AVCREC] [R V] [RW V] が入っている場合に 표시됩니다。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	● ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ● レンズクリーナー（別売）の作業が終了したときに、表示されることがあります。本体の [OPEN/CLOSE] を押してレンズクリーナーを取り出してください。
	● 写真 / 動画一覧画面を表示中です。
	● 終了処理中です。“BYE” が表示されたあと、電源が切れます。 ● 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	● 予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。

本体表示窓

こんな表示が出たら (続き)

表示文字	調べるところ・原因・対策
	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。
	●録画一覧表示中です。
 1～9のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。  表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定] を3秒以上押したままにしてください。 ●4～9の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に“IR9”の表示があるリモコンで操作できます)
 *	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。 ●背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
 *	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 *	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、接続し直してください。
 *	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 *	●本機が正常に動作しません。本体の [POWER ㊦/I] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 *  * (数字の 00 は例です)	●異常が発生しました。(“F” または “H” 以降の数字は、本機の状態によって変わります) 本体の [POWER ㊦/I] を 3 秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

※ 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などお知らせください。

表示マーク一覧

本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。

予約一覧画面

	全編の録画が可能な番組		HDD の番組数がいっぱい録画できない番組
	時間指定予約で予約した番組		予約の実行が「切」になっている番組
	曜日指定した毎日・毎週予約の番組		予約録画が実行されなかった番組
			予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
	毎日・毎週予約の番組		HDD がいっぱい録画が中断された番組
			HDD の残量不足で録画できない番組
			録画禁止信号により録画が中断された番組
			ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
	毎日・毎週予約で自動更新をする番組 （前回録画した内容に上書きして録画します）		
			
			
	HDD の残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。 【決定】 を押して、予約内容を確認してください。		
	予約時間が重なっている番組		

表示マーク一覧 (続き)

録画一覧・ダビング画面



3D 映像の番組 (番組によっては、表示されない場合もあります)



2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組



録画したコピー制限のある番組
ダビングするとダビング元の番組は消去されます。



1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組



録画禁止信号により録画できなかった番組



録画中の番組



書き込み禁止 (プロテクト) の設定をした番組



ダビングできない番組



4K 画質の番組を HEVC1 ~ 8 倍録モードで録画した番組



HDD にダビング中の番組や、データが壊れているなど再生できない番組

以下は録画一覧画面でのみ表示されます。



HDD に録画中の番組



HDD にダビング中の番組



HDD に録画・ダビングが終了した番組
(番組の画像は電源「切」時に作成されます)



HDD に代替録画された番組



一覧で選択した番組



保存した静止画ファイルを持つ番組



MP4 ファイルを持つ番組

以下はダビング画面でのみ表示されます。



ダビングすると移動する番組
(詳細ダビング時)



ダビング登録した番組 (かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。



静止画を含むもの
(HDD に静止画部分はダビングされません)



AVC1 ~ 15 倍録モードで録画した番組
ハイビジョン動画



高速でディスクにダビングできる番組

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

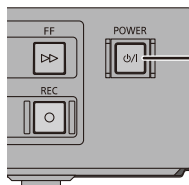
「故障かな!?’の内容は、当社サポートサイト (➔10) も併せてご覧ください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音 (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源切 / 入時
 - ・ 通電時に本機そのものが冷却を行っているとき
 - ・ 録画中
 - ・ 静止画や動画を作成・転送中
 - ・ 録画モード変換時
 - ・ 「家じゅう録画一覧設定」(➔96) の「自動更新」の「入」時
 - ・ 「宅内リモート接続機能」(➔96) の「入」時
 - ・ 「ホームネットワーク機能」(➔96) の「入」時
 - ・ インターネット接続時
 - ・ 予約録画終了時または午前 4 時ごろ (1 週間に 1 回程度) の、本機全体の自動再起動時
(本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)

本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の [POWER ㊦/I] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む)



[POWER ㊦/I] を
3秒以上押す

- ② 本体の [POWER ㊦/I] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- リモコンが正しく働いていないことがあります。
(➔112)

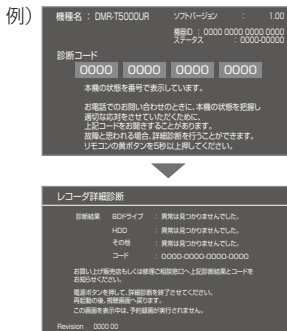
録画できない / 録画に失敗する 再生できない / 操作できない / フリーズする

- ディスクに直接録画するには「通常録画」(➔22) に設定してください。
- 本機は USB-HDD に録画できません。
- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、録画できないことがあります。
- 本体機器を設定リセット (➔97) にて初期化することで改善する場合があります。
ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報や、予約内容も消去されますので、ご注意ください。

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- ① [設定] を押す
- ② 「機器設定」を選び、[決定] を押す
- ③ 「診断コード」を選び、[決定] を押す
- ④ [黄] を 5 秒以上押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す
 - 診断を開始します。



- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

故障かな!?(続き)

電源

電源が入らない

- 「システムリセット時刻設定」で設定されている時刻前後の数分間は、本機の操作ができないことがあります。(→22)
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の [POWER 〇/I] を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源オフ」(→90) の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に 1 時間以上操作を行わない場合は、自動的に電源が切れます。
- 異常を検出した場合に自動的に電源「切」になることがあります。リモコンから電源が入らない場合には本体の [POWER 〇/I] を押して電源「入」にしてください。電源「入」後に、エラーが発生したことを示す確認メッセージが画面に表示されます。エラーの原因を取り除いても同様の問題が起きる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

USB 機器の電源が切れない

- 電源を「切」にしても USB 機器の電源が切れない場合があります。

本体

本機が熱い

- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
- ① 本体の [POWER 〇/I] を 3 秒以上押す
・ 本体の電源が切れます。
- ② [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
・ 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。

- ③ 本体表示窓に「06 FTO」が表示されるまで
▶] (リモコンの右ボタン) を押す

- ④ [決定] を押す
ディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約 30 秒)
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

USB-HDD を認識しない

- USB 機器を正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 機器を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
-  記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

ボタン操作

リモコンが動かない

- 本体とリモコンのリモコンモード (→98) が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、
[決定] を 3 秒以上押したままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「9」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に「IR9」の表示があるリモコンで操作できます)
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物 (ラックなどの色付きガラスも含む) などがありませんか。

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(→98)

故障かな!?(続き)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない
テレビに「信号がありません。」が表示される

- 本体の [POWER 切/I] を押し、電源を入れてください。
- HDMI または SDI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態で、HDMI または SDI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度電源を入れてください。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➡90) が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

再生時の映像に残像が多い

- 「ノイズ低減」(➡57) の各項目を「0」にしてください。

HDR で出力されない

- HDR 対応のテレビと接続していてもダイナミックレンジ変換される場合は、テレビの HDR の設定を確認してください。接続するテレビによってはソフトウェアの更新が必要な場合があります。

映像が映らない
映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(➡16 ~ 20)
- 以下の場合、故障ではありません。
 - ・ 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
 - ・ 4K 画質の番組を再生時、HDMI 認証が起こり黒画面になる場合があります。
その場合、設定を以下のように変更すれば HDMI 認証が起こりません。
 - 「HDMI 4K/60p 伝送モード」(➡94) を「出力なし」にする
 - ・ HDCP (不正コピー防止技術) 非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器 (パソコンのディスプレイなど) によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
 - ・ 以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
 - 「24p 出力」(➡94) が「オート」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき

- 「Deep Color 出力」(➡94) もしくは「コンテンツツアイプフラグ」(➡94) を「切」にしてください。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に変更すると改善される場合があります。
- 4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K 出力対応の HDMI ケーブルをお使いください。
- 「HDMI 4K/60p 伝送モード」(➡94) を「高速 (18Gbps)」にすると、以下の場合に映像が正常に出力されません。
 - ・ HDMI ケーブルが 18 Gbps に対応していない
- 本機が 4K/60p 出力する設定になっている場合に、接続するテレビなどを変更すると、映像が乱れる場合があります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。
 - ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す
 - ・ 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
 - ② 本体表示窓に「13 L4K」が表示されるまで **【▶】** (リモコンの右ボタン) を数回押す
 - ③ **【決定】** を 3 秒以上押す
 - ・ 「HDMI 4K/60p 伝送モード」(➡94) が「出力なし」に設定されます。再度正しく設定してください。

故障かな!?(続き)

音声

音声が出力されない

- ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
- HDMI出力端子の接続状態に合わせて、「HDMI接続設定」の「音声出力」(→94)を設定してください。
・ HDMI出力端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」
・ HDMI出力端子でテレビと接続し、アナログ音声出力端子で接続した機器などから音声を出力:「切」
- Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD などの音声が出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り換わった可能性があります。その場合は、一度、「すべての設定リセット」(→97)を行ってください。

サラウンドの音声が出ない

- 接続するアンプによっては、音声で 2 チャンネルになる場合があります。「音質効果」(→58)を「切」または「ナイトサラウンド」にしてください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

- スピーカーの接続を確認してください。
- 5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(→93)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

- 接続機器の設定を確認してください。
- テレビやアンプの音声ボタンでは、二カ国語音声などの音声の切り換えができない場合があります。その場合は、リモコンの【音声切換】で切り換えてください。
- **[MP4]** 音声の切り換えはできません。
- ディスク制作者の意図で音声切り換えられないディスクもあります。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止（プロテクト）の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- **[R]** 記録後、ディスクの出し入れや電源の切 / 入を 30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。
- 録画 / 再生用レンズが汚れている場合があります。レンズクリーナー（別売）でレンズをクリーニングしてください。(→102)

記録したディスクが他機器で再生できない

- 再生機器がディスクの再生に対応している必要があります。(→26)
- ディスクによってはファイナライズが必要です。(→27、88)
- HEVC (高圧縮) の番組を記録した BD-RE、BD-R は、他機器では再生できない場合があります。

故障かな!?(続き)

録画

予約録画ができなかった

- HDDの残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。(→40)
- 「エンドレス録画」(→22)に設定されていると予約録画できません。

ディスクに予約録画ができない

- ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
- 以下の場合、ディスクに予約録画できません。
 - ・ 未フォーマットのディスク
 - ・ 誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク

録画が止まる

- 録画中に映像の解像度やフレームレートが変わった場合、録画は停止します。本機が視聴画面の場合に限り、録画対応可能な別の解像度やフレームレートを検出できたときに、別番組として録画を継続する場合があります。

再生

再生できない

- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、再生できないことがあります。
- 本機で作成したMP4は、外部機器(パソコンなど)で再生してください。本機で再生すると、正しく再生できないことがあります。
 - ・ AVCで録画した番組から作成したMP4は音声が出力されません。
 - ・ 長時間の番組から作成したMP4は再生できない場合があります。
 - ・ XPモードで録画した番組など、MPEG2から変換したMP4は、本機で再生できません。
- 転送ファイル(MP4、M2TS)は、以下の場合、外部機器(パソコンなど)で正しく再生できないことがあります。
 - ・ 再生するソフトウェアや機器がファイル再生に適していない
 - ・ 番組編集を行った番組から転送したファイル

Ultra HD ブルーレイが再生できない

- ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。(→104)

ディスクが再生できない

- 録画中は再生できません。
- ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。
- **BD-V** 画面に「バージョンアップしてください。」が表示されている場合、ディスクが認識されていない可能性があります。
- 録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズクリーナー(別売)でレンズをクリーニングしてください。(→102)

BD ビデオ(Ultra HD ブルーレイも含む)やDVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
 - ① **【決定】**と**【青】**と**【黄】**を同時に5秒以上押す
 - ・ 本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
 - ② 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで
 - ▶ **【▶】**(リモコンの右ボタン)を数回押す
 - ③ **【決定】**を押す

撮影動画の映像が乱れたり、正しく再生されない

- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 2倍速対応以下のDVDに記録された高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画は正しく再生されません。

ダビング

ディスクにダビングできない

- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- **[-R V]** **[-RW V]** へのダビング時、HDDの残量が少なくなるときはダビングできません。HDDの不要な番組を消去してください。
(使用するディスクによっては、HDDの残量がAVC5倍録モードで最大4時間必要な場合があります)
- 高画質(転送レート約18Mbps以上)の動画を、2倍速対応以下のDVDに取り込むことはできません。
- **[-R VR]** **[-RW VR]** 4時間以上の番組をDVDにダビングする場合、4時間未満に番組分割(→61)してダビングしてください。

故障かな!?(続き)

HDD にダビングできない

- **[BD-RE] [BD-R]** ディスクの汚れや劣化によって、ダビングを中断する場合があります。「ムーブバックエラー制御」(→92)を「継続」にすると、ダビングを実行することができます。ただし、ダビング後の番組が再生できない、または映像や音声が乱れる場合があります。
- 以下の番組は、**[BD-RE] [BD-R]** から HDD にダビングできません。
 - ・ ディスク内で番組分割した番組
 - ・ 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
 - ・ ファイナライズしたディスクの番組
 - ・ 録画時間が 8 時間を超える番組
- 市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。

お引越しダビングができない

- お引越しダビング対応機器については、当社サポートサイト (→ 右記) をご確認ください。
- お引越しダビングを使うためには、お引越し元の機器と、お引越し先の機器を同じネットワークに接続する必要があります。ネットワークに接続する方法および設定方法は、お使いの機器の説明書をご覧ください。

ビデオカメラ

撮影した動画がUSB接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- **[MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機では当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画はダビングできません。
- ビデオカメラが本機に対応していない場合があります。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。

ホームネットワーク

再生できない

- 別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する) 場合：
 - ・ 接続や設定を確認してください。
 - ・ 「機器一覧」(→99) で、再生する機器が「許可」になっていますか。
 - ・ 再生する機器によっては、録画中の番組などは再生できません。
- 別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する) 場合：
 - ・ 接続した機器側で本機が登録されていますか。
 - ・ すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
 - ・ 録画中は再生できません。
- 他社製のネットワーク再生対応機器では使用できない場合があります。

当社サポートサイトのご案内

機能向上や改善のために当社はソフトウェアの更新を必要に応じて行っています。

サポートサイトでは、最新のソフトウェアのダウンロード情報や更新方法などの情報が掲載されています。

サポートサイトは以下のアドレスからご確認くださいます。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/nwav>



仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：約 42 W

本体

寸法：

幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 249 mm
(突起部含まず)

幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 262 mm
(突起部含む)

質量：約 3.4 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80% RH（結露なきこと）

時計

クォーツ制御 24 時間 デジタル表示
(内蔵時計精度：平均月差 ± 30 秒)

停電保証期間

約 5 年

HDD 容量

4 TB

映像

映像圧縮方式：

HEVC/H.265、MPEG-4 AVC/H.264、
MPEG-2 (Hybrid VBR)

HDMI 映像・音声入力：

1 系統 (19 ピン type A 端子)

HDMI 映像・音声出力：

1 系統 (19 ピン type A 端子)

12G-SDI 入力：

1 系統 SMPTE ST 292/ST 424/ST 2081/
ST 2082 準拠 (BNC)

12G-SDI 出力：

1 系統 SMPTE ST 292/ST 424/ST 2081/
ST 2082 準拠 (BNC)

12G-SDI (THROUGH) 出力：

1 系統 SMPTE ST 292/ST 424/ST 2081/
ST 2082 準拠 (BNC)

音声

記録方式：

MPEG-2 AAC (2ch)、Dolby Digital (2ch)

アナログ入力：

入力端子：1 系統 (ピンジャック、2ch)

入力レベル：

基準入力：309 mVrms
FS：2 Vrms (1 kHz、0 dB)
入力インピーダンス：22 kΩ

アナログ出力：

出力端子：1 系統 (ピンジャック、2ch)

出力レベル：

基準出力：309 mVrms
FS：2 Vrms (1 kHz、0 dB)
出力インピーダンス：1 kΩ (負荷インピーダンス：
10 kΩ)

チャンネル数 (アナログ入出力)：

記録：2ch

再生：2ch

デジタル入力：

HDMI デジタル音声入力：1 系統 (2ch、PCM 対応)

SDI デジタル音声入力：1 系統 (2ch、PCM 対応)

デジタル出力：

HDMI デジタル音声出力：1 系統 (最大 7.1ch)

SDI デジタル音声出力：1 系統 (2ch、PCM 対応)

LAN 端子

1 系統 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)

USB 端子

[ハイスピード USB (USB2.0) 対応]：

前面 1 系統 (DC 5 V、最大 500 mA)

[スーパースピード USB (USB3.0) 対応] (USB ハード
ディスク録画用)：

背面 1 系統、HDD 対応 (DC 5 V、最大 900 mA)

仕様 (続き)

写真

静止画保存：

ファイル形式: JPEG

再生画素数：

34 × 34 ~ 16384 × 16384

サブサンプリング: 4:2:2, 4:2:0

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、USB-HDD(exFAT)

- メディアから HDD へ写真を取り込むことはできません。

再生のみ可能メディア：

DVD-R^{*1}、DVD-R DL^{*1}、DVD-RW^{*1}、DVD-RAM、
+R^{*1}、+R DL^{*1}、+RW^{*1}、CD-R、CD-RW

※ 1 JPEG のみ記録されたディスク

記録された機器でファイナライズ必要

- メディアから HDD へ写真を取り込むことはできません。

最大枚数：

- HDD：40000 枚 [写真、動画 (MP4) の合計の数]
- USB-HDD (exFAT)：40000 枚 [写真、動画 (MP4) の合計の数]
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R、CD-RW：10000 枚

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

対応フォーマット: ISO9660 level 1 と 2 (拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応

マルチセッション: 対応

パケットライト方式: 非対応

再生画像：

- JPEG：ベースライン方式
(DCF 準拠 Design rule for Camera File system)
 - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル (半角英数字のみ)
 - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット
(MPF 準拠 Multi Picture Format)
 - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル (半角英数字のみ)

動画

録画番組：

映像圧縮方式: HEVC/H.265

MPEG-4 AVC/H.264

MPEG-2 (Hybrid VBR)

音声記録方式: MPEG-2 AAC (2ch)

Dolby Digital (2ch)

ハイビジョンムービー (AVCHD) 動画：

ファイル形式: AVCHD 規格準拠

圧縮方式: MPEG-4 AVC/H.264

ハイビジョンムービー (MP4) 動画：

ファイル形式: MP4 ファイルフォーマット (.MP4)

圧縮方式：

映像：

MPEG-4 AVC/H.264 High profile 5.2 以下：

ビットレート：100 Mbps 以下

解像度 / フレームレート：

・1920 × 1080/120p まで

・3840 × 2160/60p まで

・4096 × 2160/60p まで

MPEG-H HEVC/H.265 Main Profile Level 5.1

High Tier/Main 10 Profile Level 5.1 High Tier

以下：

ビットレート：100 Mbps 以下

解像度 / フレームレート：

・1920 × 1080/120p まで

・3840 × 2160/60p まで

・4096 × 2160/60p まで

音声：

MPEG-4 AAC-LC：

サンプリング周波数：8 kHz ~ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

- ファイルの内容によっては、再生 / ダビングできない場合があります。

- 音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出れない場合があります。

対応メディア (記録、再生[※]、取り込み)：

BD-RE、BD-R、USB-HDD (exFAT)

- ※ 2 メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵 HDD にダビングすると安定して再生することができる場合があります。

録画番組から作成する MP4：

ファイル形式: MP4 ファイルフォーマット (.MP4)

映像：

HEVC/H.265

MPEG-4 AVC/H.264

MPEG-2 (Hybrid VBR)

音声: MPEG-4 AAC-LC (2ch)

Dolby Digital (2ch)

仕様 (続き)

音楽 CD

再生対応メディア : CD-Audio、CD-R、CD-RW
再生可能なファイル形式 : CD-DA

USB-HDD

対応フォーマット :

exFAT

- USB3.0/USB2.0
- 160 GB 以上 4 TB 以下
- 同時接続台数は 1 台のみ

HDMI

映像入力 :

4096 × 2160p/59.94・29.97・24・23.97
3840 × 2160p/59.94・29.97・24・23.97
1920 × 1080p/59.94・29.97・24・23.97
1920 × 1080i/59.94
1280 × 720p/59.94
720 × 480p/59.94

音声入力 : PCM (2ch)

映像出力 :

3840 × 2160p/59.94・29.97・24・23.97
1920 × 1080p/59.94・24・23.97
1920 × 1080i/59.94
1280 × 720p/59.94
720 × 480p/59.94

音声出力 :

HDMI デジタル音声出力

- PCM (最大 7.1ch)
- Dolby Digital、Dolby Digital EX、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、Dolby Atmos^{※1}
- DTS Digital Surround、DTS Digital Surround | ES、DTS96/24、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio、DTS:X^{※1}
- MPEG-2 AAC^{※1}
- MPEG-4 AAC (最大 22.2ch)^{※1}

※ 1 対応アンプに接続し、bitstream で出力した場合のみ

機器接続 :

リピーター(アンプ)を含めて最大で 16 台

SDI

映像入力 :

4096 × 2160p/59.94・29.97・24・23.97
3840 × 2160p/59.94・29.97・24・23.97
1920 × 1080p/59.94・29.97・24・23.97
1920 × 1080i/59.94
1280 × 720p/59.94

音声入力 : PCM (2ch)

映像出力 :

3840 × 2160p/59.94・29.97・24・23.97
1920 × 1080p/59.94・24・23.97
1920 × 1080i/59.94
1280 × 720p/59.94

音声出力 : PCM (2ch)

起動時間^{※2}

約 1 秒^{※3 ※4}

- ※ 2 電源 OFF 状態から録画一覧画面までの時間
電源 OFF 状態からトレイオープンするまでの時間
- ※ 3 テレビの種類・状態や接続端子、本機の状態によっては、表示時間が多少のびる場合があります
- ※ 4 電源コード接続直後や本体電源ボタン長押しによる電源オフ後など本機の再起動を伴う起動以外

仕様 (続き)

録画モードと記録時間の目安

ディスク 録画モード		内蔵 HDD (4 TB) ^{※1}	BD-RE、BD-R			
			128 GB ^{※2}	100 GB	50 GB	25 GB
H E V C 高圧縮	HEVC 1 倍録	約 260 時間	約 8 時間	約 6 時間 10 分	約 3 時間	約 1 時間 30 分
	HEVC 1.5 倍録	約 390 時間	約 12 時間	約 9 時間 15 分	約 4 時間 30 分	約 2 時間 15 分
	HEVC 2 倍録	約 520 時間	約 16 時間	約 12 時間 20 分	約 6 時間	約 3 時間
	HEVC 2.5 倍録	約 650 時間	約 20 時間	約 15 時間 30 分	約 7 時間 30 分	約 3 時間 45 分
	HEVC 3 倍録	約 780 時間	約 24 時間	約 18 時間 30 分	約 9 時間	約 4 時間 30 分
	HEVC 4 倍録	約 1040 時間	約 32 時間	約 24 時間 40 分	約 12 時間	約 6 時間
	HEVC 5 倍録	約 1300 時間	約 40 時間	約 30 時間 50 分	約 15 時間	約 7 時間 30 分
	HEVC 6 倍録	約 1560 時間	約 48 時間	約 37 時間	約 18 時間	約 9 時間
	HEVC 8 倍録	約 2080 時間	約 64 時間	約 49 時間 20 分	約 24 時間	約 12 時間

ディスク 録画モード		内蔵 HDD (4 TB) ^{※1}	BD-RE、BD-R			
			128 GB ^{※2}	100 GB	50 GB	25 GB
A V C ハイビジョン画質	AVC 1 倍録	約 360 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
	AVC 1.5 倍録	約 540 時間	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	AVC 2 倍録	約 720 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	AVC 2.5 倍録	約 900 時間	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	AVC 3 倍録	約 1080 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	AVC 4 倍録	約 1440 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	AVC 5 倍録	約 1800 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	AVC 8 倍録	約 2880 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
	AVC 12 倍録	約 4320 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間
	AVC 15 倍録	約 5400 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分
M P E G 2 画質	XP	約 864 時間	本機では録画できません			
	SP	約 1728 時間				
	LP	約 3456 時間				

※ 1 MP4 を作成した場合、録画時間は少なくなります。

※ 2 128 GB は BD-R のみ。

仕様 (続き)

録画モードと記録時間の目安 (続き)

ディスク 録画モード		DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面 2 層)	DVD-RW (4.7 GB)
A V C ハ イ ビ ジ ョ ン 画 質	AVC 1.5 倍録	約 36 分	約 1 時間 7 分	本機では 録画できません
	AVC 2 倍録 (HG 相当)	約 48 分	約 1 時間 30 分	
	AVC 2.5 倍録	約 1 時間	約 1 時間 52 分	
	AVC 3 倍録 (HX)	約 1 時間 12 分	約 2 時間 15 分	
	AVC 4 倍録 (HE)	約 1 時間 36 分	約 3 時間	
	AVC 5 倍録 (HL)	約 2 時間	約 3 時間 45 分	
	AVC 8 倍録 (HM)	約 3 時間 12 分	約 6 時間	
	AVC 12 倍録	約 4 時間 48 分	約 9 時間	
	AVC 15 倍録 (HZ)	約 6 時間	約 11 時間 15 分	
M P E G 2 画 質	XP	約 1 時間	約 1 時間 45 分	約 1 時間
	SP	約 2 時間	約 3 時間 35 分	約 2 時間
	LP	約 4 時間	約 7 時間 10 分	約 4 時間

🔊お知らせ

- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいには記録することができない場合があります。

仕様 (続き)

記録方式

BD-RE :

Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠

BD-R :

Blu-ray Disc Recordable Format 準拠

DVD-R、DVD-R DL (片面2層) :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠

DVD-RW :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠

記録／再生可能なディスク

(◎ : 記録／再生 ○ : 再生のみ × : 記録／再生不可)

ディスクの種類		コンテンツ			
		番組	BD ビデオ	AVCHD 規格準拠	写真／動画 (MP4)
BD-RE	片面1層 (25 GB)	◎	×	×	◎
	片面2層 (50 GB)				
	片面3層 (100 GB)				
BD-R	片面1層 (25 GB)	◎	×	×	◎
	片面2層 (50 GB)				
	片面3層 (100 GB)				
	片面4層 (128 GB)				

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組		DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真
		DVD ビデオ レコーディング 規格準拠	AVCREC 規格準拠			
DVD-R DVD-RW	片面1層	◎※1	◎※2	◎※2	○※1※2	○※3
	片面2層					
	Ver.1.1/1.2に準拠の 6X SPEED まで	◎	×	◎※2	○※1※2	○※3

※1 他機器で記録されたディスクは、再生のみ可能

※2 他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズ必要

※3 JPEGのみ記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズ必要

仕様 (続き)

再生のみ可能なディスク

(○：再生可 ×：再生不可)

ディスクの種類	コンテンツ				
	番組	BD ビデオ ^{※2}	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD-RAM ^{※1}	○	×	○	○	×
BD ビデオ	×	○	×	×	×

※ 1 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出して再生可能

※ 2 Ultra HD Blu-ray、Blu-ray 3D、BD-LIVE に準拠

Ultra HD ブルーレイの 4K/HDR 再生については (➡51)

ディスクの種類	コンテンツ				
	番組	DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD ビデオ	×	○	×	×	×
+R/+R DL/+RW	○ ^{※3}	×	○	○	×
CD-Audio	×	×	×	×	○
CD-R/CD-RW	×	×	×	○	○

※ 3 他機器で記録した番組

記録番組数

使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります。

ディスク の種類	HDD	BD-RE BD-R ^{※4}	DVD-R、DVD-R DL			DVD-RW	
		Blu-ray オーディオ ビジュアル 規格準拠	DVD ビデオ レコーディン グ規格準拠	AVCREC 規格準拠	DVD ビデオ 規格準拠	DVD ビデオ レコーディン グ規格準拠	DVD ビデオ 規格準拠
記録数	10000	200	99	200	99	99	99

※ 4 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

仕様 (続き)

最大チャプターマーク数

記録状態により少なくなる場合があります。(自動的に作成されるチャプターマークを含む)

ディスクの種類	HDD	BD-RE、BD-R	DVD-R		DVD-RW
		Blu-ray オーディオ ビジュアル 規格準拠	DVD ビデオ レコーディング規 格準拠	AVCREC 規格準拠	DVD ビデオ レコーディング規 格準拠
1 番組当たり	約 999 個	約 100 個	—	約 100 個	—
1 ディスク当たり	—	約 1000 個 ^{*1}	約 999 個	約 1000 個	約 999 個

※ 1 BDXL 以外のディスクのみ

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch (チャンネル数) は最大チャンネル数を表示]

「HDMI 出力」の設定		オート ^{*2}		PCM	
「BD ビデオ副音声・ 操作音」の設定 ^{*3}		入 ^{*4}	切	入	切
再生 コン テン ツの 種 類	Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの 音声で出力	ダウンミックス 2ch PCM	
	Dolby Digital Plus Dolby TrueHD				
	DTS [®] Digital Surround [™] DTS [®] Digital Surround [™] ES	DTS [®] Digital Surround [™]			
	DTS-HD [®] High Resolution Audio				
	DTS-HD [®] Master Audio				
	7.1ch LPCM	7.1ch PCM ^{*5}			

※ 2 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS® Digital Surround™ の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例: テレビなど) で出力します。

※ 3 「BD ビデオ副音声・操作音」(→93) を「自動切換」に設定すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD® に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。

※ 4 「BD-V」副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→93) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 5 接続する機器が非対応のときは、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

仕様 (続き)

選択できる録画モードと録画中にできる操作

入力画質	選択できる録画モード	モニターによる同時視聴	追っかけ再生	通常再生
4K	HEVC※ ¹	○※ ²	—	—
2K	HEVC	○	○※ ³	—
	AVC※ ⁴	○	○	—
	MPEG2※ ⁴	○	○	—
720p	AVC	○	○	—
	MPEG2※ ⁴	○	○	—
480p	AVC※ ⁴	○	○	—
	MPEG2※ ⁴	○	○	—

※ 1 HEVC で録画したあと、AVC、または MPEG2 の録画モードに変換することができます。

※ 2 画質のフレームレートが 30p、24p のみ

※ 3 画質のフレームレートが 60p、60i のみ

※ 4 録画はフレームレート 60i に変換

外部制御コマンド一覧

下記コマンド一覧にあるコマンドを使って、本機の制御ができます。

- 本機では、フレーム単位での制御はできません。
- 本機で使用されるコマンドは、当社製以外の製品との互換性はありません。
- コマンドには、大文字のみを使用してください。小文字はコマンドとして認識できません。
- 本機が電源 OFF のときは、「電源 ON」コマンドのみが有効です。

通常コマンド（リモコンでの操作）

以下のコマンドを使用すると、リモコンを使うのと同じ操作ができます。

- 通常のリモコン操作と同じ GUI が表示されます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	本機リモコンボタンとの関連
	電源 OFF	REM:POF	ACK:REM:POF;	[電源]
	電源 ON	REM:PON	ACK:REM:PON;	[電源]
	10 キーの 1	REM:TK1	ACK:REM:TK1;	[1]
	10 キーの 2	REM:TK2	ACK:REM:TK2;	[2]
	10 キーの 3	REM:TK3	ACK:REM:TK3;	[3]
	10 キーの 4	REM:TK4	ACK:REM:TK4;	[4]
	10 キーの 5	REM:TK5	ACK:REM:TK5;	[5]
	10 キーの 6	REM:TK6	ACK:REM:TK6;	[6]
	10 キーの 7	REM:TK7	ACK:REM:TK7;	[7]
	10 キーの 8	REM:TK8	ACK:REM:TK8;	[8]
	10 キーの 9	REM:TK9	ACK:REM:TK9;	[9]
	10 キーの 0	REM:TKA	ACK:REM:TKA;	[0]
	*	REM:TKB	ACK:REM:TKB;	[*]
	#	REM:TKC	ACK:REM:TKC;	[#]
	ダビング	REM:DUB	ACK:REM:DUB;	[ダビング]
	音声切換	REM:AUD	ACK:REM:AUD;	[音声切換]
	トレイ開 / 閉	REM:TRY	ACK:REM:TRY;	[開 / 閉 ▲]
	スキップ (正)	REM:FSK	ACK:REM:FSK;	[▶▶ スキップ]
	スキップ (逆)	REM:RSK	ACK:REM:RSK;	[◀◀ スキップ]
	早送り	REM:FSR	ACK:REM:FSR;	[▶▶ 早送り]
	早戻し	REM:RSR	ACK:REM:RSR;	[◀◀ 早戻し]
	停止	REM:STP	ACK:REM:STP;	[■ 停止]
	一時停止	REM:PUS	ACK:REM:PUS;	[一時停止]
	再生	REM:PLY	ACK:REM:PLY;	[▶ 再生]
	早見再生	REM:QPY	ACK:REM:QPY;	[早見再生]
	画面表示	REM:STA	ACK:REM:STA;	[画面表示]
	ホーム	REM:FUN	ACK:REM:FUN;	[ホーム]
	ポップアップメニュー	REM:POP	ACK:REM:POP;	[ポップアップメニュー]
	録画一覧	REM:TOP	ACK:REM:TOP;	[録画一覧]
	再生設定	REM:DIS	ACK:REM:DIS;	[再生設定]

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	本機リモコンボタンとの関連
	上	REM:CUP	ACK:REM:CUP;	[▲]
	下	REM:CDW	ACK:REM:CDW;	[▼]
	左	REM:CLF	ACK:REM:CLF;	[◀]
	右	REM:CRT	ACK:REM:CRT;	[▶]
	決定	REM:ENT	ACK:REM:ENT;	[決定]
	サブメニュー	REM:SUB	ACK:REM:SUB;	[サブメニュー]
	戻る	REM:RET	ACK:REM:RET;	[戻る]
	赤	REM:RED	ACK:REM:RED;	[赤]
	緑	REM:GRN	ACK:REM:GRN;	[緑]
	青	REM:BLU	ACK:REM:BLU;	[青]
	黄	REM:YLW	ACK:REM:YLW;	[黄]
	設定	REM:SET	ACK:REM:SET;	[設定]
	ドライブ切換	REM:DRV	ACK:REM:DRV;	
	HDD	REM:HDD	ACK:REM:HDD;	[HDD]
	BD	REM:DSC	ACK:REM:DSC;	[BD]
	消去	REM:DEL	ACK:REM:DEL;	[消去]
	録画モード	REM:MOD	ACK:REM:MOD;	[録画モード  REM:MOD → REM:CUP または、 REM:CDW でモード変更
	録画	REM:REC	ACK:REM:REC;	[録画 
	タイムワープ	REM:TWP	ACK:REM:TWP;	[タイムワープ] REM:TWP → REM:CUP または、 REM:CDW で時間変更。REM:ENT で決定
	チャプターマーク	REM:CHP	ACK:REM:CHP;	[チャプターマーク]
	SDI 入力選択	REM:SDI	ACK:REM:SDI;	[SDI]
	HDMI 入力選択	REM:HDM	ACK:REM:HDM;	[HDMI]
	キャンセル	REM:CAN	ACK:REM:CAN;	
	10 秒戻し	REM:10B	ACK:REM:10B;	
	30 秒送り	REM:30F	ACK:REM:30F;	
	予約確認	REM:RSV	ACK:REM:RSV;	
	静止画保存	REM:CAP	ACK:REM:CAP;	[静止画保存]

外部制御コマンド一覧 (続き)

表示コマンド

以下のコマンドで、本機の状態を表示します。
GUI は表示されません。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	再生メディア取得	QST:MDA	ACK:QST:MDA;	ドライブに挿入されたディスクの種類を表示 QST:MDA:*; (* = ディスクの種類番号) 01 = CD (CD) 03 = CD-R/RW (CD) 10 = BD ビデオ (BD-V) 11 = Ultra HD Blu-ray 20 = BD-RE (BD-RE) (AVCHD 含む) 30 = BD-RE (BD-RE) (AVCREC 含む) 21 = BD-RE DL (BD-RE) (AVCHD 含む) 31 = BD-RE DL (BD-RE) (AVCREC 含む) 24 = BD-R (BD-R) (AVCHD 含む) 34 = BD-R (BD-R) (AVCREC 含む) 25 = BD-R DL (BD-R) (AVCHD 含む) 35 = BD-R DL (BD-R) (AVCREC 含む) 64 = BD-RE 3 層 (BD-RE) (AVCHD 含む) 65 = BD-RE 3 層 (BD-RE) (AVCREC 含む) 66 = BD-R 3 層 (BD-R) (AVCHD 含む) 67 = BD-R 3 層 (BD-R) (AVCREC 含む) 68 = BD-R 4 層 (BD-R) (AVCHD 含む) 69 = BD-R 4 層 (BD-R) (AVCREC 含む) 40 = DVD ビデオ (DVD-V) 41 = DVD ビデオ / オーディオ (DVD-V) 27 = DVD-R (R) (AVCHD 含む) 37 = DVD-R (R) (AVCREC 含む) 51 = DVD-R (R V) 61 = DVD-R (R VR) 28 = DVD-R DL (AVCHD 含む) 38 = DVD-R DL (AVCREC) 52 = DVD-R DL (VIDEO) 62 = DVD-R DL (VR) 26 = DVD-RAM (RAM) (AVCHD 含む) 36 = DVD-RAM (RAM AVCREC) 60 = DVD-RAM (RAM VR) 29 = DVD-RW (RW) (AVCHD 含む) 53 = DVD-RW (RW V) 63 = DVD-RW (RW VR) 82 = BD-RE (未フォーマット) 83 = BD-RE DL (未フォーマット) 84 = BD-RE 3 層 (未フォーマット) 85 = BD-R (未フォーマット) 86 = BD-R DL (未フォーマット)

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	再生メディア取得	QST:MDA	ACK:QST:MDA;	87 = BD-R 3 層 (未フォーマット) 88 = BD-R 4 層 (未フォーマット) 89 = DVD-R (未フォーマット) 8A = DVD-R DL (未フォーマット) 8B = DVD-RAM (未フォーマット) 8C = DVD-RW (未フォーマット) 00 = なし FF = 無効、不明
	HDD デッキモード取得	QST:MOD:1	ACK:QST:MOD:1;	再生、停止など本機の状態を表示 QST:MOD:1:* (* = 本機の状態、左側ゼロ埋めて 4 桁応答) 02 = トレイ・オープン 03 = トレイ・クローズ 04 = リード中 05 = 再生停止中 (レジューム無) 06 = 再生停止中 (レジューム有) 07 = スクリーン・セーバー (レジューム無) 08 = スクリーン・セーバー (レジューム有)
	BD ドライブデッキモード取得	QST:MOD:2	ACK:QST:MOD:2;	09 = フォーマット中 0C = メニュー表示中 (DVD ビデオなどのディスクメニュー) 10 = 再生 11 = 再生一時停止 12 = 早見再生 18 = 早送り 19 = 早戻し 0A = ファイナライズ中 1A = スロー再生 1B = スロー逆再生 0B = 挿入メディア / USB 接続なし 20 = リピート再生 21 = プレイリスト再生 30 = 静止画 (JPEG) 再生 40 = ダビング 00 = 無効 FF = その他 100 = 録画 300 = HDD/BD 同時録画 400 = 録画一時停止中 800 = MP4 作成中 1000 = MP4 転送中 2000 = M2TS 転送中 録画中のデッキモードは、数値を足したものが表示されます。 例) 録画、再生 (通常再生) = 100 + 10 = 110
	USB デッキモード取得	QST:MOD:4	ACK:QST:MOD:4;	
	再生番組の固有番号の取得	QST:TTL	ACK:QST:TTL;	再生中の番組固有番号を表示 QST:TTL:* (* = 番組固有番号)

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	再生チャプター取得	QST:CHP	ACK:QST:CHP;	再生中のチャプター番号を表示 QST:CHP:*; (* = チャプター番号)
	記録モード取得	QST:REC	ACK:QST:REC;	BD-RE BD-R R RW QST:REC:*; (* = 録画モード番号) M010 = XP A120 = 12 倍録 M020 = SP A150 = 15 倍録 M030 = LP H000 = 4K DR M040 = FR H010 = 4K 1 倍録 A000 = DR H013 = 4K 1.3 倍録 A010 = 1 倍録 H015 = 4K 1.5 倍録 A015 = 1.5 倍録 H016 = 4K 1.6 倍録 A016 = 1.6 倍録 H018 = 4K 1.8 倍録 A018 = 1.8 倍録 H020 = 4K 2 倍録 A020 = 2 倍録 H023 = 4K 2.3 倍録 A023 = 2.3 倍録 H025 = 4K 2.5 倍録 A025 = 2.5 倍録 H027 = 4K 2.7 倍録 A027 = 2.7 倍録 H030 = 4K 3 倍録 A030 = 3 倍録 H035 = 4K 3.5 倍録 A035 = 3.5 倍録 H040 = 4K 4 倍録 A040 = 4 倍録 H045 = 4K 4.5 倍録 A045 = 4.5 倍録 H050 = 4K 5 倍録 A050 = 5 倍録 H055 = 4K 5.5 倍録 A055 = 5.5 倍録 H060 = 4K 6 倍録 A060 = 6 倍録 H070 = 4K 7 倍録 A070 = 7 倍録 H080 = 4K 8 倍録 A080 = 8 倍録 H120 = 4K 8~12 倍録 A090 = 9 倍録 (拡張 12 倍録) A100 = 10 倍録 0000 = 無効 A110 = 11 倍録
	再生時間取得	QST:TIM	ACK:QST:TIM;	再生中のコンテンツの再生時間を表示 (応答は 0.1 秒単位で表示されます) QST:TIM:**.*.*.*.*; (*.*.*.*.*; = 再生時間)
	指定番組の記録時間取得	QST:LGT:*	ACK:QST:LGT:*;	指定したコンテンツの記録時間を表示 (応答は 0.1 秒単位で表示されます) QST:LGT:*.*.*.*; * = 番組固有番号を入力 (→129、131) *.*.* = 指定番組の記録時間 例) 3 時 50 分 40 秒 = 03.50.40.0
	記録時間取得	QST:LGT	ACK:QST:LGT;	再生中のコンテンツの記録時間を表示 QST:LGT:**.*.*.*.*; (*.*.*.*.*; = 記録されている時間)
	入力	QST:INP	ACK:QST:INP;	視聴中の入力を表示 QST:INP:*; (* = 入力) 00 = 視聴停止 09 = HD-SDI 入力 0A = HDMI 入力

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	指定したドライブの総番組数	QST:TNM:*	ACK:QST:TNM:*	QST:TNM:* (* = ドライブ) 01 = HDD 02 = BD/DVD 04 = USB/USB-HDD 06 = NAS (FTP)
	指定したドライブの番組リストの取得	QST:TLT:*:**	ACK:QST:TLT:*:**	QST:TLT:*:** (* = ドライブ) (*:** = 録画一覧での順番) 録画一覧の番組内容を JSON 形式で表示 (20 番組まで) 例) QST:TLT:01:198:OK; { "list": [{ "cid": 201, "title": "20220613-093908", "input": "HDMI", "date": "2022/06/13 9:39:08", "time": "0:41:16", "recmode": "A010", "mp4": 1, "jpeg": 2 }, { "cid": 202, "title": "20201011_糸", "input": "M4", "date": "2020/10/11 17:02:48", "time": "0:04:50", "recmode": "A020", "mp4": 0, "jpeg": 0 },] }
	MP4 のサイズ取得	QST:MSZ:*	ACK:QST:MSZ:*	「*」番組固有番号を入力 (➡129、上記) 例) QST:MSZ:201:141769086 録画一覧にある 201 番目の番組の MP4 のサイズ (バイト数)

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	レジューム位置の取得	QST:RSM:*: **	ACK:QST:RSM: *:**;	「*」ドライブを入力 「**」番組固有番号を入力 (➡129、131) 例) QST:RSM:01:201:00.00.04.8; HDDにある201番組の番組のレジューム位置 (0時間0分4.8秒)
	ドライブ	QST:DRV	ACK:QST:DRV;	選択中のドライブを表示 QST:DRV:*; (* = ドライブ) 01 = HDD 02 = BD/DVD 04 = USB/USB-HDD 06 = NAS (FTP)
	録画モード	QST:RMD	ACK:QST:RMD;	QST:RMD:*; [* = 選択中の録画モード番号:「記録モード取得」(➡130)] 選択中の録画モードを表示
	選択されている ドライブの残量	QST:REM	ACK:QST:REM;	選択されているメディアの残り容量を表示 QST:REM:*:*:*; (*:*:* = 残り容量) (このコマンドは USB 機器、NAS 非対応です) 例) QST:REM:00:30; (残量 30 分)
	日付と現在時刻	QST:CLK	ACK:QST:CLK;	現在の日付と時刻を表示 QST:CLK: [現在の日付と時刻] ; 例) QST:CLK:2022/01/01(Sat) 00:00:00; (2022年1月1日(土) 0時0分0秒)
	BD ドライブの フォーマット状態	QST:FMT	ACK:QST:FMT;	ディスクのフォーマット状態を表示 QST:FMT:*; (* = 下記、フォーマットの状態) 01 = VR フォーマット 02 = ビデオフォーマット 03 = BD-R/BD-RE/AVCREC フォーマット 04 = BD ビデオ / 異常 00 = 未実施
	BD ドライブの ファイナライズ状態	QST:FNZ	ACK:QST:FNZ;	ディスクのファイナライズの状態を表示 QST:FNZ:*; (* = ファイナライズの状態) 00 = 未実施 01 = 実施済 02 = 異常
	BD ドライブの パワー学習状態	QST:POW	ACK:QST:POW;	ディスクの記録学習 (➡135「記録学習を実行」) の状態を表示 QST:POW:*; (* = 記録学習の状態) 00 = 未実施 01 = 実施済 02 = 異常
	トレイ状態	QST:TRY	ACK:QST:TRY;	本体のトレイの開 / 閉状態を表示 QST:TRY:*; (* = トレイの開 / 閉状態) 00 = クローズ 01 = オープン
	チャプター設定状態	QST:CHM	ACK:QST:CHM;	自動チャプターの設定状態を表示 QST:CHM:*; (* = チャプター設定状態) 00 = 自動チャプター解除 01 = 自動チャプター設定 (15 分) 02 = 自動チャプター設定 (30 分) 03 = 自動チャプター設定 (60 分)

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	再生中番組の再生モードを取得	QST:PMD	ACK:QST:PMD;	QST:PMD:*; (* = 再生モード) 0 = タイトルリピート切 1 = タイトルリピート入
	音声入力状態を取得	QST:EMB	ACK:QST:EMB;	QST:EMB:*; (* = 音声入力状態) 0 = アナログ 1 = エンベデッド
	録画先のドライブを取得	QST:RDV	ACK:QST:RDV;	QST:RDV:*; (* = ドライブ → 132) 例) * = 01 02 (HDD と BD で同時録画のとき)
	録画状態を取得	QST:RMS	ACK:QST:RMS;	QST:RMS:*; (* = 状態) 0 = 通常録画 1 = HDD/BD 同時録画 2 = エンドレス録画
	予約一覧の番組情報を取得	QST:RSV:*	ACK:QST:RSV:*;	* = 録画予約一覧上の番組の順番 録画予約一覧の番組情報を JSON 形式で表示 例) QST:RSV:OK; { "rsvlist": [{ "drive": "BD", "input": "HDMI", "date": "2022/07/22 19:00:00", "rectime": "0:01:00", "recmode": "A010", "status": 0 }, { "drive": "HDD", "input": "SDI", "date": "2022/07/26 10:00:00", "rectime": "2:30:00", "recmode": "H010", "status": 0 }] }

drive : 録画先
input : 入力
date : 記録日時
rectime : 記録時間
recmode : 記録モード (→ 130)
status : 状態 (0 : 実行待ち、1 : 実行中)

外部制御コマンド一覧 (続き)

操作コマンド

以下のコマンドで、本機の操作ができます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	選択されているドライブの再生タイトル番組を指定	SPB:TTL:*	ACK:SPB:TTL:*	「*」 再生したいタイトル番組番号を入力
	選択されているドライブの再生チャプターを指定	SPB:CHP:*	ACK:SPB:CHP:*	「*」 再生したいチャプター番号を入力
	タイトルリピートの入 / 切を設定	SPB:TLP:*	ACK:SPB:TLP:*	再生中タイトルのリピートを設定する 「*」 解除、または設定を入力 0 = 解除 (切) 1 = 設定 (入)
	番組名を設定	SPB:TNA:*: ****	ACK:SPB:TNA:*: ****	ドライブの番組に番組名を付ける 「*」 ドライブを入力 (→132) 「**」 番組固有番号を入力 (→129、131) 「***」 番組名を入力
	録画モードを設定	SPB:RMD:*	ACK:SPB:RMD:*	「*」 録画モードを入力 M010 = XP A120 = 12 倍録 M020 = SP A150 = 15 倍録 M030 = LP H010 = 4K 1 倍録 M040 = FR H015 = 4K 1.5 倍録 A010 = 1 倍録 H020 = 4K 2 倍録 A015 = 1.5 倍録 H025 = 4K 2.5 倍録 A020 = 2 倍録 H030 = 4K 3 倍録 A025 = 2.5 倍録 H040 = 4K 4 倍録 A030 = 3 倍録 H050 = 4K 5 倍録 A040 = 4 倍録 H060 = 4K 6 倍録 A050 = 5 倍録 H080 = 4K 8 倍録 A080 = 8 倍録
	チャプターリピートの入 / 切を設定	SPB:CLP:*	ACK:SPB:CLP:*	再生中チャプターのリピートを設定する 「*」 解除、または設定を入力 0 = 解除 (切) 1 = 設定 (入)
	記録する音声を設定	SPB:EMB:*	ACK:SPB:EMB:*	「*」 記録する音声を入力 0 = アナログ 1 = エンベデッド
	AV ミュートの入 / 切を設定	SAV:AVM:*	ACK:SAV:AVM:*	映像・音声の出力を設定する 「*」 解除、または設定を入力 0 = 解除 (切) 1 = 設定 (入：出力しない)
	時刻を設定	TIM:CLK:*	ACK:TIM:CLK:*	本機の時刻設定をする 「*」 部分に年月日時分秒を入力 例) 2022 年 9 月 1 日 3 時 50 分 40 秒 = 20220901035040

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	記録学習を実行	DRV:POW:1	ACK:DRV:POW:1;	記録学習を実行 (選ばれたドライブがHDDの場合は、実行されません)
	フォーマットを実行	DRV:FMT:*	ACK:DRV:FMT:*	「*」実行したいフォーマット番号を入力 (BDドライブのフォーマット状態 →132) QST:FMT:*;実行後のフォーマット状態を表示 (* =フォーマットの状態:BDドライブのフォーマット状態 →132)
	ファイナライズを実行	DRV:FNZ:1	ACK:DRV:FNZ:1;	QST:FNZ:*; 実行後のファイナライズの状態 (* =ファイナライズ状態:BDドライブのファイナライズ状態 →132)
	自動チャプターモードを設定	SCT:CHM:*	ACK:SCT:CHM:*	「*」実行したいチャプター設定を入力 0 =チャプターモード「切」 QST:CHM:*; 実行後のチャプター設定の状態 (* =自動チャプター設定状態:チャプター設定状態 →132)
	HDD/BD 同時録画モードを設定	REC:WRS	ACK:REC:WRS;	HDD/BD 同時録画モードを有効にする場合 REC:WRSを入力する
	ディスク直接録画モードの有効設定	REC:DDR	ACK:REC:DDR;	ディスク直接録画モードを有効にする場合 REC:DDRを入力する
	エンドレス録画モードの有効設定	REC:EDL	ACK:REC:EDL;	エンドレス録画モードを有効にする場合 REC:EDLを入力する
	トレイ制御の入/切を設定	REC:OPN:*	ACK:REC:OPN:*	「*」操作に応じた数値を入力 0 =切 1 =入 トレイ制御を「入」にする場合 REC:OPN:1
	タイムスタンプの入/切を設定	REC:STP:*	ACK:REC:STP:*	「*」操作に応じた数値を入力 0 =切 1 =入 タイムスタンプを「入」にする場合 REC:STP:1
	MP4 自動作成の入/切を設定	REC:MPA:*	ACK:REC:MPA:*	「*」操作に応じた数値を入力 0 =切 1 =入 MP4 自動作成を「入」にする場合 REC:MPA:1

外部制御コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
	指定した位置から指定の再生タイトル / 番組を再生	PLY:SPL:*: **.*	ACK:PLY:SPL:*: **.*;	[HDD] [BD-RE] [BD-R] [R AVCREC] [RW AVCREC] [RAM AVCREC] [R VR] [RW VR] [RAM VR] 「*」番組固有番号を入力 (➡129、131) 「**.*」時分秒を入力 (0.1 秒単位で指定できます) 例) 3 時 50 分 40 秒 = 03.50.40.0
	録画の予約を設定	SRC:RSV:*: **:*:*:*:*: **:*:*:*:*: *****	ACK:SRC:RSV:*: **:*:*:*:*:*: **:*:*:*:*:*: *****;	「*」ドライブを入力 (➡132) 「**」入力を入力 (➡130) 「***」番組名を入力 「*****」録画開始時刻を入力 「*****」録画終了時刻を入力 「*****」録画モードを入力 (録画モードを設定 ➡134) 例) HDD : HDMI 入力 : *** : 2022 年 10 月 1 日 10 時 10 分開始 : 2022 年 10 月 1 日 11 時 15 分終了 : 4K 1 倍録 01:0A:***:202210011010: 202210011115:H010
	MP4 の作成を設定	CRA:MP4:*	ACK:CRA:MP4:*;	[HDD] 「*」番組固有番号を入力 (➡129、131)
	MP4 を指定のドライブに転送	XFR:MP4:*: **:*:**	ACK:XFR:MP4:*: **:*:**;	「*」ドライブを入力 (➡132) 「**」静止画を同時に転送するかを入力 0 = しない 1 = する 「***」番組固有番号を入力 (➡129、131)
	M2TS を指定のドライブに転送	XFR:M2T:*: *	ACK:XFR:M2T:*: **:*;	[HDD] 「*」ドライブを入力 (➡132) 「**」番組固有番号を入力 (➡129、131)
	NAS を接続機器として設定	NAS:DEV:*: **:*:*:*:*: **:*:*:**	ACK:NAS:DEV:*: **:*:*:*:*:*: **:*:*:**;	「*」ユーザー ID を入力 「**」パスワードを入力 「***」ホスト名を入力 「*****」ポート番号を入力 「*****」フォルダ名を入力
	システムリセット時刻設定	TIM:RST:*	ACK:TIM:RST:*;	システムリセットの時刻を設定する 「*」部分に時分を入力 例) 01 時 00 分 = 0100 有効範囲 00 時 00 分 ~ 23 時 50 分 時 : 00 ~ 23 分 : 00、10、20、30、40、50
	システムリセット実行	SYS:RST	ACK:SYS:RST;	システムリセットを実行する (本機の動作状態によっては、リセットされない場合があります)

設定一覧（初期設定）

機器設定

下線はお買い上げ時の設定です

自動電源オフ	・ 2 時間 ・ 6 時間 ・ 切
リモコンモード	・ リモコン 1 ・ リモコン 2 ・ リモコン 3 ・ リモコン 4 ・ リモコン 5 ・ リモコン 6 ・ リモコン 7 ・ リモコン 8 ・ リモコン 9
日時設定	xxxx 年 xx 月 xx 日 (x) xx 時 xx 分
画面表示動作〔オート〕	・ 入 ・ 切
テレビ画面の焼き付き低減機能	・ 入 ・ 切
本体表示窓の明るさ	・ 常時 明 ・ 常時 暗
システム機能	
自動電源 ON	・ 入 ・ 切
自動再生	・ 入 ・ 切
タイトルリピート	・ 入 ・ 切
自動チャプター作成	自動チャプターモード ・ 入 ・ 切
	チャプター間隔 ・ 15 分 ・ 30 分 ・ 60 分
録画一覧再生位置	・ 通常 ・ 先頭 ・ 最後
スクリーンセーバー	・ 入 ・ 切

設定一覧（初期設定）（続き）

システム機能（続き）			
録画機能設定	録画動作設定		・ 通常録画 ・ HDD/BD 同時録画 ・ エンドレス録画
	システムリセット時刻設定		xx 時 xx 分
	自動消去		・ 有効 ・ 無効
	タイムスタンプ		・ 入（左下） ・ 入（標準） ・ 切
	トレイ制御		・ 入 ・ 切
動画・静止画の設定	MP4 自動作成		・ 入 ・ 切
	動画・静止画自動転送	自動転送	・ 入 ・ 切
		動画	・ 入（M2TS） ・ 入（MP4） ・ 切
		静止画	・ 入 ・ 切
		転送先	・ NAS ・ USB

設定一覧（初期設定）（続き）

システム機能（続き）			
タイマー機能		電源 ON 設定	・ 入 ・ 切
		設定時刻	- :- -
		毎週予約設定（ON）	毎週予約 ・ <u>しない</u> ・ 毎週（月） ・ 毎週（火） ・ 毎週（水） ・ 毎週（木） ・ 毎週（金） ・ 毎週（土） ・ 毎週（日） ・ 毎週（月）～（金） ・ 毎週（月）～（土） ・ 毎日 月 / 火 / 水 / 木 / 金 / 土 / 日 ・ する ・ <u>しない</u>
		電源 OFF 設定	・ 入 ・ 切
		設定時刻	- :- -
		毎週予約設定（OFF）	毎週予約 ・ <u>しない</u> ・ 毎週（月） ・ 毎週（火） ・ 毎週（水） ・ 毎週（木） ・ 毎週（金） ・ 毎週（土） ・ 毎週（日） ・ 毎週（月）～（金） ・ 毎週（月）～（土） ・ 毎日 月 / 火 / 水 / 木 / 金 / 土 / 日 ・ する ・ <u>しない</u>
		診断コード	—

設定一覧（初期設定）（続き）

HDD・USB 機器・再生記録設定

下線はお買い上げ時の設定です

再生設定	
DVD-Video の視聴制限	・ 8 <u>すべて視聴可</u> ・ 7～1 のいずれか ・ 0 <u>すべて視聴不可</u>
BD-Video の視聴可能年齢	・ 無制限 ・ 年齢入力
BD-Live インターネット接続	・ 有効 ・ 有効（制限付き） ・ 無効
3D ディスクの再生方法	・ 3D 再生 ・ 2D 再生 ・ 再生時選択
音声言語	・ 日本語 ・ 英語 ・ オリジナル ・ その他 * * * *
字幕言語	・ オート ・ 日本語 ・ 英語 ・ その他 * * * *
メニュー言語	・ 日本語 ・ 英語 ・ その他 * * * *
AVCHD 優先モード	・ 入 ・ 切

設定一覧（初期設定）（続き）

記録・ダビング設定		
外部入力などの記録設定	外部入力音声設定	・ステレオ ・二重音声
	二重音声記録時の音声選択	・主音声 (L/R) ・副音声 (L/R) ・主音声 (L)/ 副音声 (R)
DVD-Video 記録の設定	外部入力音声設定	・ステレオ ・二重音声
	二重音声記録時の音声選択	・主音声 (L/R) ・副音声 (L/R)
	記録アスペクト設定	・オート ・4:3 ・16:9
高速ダビング速度		・最高速モード ・高速モード ・静音モード
ムーブバックエラー制御		・中断 ・継続
MP4 取り込み画質		・高画質モード ・標準モード
HDD 設定		
	HDD 管理	・録画一覧の全番組消去 ・HDD のフォーマット
USB 機器設定		
	USB 機器の取り外し	—
	USB 機器管理	—

設定一覧（初期設定）（続き）

映像・音声設定

下線はお買い上げ時の設定です

スチルモード	・オート ・フィールド ・フレーム
シームレス再生	・入 ・切
音声のダイナミックレンジ圧縮	・オート ・入 ・切
HDMI 出力	
Dolby Audio	・オート ・PCM
DTS/DTS-HD	・オート ・PCM
AAC	・オート ・PCM
BD ビデオ副音声・操作音	・自動切換 ・入 ・切
ダウンミックス	・ノーマル ・ドルビーサラウンド
記録音声選択	・アナログ ・エンベデッド
音声ディレイ	0 ms : 0 ~ 250 ms (10 ms 刻みで設定可能)
会議記録モード	・入 (L 出力) ・入 (R 出力) ・入 (消音) ・切

設定一覧（初期設定）（続き）

HDMI・SDI 接続設定

下線は買い上げ時の設定です

出力端子優先モード		HDMI 出力優先 SDI 出力優先
HDMI 接続設定		
入力解像度		オート 480p 720p 1080i 1080p 4K
出力解像度		オート (※) 480p 固定 720p 固定 1080i 固定 1080p 固定 4K 固定 ※ 最高解像度を表示
HDMI 4K/60p 伝送モード		高速 (18Gbps) 通常 (10.2Gbps) 出力なし
24p 出力		オート 切
HDR10+		入 切
音声出力		入 切
HDMI 詳細設定	Deep Color 出力	オート (12bit 優先) オート (10bit 優先) 切
	HDCP 出力設定	オート HDCP 1.4 制限出力
	強制 HDCP 出力	入 切
	7.1ch 音声リマッピング	オート 切
	コンテンツタイプフラグ	オート 切
	3D 番組の出力方法	3D 2D
	3D 再生時の注意表示	入 切

設定一覧（初期設定）（続き）

SDI 接続設定		
	入力解像度	・オート ・ 720p ・ 1080i ・ 1080p ・ 4K
	出力解像度	・ 720p ・ <u>1080i</u> ・ 1080p ・ 4K
	入力 HDR 設定	・ オート ・ 強制 HDR(HLG) ・ 強制 HDR(PQ) ・ 強制 SDR
	入力色域設定	・ オート ・ 強制 BT.2020 ・ 強制 BT.709
	入力音声選択	・ 1ch/2ch ・ 3ch/4ch ・ 5ch/6ch ・ 7ch/8ch
	音声出力	・ 入 ・ 切
	スルーモード設定	・ 有効 ・ 無効
HDMI・SDI 共通設定		
	カラースペース	・ YCbCr(オート) ・ YCbCr(4:4:4) ・ YCbCr(4:2:2) ・ RGB(スタンダード) ・ RGB(エンハンス)
	HDR/ 色域出力	・ HDR/BT.2020 (オート) ・ SDR/BT.2020 (オート) ・ SDR/BT.709
	HLG/PQ 変換設定	・ オート ・ PQ 変換優先 ・ 切
	HDR ディスプレイタイプ	・ 有機 EL ・ 高輝度のプロジェクター ・ ベーシックな輝度のプロジェクター ・ 超高輝度の液晶 ・ 中・高輝度の液晶 ・ ベーシックな輝度の液晶 ・ 再生映像に応じて設定
	4K コンバートモード	・ カット ・ ダウンコンバート

設定一覧（初期設定）（続き）

ネットワーク設定

下線はお買い上げ時の設定です

IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定		
接続テスト		接続テスト結果：OK/NG
IP アドレス自動取得		・入 ・切
IP アドレス		***.***.***
サブネットマスク		***.***.***
ゲートウェイアドレス		***.***.***
DNS-IP 自動取得		・入 ・切
プライマリ DNS		***.***.***
セカンダリ DNS		***.***.***
プロキシサーバー設定		・[標準に戻す] ・[プロキシアドレス] ・[プロキシポート番号] ・[接続テスト]
NTP 設定		
標準に戻す		—
NTP 機能		・入 ・切
NTP サーバー設定		ntp.nict.jp
接続テスト		—
宅内リモート接続設定		
宅内リモート接続機能		・入 ・切
ホームネットワーク設定		
ホームネットワーク機能		・入 ・切
本機の名称	DMR-T5000UR	・一覧から選んで変更 ・文字入力してから変更
アクセス許可方法		・手動 ・自動
通信／映像品質の 設定	オート	—
	詳細設定	・モード 1（画質優先） ・モード 2 ・モード 3（バランス） ・モード 4 ・モード 5（通信優先）
機器一覧		—

設定一覧（初期設定）（続き）

家じゅう録画一覧設定				
	家じゅうラベルの表示		・ 入 ・ 切	
	自動更新		・ 入 ・ 切	
	接続する機器一覧		—	
	録画番組の情報を消去		・ はい ・ いいえ	
PC からのアクセス設定				
	PC からのブラウザアクセス	PC からのブラウザアクセス機能	・ 入 ・ 切	
		アクセス用 URL 表示／ユーザ ID 表示	—	
		ユーザ ID 変更	—	
		パスワード変更	—	
	PC からのコマンド制御	PC からのコマンド制御機能	・ 入 ・ 切	
		パスフレーズの確認	—	
		パスフレーズの更新	—	
NAS 設定				
	NAS 機能		・ 入 ・ 切	
	接続するデバイス	新規登録	ホスト名 (アドレス)	—
			ポート番号	21
			ホスト側フォルダ	—
			ホスト側文字コード	・ UTF-8 ・ Shift_JIS ・ EUC-JP
			ユーザー ID	—
			パスワード	—
			接続する	—
MAC アドレス				
			—	

設定リセット

すべての設定リセット	—
部分リセット	—

情報表示

ID 表示	—
-------	---

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>.
Manufactured under license from DTS, Inc.
DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries.
© 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnnを使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved
- "DVD Logo" は DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- AURO-3D® は Auro Technologies の登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して (以下、VC-1 ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

- Copyright 2004-2014 Verance Corporation.
Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー (ダビング) が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、
<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[設定] ボタンを押し、「情報表示」→「ID 表示」→「ソフト情報」をご参照ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能 (かな漢字変換や番組の検索等を含む) の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- ブルーレイディスクタイトルで (BD ライブなどの) 追加コンテンツを楽しむためには、別売の USB 機器を挿入する必要があります。(空き容量として 1 GB 以上が必要です。)
- "AVCHD 3D/Progressive" および "AVCHD 3D/Progressive" ロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。

著作権など (続き)

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/>

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.



損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(→111～116)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名 デジタル入力レコーダー
- 品 番 DMR-T5000UR
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

[ただし、光ピックアップ部（またはドライブユニット）、電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます]

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

英数字	ページ
■ AVCHD	
再生する	76
取り込む	75
■ AVC (ハイビジョン画質)	35
■ BD-Live	52
BD-Live インターネット接続	92
■ DNS-IP 自動取得	95
■ HDCP2.2	51
■ HDD	
取り扱い	103
フォーマット	92
■ HDD/BD 同時録画	22
■ HDMI	
設定する (「HDMI接続設定」)	94
テレビと接続	16
■ HDR (ハイダイナミックレンジ)	95
■ HEVC (高圧縮)	35
■ IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定	95
■ IP 外部制御	81、126
■ MPEG2 (DVD 画質)	35
■ MP4	
再生する	76
作成する	48
転送する	77
■ NAS	77、96
■ NTP 設定	95
■ SDI	
設定する (「SDI 接続設定」)	25
モニター・テレビと接続	16
■ Ultra HD ブルーレイ	51
■ USB-HDD	
接続する	29
フォーマットする	29
■ USB 機器	30
■ U30	108
■ 12G-SDI	
SDI 端子から出力する	16
SDI 端子から入力する	18
■ 24p 出力	94
■ 4K 出力	94
■ 4K 動画 (MP4)	
再生	76
■ 4K 録画	36

あ 行	ページ
■ アナログ音声入力	13、23
■ 暗証番号	
BD-Video の視聴可能年齢	92
DVD-Video の視聴制限	92
■ 一括ダビング	73
■ エンドレス録画	22
■ 追っかけ再生	47
■ お手入れ	102
■ お引越しダビング	73
■ 音楽	
再生する (CD)	78
■ 音質効果	58
■ 音声	
音質効果を設定する	58
音声言語を切り換える (音声情報)	56
音声を切り換える (再生時)	54
記録する音声 (主/副) を選ぶ (「二重音声記録時の音声選択」)	92
か 行	ページ
■ 外部制御	84、126
■ 画質	
高圧縮 (HEVC)	35
ハイビジョン (AVC)	35
■ 画質変更ダビング	65
■ かんたんダビング	66
■ 記録方式	26、27
■ 検索する	43
■ 高速ダビング	
高速ダビング速度	92
■ コマ送り/コマ戻し	54
■ コマンド	84、126

さくいん (続き)

さ 行	ページ
■ サーチ	53
■ 再生する	
BD ビデオ、DVD ビデオ	
(市販またはレンタル)	51
音楽 (CD)	78
撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	76
写真	76
番組	47
プレイリスト	47
■ 再生設定	56
■ 再生中番組の保存	71
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する	76
取り込む	75
■ サブメニュー	
かんたんダビング	67
写真 / 動画一覧	76
録画一覧 (再生)	48
録画一覧 (編集)	59
■ サポートサイト	10、116
■ 時間指定予約	38
■ 時刻設定	21
システムリセット	22
NTP 設定	95
■ 視聴制限	
BD-Video の視聴可能年齢を設定する	92
DVD-Video の視聴制限を設定する	92
■ 字幕	
切り換える (再生時)	54
字幕設定 (再生設定)	56
録画モードによる記録の違い	35
■ 写真	
転送する	77
再生する	76
■ 出力端子優先モード (HDMI/SDI)	24
■ 仕様	117
■ 消去する	
写真	76
番組	59
録画一覧の全番組消去 (HDD)	92
録画一覧の全番組消去	
(ブルーレイディスク、DVD)	87

■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	68
ファイナライズ後のディスク	
(DVDビデオ) をダビングする	70
■ 信号切換	
再生時	56
■ 診断コード	111
■ スキップ	53
■ スロー再生	53
■ 設定 (初期設定)	90、137
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	55

た 行	ページ
■ 代替録画	42
■ タイムスタンプ	22、55
■ ダイレクト記録 (BD/DVD)	35
■ ダウンミックス	93
■ 他機器での再生について	26
■ 宅内リモート	99
■ ダビング	
お引越しダビング	73
かんたんダビング	66
再生中番組の保存	71
詳細ダビング	68
他機器から	73
ビデオカメラから	75
■ チャプター	63
自動チャプター	21
■ チャプターマーク	63
■ 重複について	41
■ 続き再生メモリー機能	53
■ ディスク	
記録できるディスク	26
再生のみできるディスク	28
ディスクの再生方法 (再生設定)	56
名前を付ける	87
フォーマット	85
プロテクト	87
■ 転送	
M2TS	48、77
MP4	23、48、77
自動転送	91
静止画	23、77

さくいん (続き)

な 行	ページ
■ 名前を付ける	
ディスク	87
番組	59
予約録画	39
■ 日時設定	90
■ ネットワーク	
接続する	104
設定する	95

は 行	ページ
■ ハイビジョン動画 (AVCHD)	
再生する	76
取り込む	75
■ ハイレゾ音源 (音楽ファイル)	
再生	78
■ ハイレゾリマスター	58
■ 早送り / 早戻し (サーチ)	53
■ 早見再生	53
■ 番組	
再生する	47
消去する	59
名前を付ける	59
プロテクト	60
編集する	59
■ 番組結合	60
■ 番組分割	61
■ ファイナライズ	
ファイナライズ解除	88
他のBD/DVD機器再生 (ファイナライズ)	88
■ フォーマット (初期化)	85
■ 副映像	52
■ 部分消去	60
■ ブラウザ	81
■ プレイリスト	47
■ プロキシサーバー設定	95
■ プロテクト (書き込み禁止)	
ディスク	87
番組	60
■ 編集する	
番組	59
■ ホーム画面	31
■ ホームネットワーク	
設定する	99
操作する	79
■ ポップアップメニュー	51
■ 本体表示窓の明るさ	90

ま 行	ページ
■ マイラベル	
設定する (予約時)	39
設定する (録画一覧で)	61
■ まとめ番組	50
■ ムーブバック (詳細ダビング)	65
■ 文字入力	89

や 行	ページ
■ 予約確認	40
■ 予約録画	
重複について	41
予約内容の確認・取り消し・修正	40
録画日時を指定して (時間指定予約)	38

ら 行	ページ
■ リージョンコード / リージョン番号	28
■ リピート再生	56
■ リモコン	
各部の働き	14
他機器が同時に動作するのを防ぐ (リモコンモード)	98
■ 録画中に再生する (追っかけ再生)	47
■ 録画モード	35
変換する	62
録画モードを選ぶ (かんたんダビング時)	67
録画モードを選ぶ (詳細ダビング時)	68
録画モードを選ぶ (予約時)	39
録画モードを選ぶ (録画時)	37
■ 録画モードと記録時間の目安	120

本機の使用、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のデジタル入力レコーダーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜い
て、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号
© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2022-2025

TQBS0478-2
F0722YM2055